

Canon

POWER PROJECTOR

SX80

SX800

使用説明書



ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

SX80 デジタルカメラや USB
メモリーの画像を投写する

SX80 プロジェクターをネット
ワークに接続する

付録

索引

JPN

パワープロジェクターSX80 / SX800 の特長

キヤノン製品のお買い上げ、誠にありがとうございます。

パワープロジェクター SX80 / SX800 (以下、本プロジェクター) は、高解像度コンピューターの画面や高画質デジタル映像 (SX80)、デジタルカメラおよびUSB メモリーの画像 (SX80) を、高精細で大画面に投写可能な高性能プロジェクターです。

主な特長

なめらかで美しい描写性能

キヤノン独自の光学エンジン・AISYS と LCOS (反射型液晶パネル) の採用により、高輝度・高コントラストで格子感の少ないなめらかで美しい描写を実現しています。

SXGA+ までの解像度にリアル対応

SXGA+ (1400 × 1050 ドット) の広い表示領域にリアル対応し、高解像・高画質を実現しています。

高倍率 1.5 倍ズームレンズ

高倍率 1.5 倍ズームレンズにより、100 インチの大画面を 3m から 4.4m の距離で投写できます。(P31)

『オートセットアップ』でかんたん設定

台形ひずみなどが自動的に調整され、かんたんな設定で、すぐに投写ができます。(P48)

HDMI 端子を搭載 **SX80**

AV 機器と HDMI 端子でつなげば、高画質のデジタル映像で投写できます。(P40)

デジタルカメラの撮影画像を直接投写 **SX80**

PictBridge 対応デジタルカメラで撮影した画像を直接投写できます。(P106)

USB メモリーのデータを直接投写 **SX80**

USB メモリー内の JPEG ファイルを直接投写できます。(P110)

使用後すぐに片付け・移動可能

電源を切った直後にコードを抜いて、片付けや移動ができます。(P64)

※ 冷却ファンが止まるまではキャリーバッグに収納しないでください。

わかりやすいメニュー画面

設定項目を4つのタブメニューにまとめ、機能ごとに設定項目を探せます。(P72～P104)

コンパクトで使いやすいワイヤレスリモコン

付属のワイヤレスリモコンでプロジェクターのすべての機能が操作できます。(P22)

使用説明書（本書）

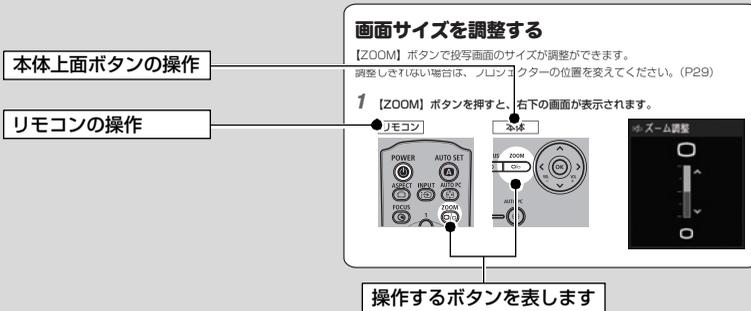
本書はパワープロジェクター SX80 / SX800の使用説明書です。プロジェクターの使いかたが詳しく説明されています。プロジェクターを安全にお使いいただくため、またプロジェクターの機能を十分に活用していただくため、お使いになる前によくお読みください。

クイックスタートガイド（別紙）

投写までの手順や、終了の手順、投写中に使える機能などが1枚のシートにまとめられています。

ボタン操作を表す記号

本プロジェクターは、付属のリモコンまたは本体上面のボタンを使って操作します。
 なお、リモコンではすべての機能が操作できます。
 本書では、ボタン操作を次のように表記しています。



説明の内容を表す記号

本文中マークがついた欄は、次のような内容となっています。

SX80 または [(SX80)] SX80のみの機能または説明です。

SX800 または [(SX800)] SX800のみの機能または説明です。

 操作上の注意事項や制限事項が記載されています。

著作権についてのご注意

本プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

商標について

- ・ Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Macintosh、Mac は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- ・ HDMI、HDMIロゴおよび High Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC社の商標または登録商標です。

知りたいこと早引きガイド

プロジェクターをもっと便利に使いこなしたいときや、プレゼンテーションでスマートに見せたい時は、こちらから機能を探してください。

接続する

コンピューターを接続する (P36～P39)

AV機器を接続する (P40～P43)

SX80 デジタルカメラを接続する (P44、P106～P107)

SX80 USBメモリーを接続する (P44、P110～P111)

投写する

電源を入れる (P45～P47)

入力信号を選ぶ (P50～P51)

SX80 デジタルカメラの画像を投写する (P106～P109)

SX80 USBメモリーのデータを投写する (P110～P116)

画面を調整する

画面サイズやピントを調整する (P54～P55)

台形ひずみを調整する (P56～P57)

横縦比を調整する (P58～P62)

コンピューター画面のちらつきや位置ずれを調整する (P78)

色味や画質を調整する

黒板に投写する (P82)

映像に合わせてイメージモード設定から選ぶ (P87)

細かく色を調整する (P90、P93)

ノイズを除去する (P91)

プレゼンテーションを演出する

映像を一時的に消す (P66)

映像を静止させる (P66)

音量を調節する (P67)

音声を一時的に消す (P67)

映像を拡大する (P68)

経過時間を表示する (P69)

天吊りやスクリーンの裏側から投写する (P83)

リモコンのチャンネルを変更する (P99)

設定をリセットする

イメージ調整をリセットする (P94)

キーロックをリセットする (P97)

パスワードをリセットする (P100)

SX80 ネットワーク設定の初期化 (P103)

購入時の状態に戻す (P103)

その他の機能

ランプの光量を落とす (P93)

省電力モードを使う (P95)

電源コードの接続で電源を入れる (P96)

操作時の電子音を消す (P96)

ボタン操作を禁止する (P97)

ガイドメッセージを表示させない (P98)

本体のLEDランプを消す (P98)

パスワードを設定する (P100)

パワープロジェクター SX80 / SX800 の特長	2
知りたいこと早引きガイド	4
安全にお使いいただくために	10
安全上の注意を表す記号	10
使用上のご注意	11
リモコンの電池に関するご注意	13
ランプについての安全上のご注意	14
持ち運び／輸送時のご注意	14
設置のときのご注意	15
はじめに	17
付属品の確認	18
■ レンズキャップの取り付けかた	18
■ キャリーバッグへの収納のしかた	19
各部のなまえ	20
プロジェクター本体	20
■ 前面	20
■ 背面	20
■ 底面	21
リモコン	22
本体操作部	24
接続端子	25
■ SX80	25
■ SX800	25
リモコンの準備	27
■ 電池の入れかた	27
■ リモコンで操作できる範囲	27
投写する	29
設置から投写までの手順	30
プロジェクターを設置する	31
■ スクリーンの正面に置く	31
■ 水平な場所に置く	32
■ 上に向けるには	33
接続する	34
接続できる機器と接続端子	34
■ SX80	34
■ SX800	35
コンピューターと接続する	36
■ RGB モニター出力端子と接続（アナログ接続）	36
■ DVI モニター出力端子と接続（デジタル接続） SX80	38
■ 映像または音声を外部に出力する	38
AV 機器と接続する	40
■ デジタル映像出力端子と接続（デジタル接続） SX80	40
■ アナログ映像出力端子と接続（アナログ接続）	41
■ 音声を外部へ出力する	43
■ デジタルカメラ、USB メモリーと接続 SX80	44

電源を入れる	45	
■ 言語を選ぶ画面が表示されたとき	46	
■ パスワード入力画面が表示されたとき	47	
■ 「入力信号がありません」と表示されたとき	47	
■ ノート型コンピューターの画面が表示できないとき	47	
■ 画面を調整するとき	47	
ノート型コンピューターの画面出力を切り換える	47	
■ 外部モニター切り換え操作	47	
画面を自動調整する	48	
オートセットアップ	48	
■ オートセットアップを行う	49	
入力信号を選ぶ (INPUT)	50	
■ 入力信号の種類	50	
■ 入力信号を選ぶ	51	
画面を調整する	52	
コンピューターの表示解像度を設定する	52	
■ Windows Vista の場合	52	
■ Windows XP の場合	52	
■ Macintosh OSX の場合	52	
オート PC	53	
■ オート PC を行う	53	
画面サイズを調整する	54	
ピントを合わせる	55	
■ 自動で合わせる SX80	55	
■ 手動で合わせる	55	
台形ひずみを調整する	56	
■ 自動で調整する	56	
■ 手動で調整する	56	
■ 補正をリセットする	57	
スクリーンアスペクトとアスペクトを選ぶ	58	
スクリーンアスペクトを選ぶ	58	
■ 16:9 D イメージシフト時に映像を移動する	60	
■ 移動をリセットする	60	
アスペクトを選ぶ	61	
■ アスペクトの種類	61	
■ アスペクトの選びかた	62	
画質 (イメージモード) を選ぶ	63	
■ イメージモードの種類	63	
■ イメージモードの選びかた	63	
プロジェクターの電源を切る	64	
プレゼンテーションで使える便利な機能	65	
プレゼンテーションで使える便利な機能	66	
映像を一時的に消す	BLANK	66
映像を静止させる	FREEZE	66
音量を調節する	VOL	67
音声を一時的に消す	MUTE	67

映像を拡大する	D.ZOOM.....	68
経過時間を表示する	P-TIMER.....	69
コンピューターを使わずに投写する SX80		69
メニューによる機能設定		71
メニューの使いかた		72
■ メニューの構成		72
■ メニューの基本操作		73
表示状態を設定する		75
映像の投写モードを選ぶ.....		75
入力信号を選ぶ (アナログ PC).....		76
入力信号を選ぶ (ビデオ / S-ビデオ)		76
入力信号を選ぶ (コンポーネント)		77
入力信号の調整 (アナログ PC) 総ドット数.....		77
入力信号の調整 (アナログ PC) トラッキング.....		78
入力信号の調整 (アナログ PC) 水平位置		78
入力信号の調整 (アナログ PC) 垂直位置		79
入力信号の調整 (アナログ PC) 水平表示ドット数.....		79
入力信号の調整 (アナログ PC) 垂直表示ドット数.....		80
HDMI 入力レベル SX80		80
HDMI オーバースキャン SX80		81
プログレッシブ処理		81
メニューの表示位置		82
スクリーンの色補正		82
映像の反転.....		83
ユーザー画像の登録		84
ユーザー画像の表示位置.....		84
無信号時の画面		85
BLANK 時の画面		85
電源を入れたときの画面.....		86
スクリーンの横縦比		86
画質を調整する		87
画質を選ぶ.....		87
明るさの調整		88
コントラストの調整		88
シャープネスの調整		89
ガンマ補正		89
色の調整 (HDMI / デジタル PC / アナログ PC / USB)		90
色の調整 (コンポーネント / ビデオ / S-ビデオ).....		90
高度な調整 (ノイズリダクション)		91
高度な調整 (ダイナミックガンマ)		91
高度な調整 (記憶色補正) SX80		92
高度な調整 (肌色補正) SX800		92
きめ細かい色調整 (6 軸色調整) SX80		93
ランプの光量を落とす.....		93
イメージ調整のリセット.....		94

動作を設定する	95
オートセットアップの項目を選ぶ	95
パワーマネージメントモード	95
POWER ボタン操作の省略	96
電子音の入/切	96
プロジェクター操作の禁止	97
表示言語	97
ガイド画面の表示/非表示	98
LED イルミネーション点灯の入/切	98
スライドショーの準備 SX80	99
リモコンのチャンネル設定	99
メニュー表示時間の延長	100
パスワードの設定	100
パスワードの登録	101
ランプカウンターのリセット	101
■ ランプカウンターの表示について	102
ネットワーク設定の初期化 SX80	103
購入時の状態に戻す	103
プロジェクターの情報を確認する	104
SX80 デジタルカメラやUSBメモリーの画像を投写する	105
デジタルカメラの画像を投写する SX80	106
デジタルカメラを接続する	106
投写された画像を操作する	108
■ 次の画像を投写する	108
■ 画像を回転する	108
スライドショーで投写する	109
■ スライドショーの投写間隔を設定する	109
■ 投写を終了する	109
USBメモリーのデータを投写する SX80	110
USBメモリーを接続する	110
USBファイルブラウザの見かた	112
画像を選んで投写する	113
■ ドライブを選ぶ	113
■ フォルダを選ぶ	113
■ 画像ファイルを選んで投写する	114
投写された画像を操作する	115
■ 前後の画像を投写する	115
■ 画像を回転する	115
■ USBファイルブラウザに戻る	115
USBメモリーからスライドショーで投写する	116
■ 画像ファイルのフォルダを用意する	116
■ スライドショーの投写間隔を設定する	116

SX80 プロジェクターをネットワークに接続する	117
ネットワークの設定 SX80	118
■ コンピューターの IP アドレスの設定	118
■ コンピューターの IP アドレスの設定を戻すとき	119
■ エラー通知メールの設定	119
■ ネットワークの設定を戻すとき	121
■ エラー通知メール	121
付録	123
困ったときには	124
WARNING ランプの見かた	124
困ったときのアドバイス	125
■ 電源が入らない.....	125
■ 映像が投写されない.....	125
■ デジタルカメラや USB メモリーが認識されない SX80	126
■ 音が出ない.....	126
■ 映像が鮮明でない.....	127
■ 映像が正しく表示されない.....	127
■ 電源が切れてしまう	127
■ リモコンの操作ができない.....	128
日常のお手入れ	129
プロジェクター本体を清掃する	129
エアフィルターを清掃・交換する	130
■ エアフィルターの清掃.....	130
■ エアフィルターの交換手順.....	130
ランプを交換する	131
■ 交換用のランプについて.....	131
■ ランプ交換手順.....	132
アスペクトとスクリーンアスペクトの関係	133
コンピューターの映像を投写するとき	133
映像ソフトを投写するとき	134
デジタルカメラや USB メモリーの画像を投写するとき SX80	135
対応信号	136
画面サイズと投写距離の関係	137
用語集	138
製品の仕様	142
■ プロジェクター本体	142
■ リモコン.....	142
■ 外観図.....	143
■ アナログ PC-1 (SX800)、アナログ PC-2 / COMPONENT IN 端子.....	143
■ サービス用端子 (CONTROL).....	144
索引	146
保証とアフターサービス	149
メニューの構成	150

安全にお使いいただくために

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 分解禁止	これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
 接触禁止	
 水ぬれ禁止	
 ぬれ手禁止	
 禁止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。
 アース線を接続する	これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。
 電源プラグをコンセントから抜く	
 注意	この記号は、その他の注意していただきたい行為や内容を示しています。

電波障害自主規制について

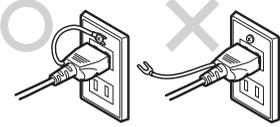
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

 警告	
 電源プラグをコンセントから抜く	 感電注意 <p>万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。</p>
 電源プラグをコンセントから抜く	 感電注意 <p>万一キャビネットを破損した場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
 分解禁止	 感電注意 <ul style="list-style-type: none"> ・本機のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があり、感電ややけどの原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 ・本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
 水ぬれ禁止	 感電注意 <ul style="list-style-type: none"> ・本機の上に液体の入った容器を置かないでください。液体が内部に入ると火災・感電の原因となります。 ・風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ・雨天、降雪中、海岸、水辺では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ・万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 禁止	 感電注意 <p>表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
 禁止	 感電注意 <ul style="list-style-type: none"> ・電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。 ・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。 ・電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。 ・コードを釘などで固定しないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。 ・電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。 ・破損した電源コードを使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源コードが破損した場合は販売店に交換をご依頼ください。
 接触禁止	 感電注意 <p>雷が鳴り出したら、本体、電源コード、ケーブルに触れないでください。感電の原因となります。</p>

警告

 電源プラグをコンセントから抜き	 感電注意	<ul style="list-style-type: none">・本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。・お手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となります。	
 禁止	 感電注意	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。	
 ぬれ手禁止	 感電注意	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。	
 禁止	 感電注意	本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。火災・けが・感電の原因となります。	
 アース線を接続する	 感電注意	電源コードのアース線を、必ずアースに接続してください。アース線を接続しないと、感電したり、コンピューターの電波障害や、テレビ・ラジオの受信障害となることがあります。アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。	
 禁止		使用中はレンズをのぞかないでください。強い光が出ていますので、目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。	

注意

 禁止	本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。
 禁止	ご使用中は吸気口・排気口の中で冷却ファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。
 禁止	電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となります。

⚠ 注意

 禁止	コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると電源コードが発熱し、火災の原因となります。
 注意	電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって温気を帯びると、火災の原因となります。
 禁止	冷却ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 電源プラグをコンセントから抜け	長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
 注意	長年のご使用で内部にホコリがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

安全にお使いいただくために

リモコンの電池に関するご注意

注意

 禁止	電池を取り扱う際は次のことをお守りください。 守られない場合、破裂、発熱、発火、漏液の原因となります。 ・ 火の中に入れてたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。 ・ 乾電池は充電しないでください。
 禁止	電池を取り扱う際は次のことをお守りください。 守られない場合、破裂、発熱、発火、漏液の原因となります。 ・ 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。 ・ 電池を交換するときは2本いっしょに交換してください。また、種類の違う電池をいっしょに使用しないでください。 ・ +-の向きを正しく入れてください。 ・ 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

ランプについての安全上のご注意

本プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
この水銀ランプには、次のような性質があります。

- ・ 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ・ ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間は大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- ・ ランプは使用時間の経過による劣化などで、次第に暗くなります。



警告

ランプが破裂した場合

- ・ ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。
- ・ ランプ内部のガスには水銀が含まれています。ランプから生じるガスを吸い込んだり、目や口に入る恐れがあるので、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。
- ・ ランプから生じるガスを吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。
- ・ プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。キャノンお客様相談センターへプロジェクター内部の清掃と点検、ランプの交換をご依頼ください。



注意

ランプ交換の指示（WARNING ランプが2 回点滅）が出た場合

- ・ ランプが破裂する可能性が高くなっています。すみやかに新しいランプと交換してください。

使用済みランプを捨てる時

- ・ プロジェクターの水銀ランプは、蛍光灯と同じ取り扱いで各自治体の条例に従って廃棄してください。

持ち運び／輸送時のご注意

注意

- ・ プロジェクターは精密機器です。衝撃や振動を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。
- ・ 持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ、表面をキズや汚れから守るために付属のキャリーバッグに収納してください。なお収納方法は19ページを参照してください。
- ・ 冷却ファンが止まるまで、キャリーバッグに収納しないでください。冷却ファンが回っている状態で収納すると、熱のため故障する恐れがあります。
- ・ プロジェクターをキャリーバッグに収納するときは、調整脚を戻してください。調整脚が出た状態で収納するとプロジェクターが破損する恐れがあります。
- ・ キャリーバッグはプロジェクターを外部の衝撃から保護するようには設計されていません。キャリーバッグに入れて持ち運ぶときは、衝撃を与えたり、落としたり、上にものを置いたりしないでください。破損や故障の原因になります。
- ・ プロジェクターをキャリーバッグで輸送しないでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、耐衝撃性の高い輸送用ケースをご使用ください。

設置のときのご注意



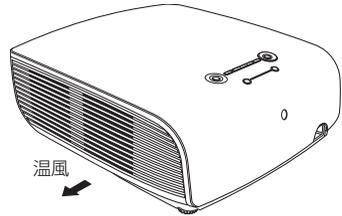
注意

動作中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。

- ・ やけどの原因になりますので手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。

排気口からは温風が吹き出します。次の点にご注意ください。

- ・ スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・ 金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・ 排気口付近には視聴席を設けないでください。やけどの原因になります。

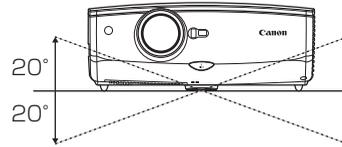


キャスター付き台に設置するときはキャスター止めをしてください。

- ・ キャスター止めをしないと、プロジェクターが動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

本体は水平に設置してください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。

- ・ 左右の傾きは各 20° 以内としてください。
- ・ 上向きや下向きでご使用になる場合は、真上と真下方向での設置のみ投写可能です。



こんな場所には設置しないでください

- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

- ・ 本プロジェクターの左右、後ろ、上方は、壁などから1m以上離して設置してください。排気の影響で故障の原因になります。
- ・ 排気口付近に熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。

空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。故障の原因になります。

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。なお使用温度と保管温度の範囲は次の通りです。

使用温度範囲 $+5^{\circ}\text{C} \sim +35^{\circ}\text{C}$ ・ 湿度85%まで

保管温度範囲 $-10^{\circ}\text{C} \sim +60^{\circ}\text{C}$ ・ 湿度90%まで

海拔2300m以上の高地でご使用のお客様へ

- ・ 本機を海拔2300m以上の高地で使用する場合は、販売店にご相談ください。

はじめに

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

SX80 デジタルカメラや USB
メモリーの画像を投写する

SX80 プロジェクターをネット
ワークに接続する

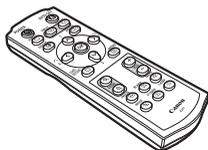
付録

索引

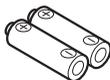
付属品の確認

次の付属品が揃っていることを確認してください。

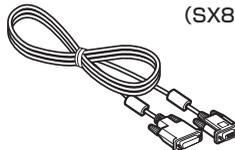
- ・リモコン



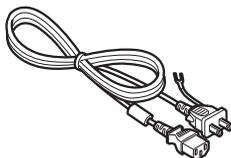
- ・リモコン用乾電池
(単4形2本)



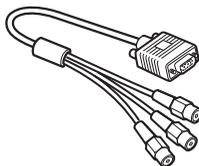
- ・コンピューター接続ケーブル (1.8m)
(DVI / ミニ D-sub15 ピン用)
(SX80)



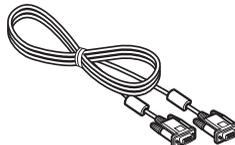
- ・電源コード (2m)



- ・コンポーネントケーブル (0.4m)
(RCA / ミニ D-sub15 ピン用)



- ・コンピューター接続ケーブル (1.8m)
(VGA / ミニ D-sub15 ピン用)
(SX800)



アース線にはキャップが付いています。

- ・レンズキャップ



- ・レンズキャップ用のひも



- ・キャリーバッグ

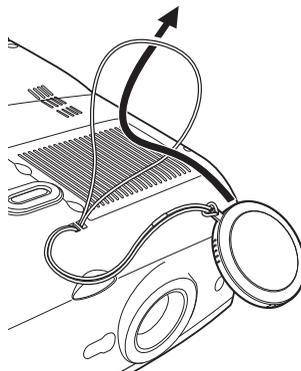


- ・使用説明書
- ・クイックスタートガイド
- ・保証書

■レンズキャップの取り付けかた

図のようにレンズキャップの穴にひもを通してから、本体底面の取り付け穴にひもを通します。

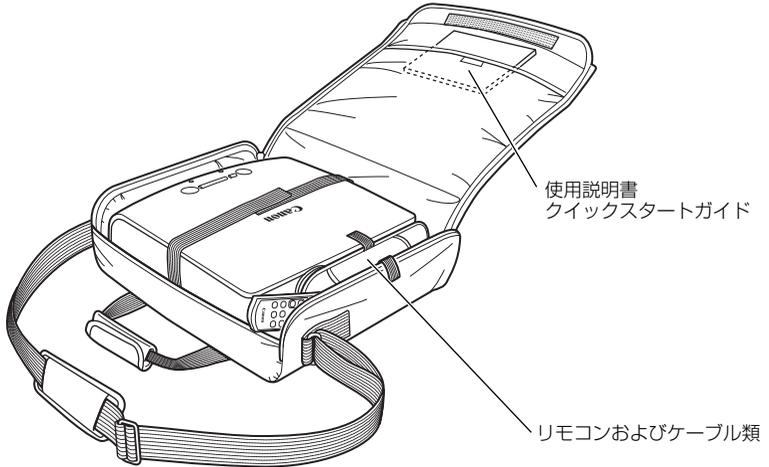
- ・プロジェクターを使用しないときは、レンズを保護するためレンズキャップをはめてください。



■キャリーバッグへの収納のしかた

プロジェクターおよび付属品は下の図のように収納してください。

キャリーバッグは簡易的な持ち運びのときに、プロジェクターの表面をキズや汚れから守るための収納具です。外部の衝撃から保護するように設計されていません。

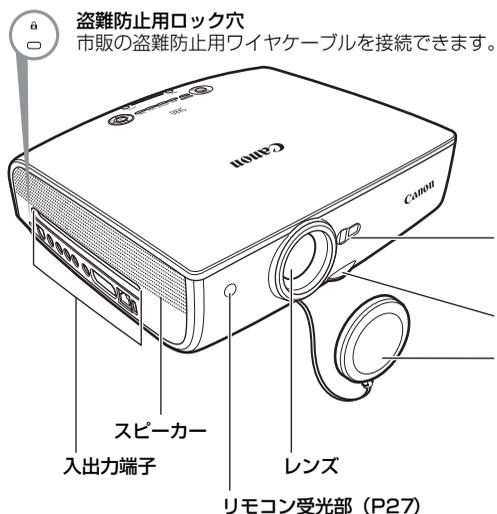


- ・ 冷却ファンが止まるまでキャリーバッグに収納しないでください。冷却ファンが回っている状態で収納すると、熱のため故障することがあります。
- ・ キャリーバッグに収納するときは、レンズを保護するためレンズキャップをはめてください。またプロジェクターの破損を防ぐため調整脚を戻してください。
- ・ キャリーバッグで持ち運ぶときは、衝撃を与えたり、落としたり、上にものを置いたりしないでください。プロジェクターが破損することがあります。

各部のなまえ

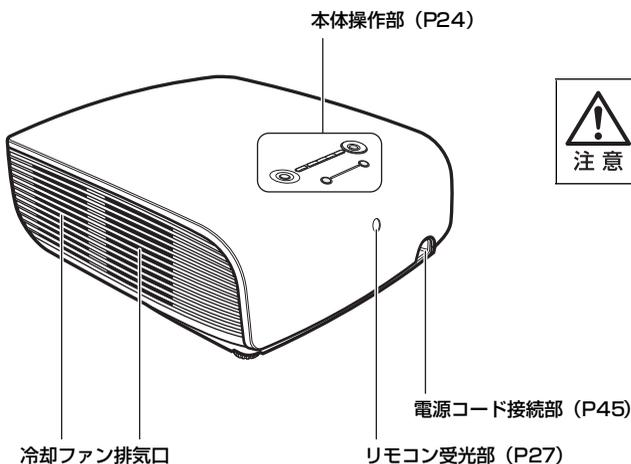
プロジェクター本体 (イラストはSX80です)

■前面



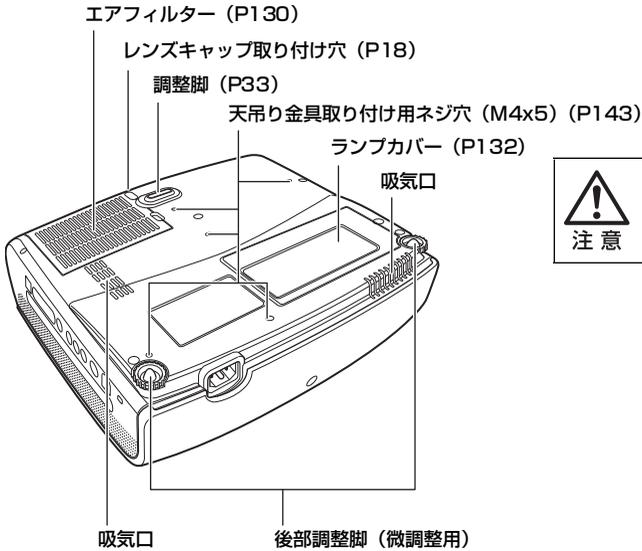
**注意**
投写の際には必ずレンズキャップを外してください。キャップを付けたまま投写すると、火災やキャップの変形の原因となります。

■背面



**注意**
排気を妨げないようにしてください。
火災や故障などの原因となります。

■底面



吸気を妨げないようにしてください。
火災や故障などの原因となります。

注意

16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1

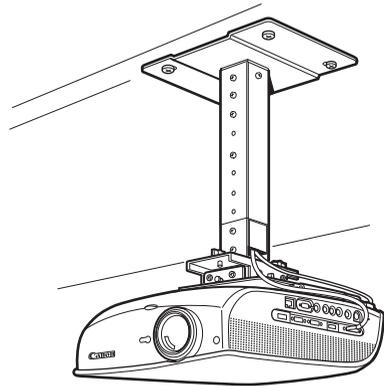
吊り下げ型の設置について

本機は天井から吊り下げてご利用いただくこともできます。

吊り下げには、オプション (別売) の天吊り金具 (品番:RS-CL10) と、必要に応じて天吊りパイプ (品番:RS-CL08、またはRS-CL09) が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。



- ・必ず専用の天吊り金具を使用してください。
- ・お客様による天吊り金具の設置は絶対におやめください。
- ・本機を吊り下げてご使用になる際は、メニューの [反転表示] で映像を反転する必要があります。(P83)



リモコン

本プロジェクターは、リモコンまたは本体操作部のボタンを使って操作します。
リモコンから本プロジェクターのすべての機能が操作できます。

パワー

POWER ボタン (P45、P64)

電源を入/切します。

アスペクト

ASPECT ボタン (P62)

映像の横縦比 (アスペクト) を切り換えます。

フォーカス

FOCUS ボタン (P55)

画面のピントを合わせます。

【▲】【▼】 ボタン おおまかに調整します。

【<】【>】 ボタン 微調整します。

SX80 では【FOCUS】【AUTO SET】の順に
押すと画面のピントを自動で補正します。

デジタルイメージシフト/キーストーン

D.SHIFT / KEYSTONE ボタン (P56)

台形ひずみを調整します。

【▲】【▼】 ボタン ひずみを調整します。

【D.SHIFT / KEYSTONE】【AUTO SET】の順
に押すと台形ひずみを自動で補正します。

・ Dイメージシフト時は画面を上下に移動します。
(P60)

・ 【▲】【▼】 ボタンで上下に移動します。

デジタルズーム

D. ZOOM ボタン (P68)

映像をデジタルズームで拡大縮小します。

【+】 ボタン 拡大 (最大 12 倍)

【-】 ボタン 縮小 (最小 1 倍)

【▲】【▼】【<】【>】 ボタン 拡大場所を移動します。

フリーズ

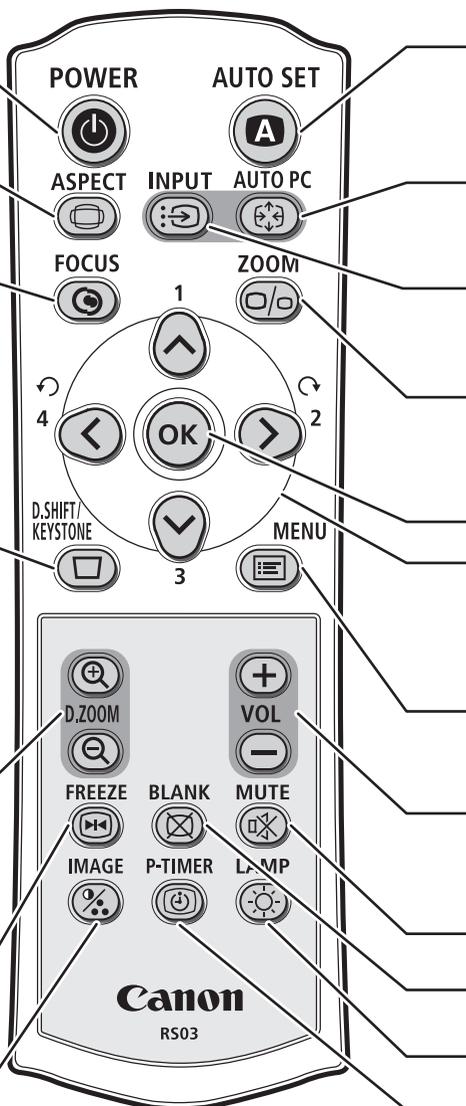
FREEZE ボタン (P66)

映像を静止させます。

イメージ

IMAGE ボタン (P63)

イメージモード (画質) を切り換えます。



オートセット

AUTO SET ボタン (P49)

入力信号の設定・台形ひずみの補正 (SX80、SX800)、ピント合わせ・スクリーン色補正 (SX80) を自動で行います。

インプット

INPUT ボタン (P51)

投写する入力信号を選びます。

ズーム

ZOOM ボタン (P54)

画面サイズを調整します。

【∧】 【∨】 ボタン おおまかに調整します。

【<】 【>】 ボタン 微調整します。

方向ボタン (P73)

メニューなどで上下左右の方向を指定します。

メニュー

MENU ボタン (P72)

投写画面にメニューを表示します。

ボリューム

VOL ボタン (P67)

音量を調節します。

【+】 ボタン 音量を上げます

【-】 ボタン 音量を下げます

ブランク

BLANK ボタン (P66)

映像の表示／非表示を切り換えます。

ピータイマー

P-TIMER ボタン (P69)

ボタンを押したときからの経過時間が表示されます。

オートピーシー

AUTO PC ボタン (P53)

アナログ PC-1 / PC-2 入力時に、コンピュータの信号に合わせてプロジェクターを最適な状態に調整します。

オケータ

OK ボタン (P74)

メニューなどで選んだ項目を確定します。

ミュート

MUTE ボタン (P67)

音声を一時的に消します。

ランプ

LAMP ボタン (P93)

ランプモード (標準 / 静音) を切り換えます。

本体操作部

キーストーン

KEYSTONE ボタン

台形ひずみを調整します。(P56)
 【△】【▽】ボタン ひずみを調整
 【KEYSTONE】【AUTO SET】の順に押すと
 台形ひずみを自動で補正します。
 ・ D イメージシフト時は画面を上下に移動します。
 (P60)
 ・ 【△】【▽】ボタンで上下に移動します。

メニュー

MENU ボタン (P72)

投写画面にメニューを表示します。

オートセット

AUTO SET ボタン (P49)

入力信号の設定・台形ひずみの補正
 (SX80、SX800)、ピント合わせ・ス
 クリーン色補正 (SX80) を自動で行い
 ます。



パワー

POWER ボタン/ランプ (P45、P64)

電源を入/切します。
 緑に点灯 電源が入っている状態です。
 緑に点滅 投写の準備をしています。
 赤く点灯 電源を入れることができます。
 赤く点滅 電源を切るための処理中
 (ランプの冷却中) です。

ワーニング

WARNING ランプ (P124)

プロジェクターの異常を赤いラン
 プの点滅で知らせます。

INPUT



インプット

INPUT ボタン (P51)

投写する入力信号を選びます。

フォーカス

FOCUS ボタン (P55)

画面のピントを合わせます。
 【△】【▽】ボタン おおまかに調整します。
 【<】【>】ボタン 微調整します。
 SX80 では【FOCUS】【AUTO SET】
 の順に押すと画面のピントを自動で補正
 します。

ズーム

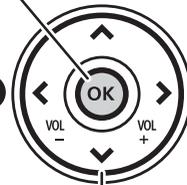
ZOOM ボタン (P54)

映像サイズを調整します。
 【△】【▽】ボタン おおまかに
 調整します。
 【<】【>】ボタン 微調整します。

オーケー

OK ボタン (P74)

メニューなどで選んだ
 項目を確定します。



ボリューム

方向/VOL ボタン (P73、P67)

音量を調整します
 【<】ボタン 音量を下げます。
 【>】ボタン 音量を上げます。
 メニューなどでは上下左右の方
 向を指定します。

オートピーシー

AUTO PC ボタン (P53)

アナログ PC-1 / PC-2 入力時に、コンピュー
 ターの信号に合わせてプロジェクターを最適な
 状態に調整します。

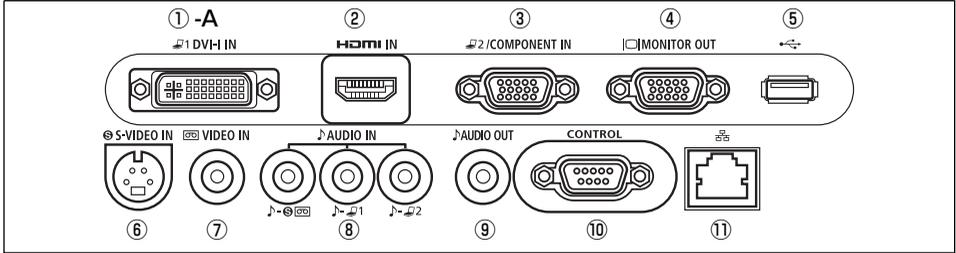
エルイーディー

LED イルミネーションランプ (P98)

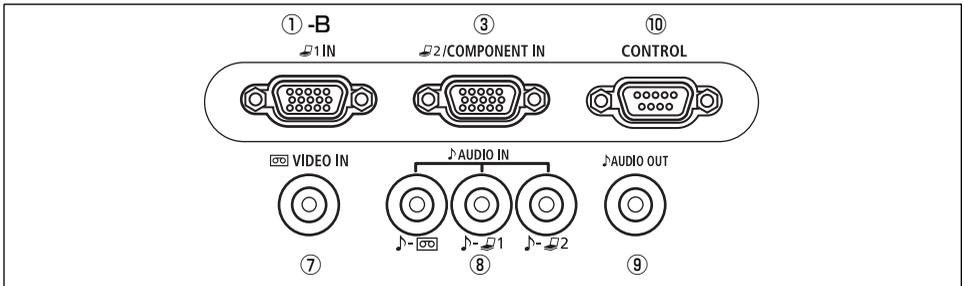
プロジェクターの状態を光の流れで知らせます。
 左から順に点滅 電源オンの準備中です。
 右から順に点滅 電源オフの準備中です。
 中央がゆっくり点滅 画面の非表示 (BLANK) 中です。
 左右がゆっくり点滅 画面の静止 (FREEZE) 中です。

接続端子

■SX80



■SX800



①-A **SX80** アナログ PC-1 / DVH-IN 入力端子 (P36、P38)

①-B **SX800** アナログ PC-1 入力端子 (P36)

コンピューターの外部モニター出力と接続します。

アナログ PC 信号 (アナログ PC-1)、またはデジタル信号 (デジタル PC、SX80) の入力端子です。

② **SX80** HDMI 入力端子 (HDMI IN) (P40)

デジタルコンテンツの映像信号 (HDMI) の入力端子です。

映像と音声をひとつのケーブルで入力できます。

③ アナログ PC-2 / コンポーネント入力端子 (P37、P42)

アナログ PC 信号 (アナログ PC-2) の入力端子です。

付属のコンポーネントケーブルを使用して、コンポーネント映像 (コンポーネント) を入力することもできます。

④ **SX80** モニター出力端子 (MONITOR OUT) (P38)
外部モニターに映像を出力するための映像出力端子 (アナログ RGB) です。

⑤ **SX80** USB 接続端子 (P44)
デジタルカメラ、または USB メモリーの接続端子です。

⑥ **SX80** S-ビデオ入力端子 (S-VIDEO IN) (P41)
S-映像信号 (S-ビデオ) の入力端子です。

⑦ ビデオ入力端子 (VIDEO IN) (P41)
コンポジット映像信号 (ビデオ) の入力端子です。

⑧ **音声入力端子 (♪ AUDIO IN) (P36、P37、P38、P41、P42)**

HDMI-IN 以外の 3 系統の映像入力に対応する音声信号の入力端子です。

左から順に、次の信号に対応する音声信号を入力します。

SX80 : 「S-ビデオまたはビデオ」、「デジタル PC / アナログ PC-1」、「アナログ PC-2 / コンポーネント」

SX800: 「ビデオ」、「アナログ PC-1」、「アナログ PC-2 / コンポーネント」

選択した映像信号の音声が入蔵スピーカーから出力されます。

⑨ **音声出力端子 (♪ AUDIO OUT) (P39、P43)**

外部 AV 機器に音声を出力するための出力端子です。投写中の映像信号に対応する音声信号が出力されます。

⑩ **サービス用端子 (CONTROL)**

サービスマン用の端子です。通常は使用しません。

⑪ **SX80 LAN 接続端子 (P118)**

LAN ケーブルを接続します。

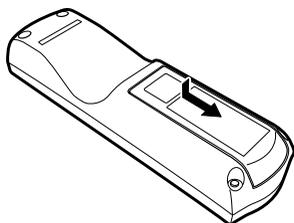
プロジェクターをネットワークに接続できます。

リモコンの準備

■電池の入れかた

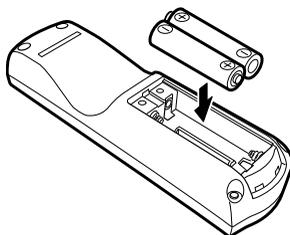
1 電池カバーを開く。

押しながらスライドさせて外します。

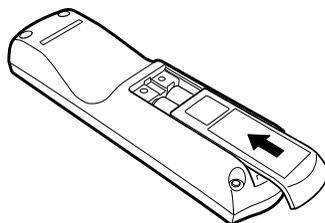


2 電池を入れる。

新しい単 4 乾電池 2 本を
+プラスと-マイナスの
向きに注意して入れます。



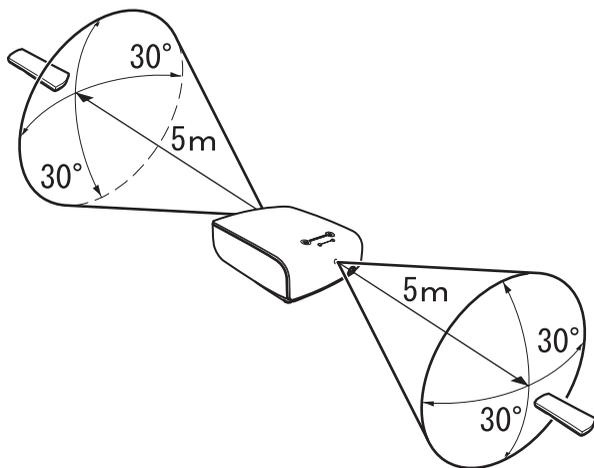
3 電池カバーを閉じる。



- ・ リモコンでの操作ができない場合は、新しい電池と交換してください。
- ・ プレゼンテーションなどを行う前には、必ずリモコンの電池を確認してください。

■リモコンで操作できる範囲

リモコンは本体の前面または背面にあるリモコン受光部に向けて操作してください。



- ・ リモコンは本体から 5m 以内で使用してください。
- ・ リモコンは本体の受光部の正面から 30° の範囲で使用してください。
- ・ 本体との間に障害物があるときや、本体の受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているときは、リモコンが操作できないことがあります。
- ・ 2 台のプロジェクターを使用する場合は、リモコンが干渉し合わないようにチャンネル設定を切り換えてください。(P99)

投写する

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

SX80 デジタルカメラや USB
メモリーの画像を投写する

SX80 プロジェクターをネット
ワークに接続する

付録

索引

設置から投写までの手順

プロジェクターと機器を接続する(P34、P35)

電源を入れる (P45)

ノート型コンピューターの映像を投写しますか？

No

Yes

ノート型コンピューターの場合、画面出力を切り換えた後 (P47)、オートセットアップに進みます。

オートセットアップを行う (P48)

画面が正常に投写されましたか？

No

Yes

投写作業は完了です。

入力信号を選ぶ (P50)

画面が正常に投写されましたか？

No

Yes

投写作業は完了です。

画面を調整する (P52)

次の調整を行ってください。

- ・ コンピューターの表示解像度を設定する (P52)
- ・ オートPCで映像の表示のずれや画面のちらつきを調整する (P53)
- ・ 画面サイズを調整する (P54)
- ・ ピントを合わせる (P55)
- ・ 台形ひずみを補正する (P56)

さらに細かく調整する

- ・ スクリーンアスペクトとアスペクトを選ぶ (P58、61)
- ・ 画質 (イメージモード) を選ぶ (P63)

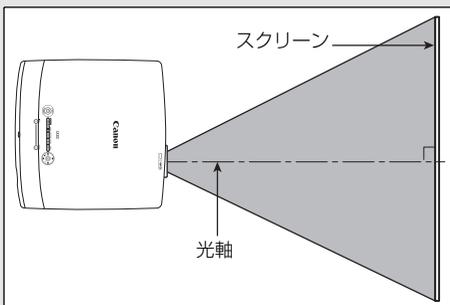
プロジェクターを設置する

■スクリーンの正面に置く

プロジェクターをスクリーンの正面に置いてください。

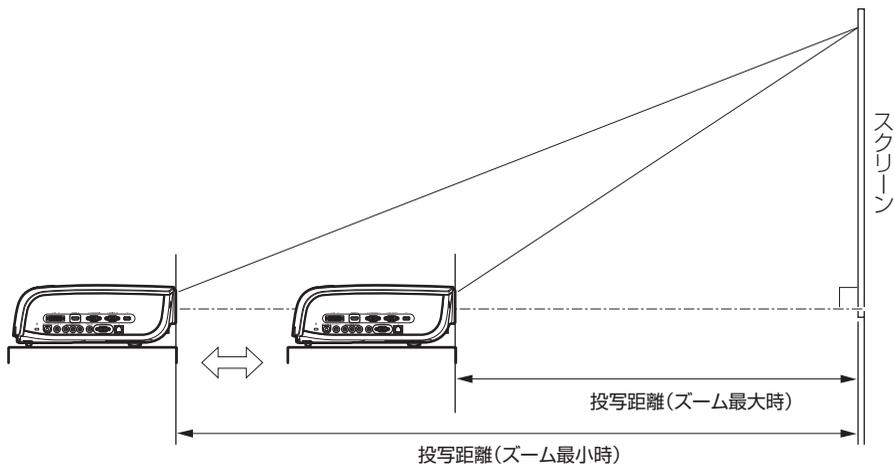


- ・ 真っ直ぐに投写しないと画面がひずみます。
- ・ スクリーンには、太陽光線や照明が直接当たらないようにしてください。明るい部屋では、照明を消す、カーテンを引くなどすると、画面が見やすくなります。



投写画面サイズについて

投写画面のサイズは、プロジェクターからスクリーンまでの距離（投写距離）とズーム（P54）で決まります。投写画面のサイズと投写距離の関係については、137ページの「画面サイズと投写距離の関係」の表も参照してください。



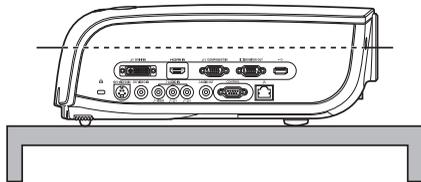
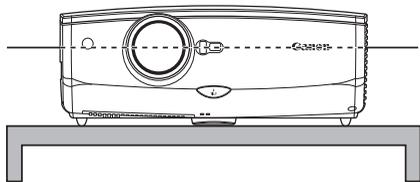
画面サイズ (型)	40	60	80	100	150	180	200	250	300
幅 (cm)	81	122	163	203	305	366	406	508	610
高さ (cm)	61	91	122	152	229	274	305	381	457
投写距離 (m) (ズーム最大時)	1.2	1.8	2.4	3.0	4.5	5.4	6.0	7.6	9.1
投写距離 (m) (ズーム最小時)	1.7	2.6	3.5	4.4	6.6	8.0	8.9	—	—

■水平な場所に置く

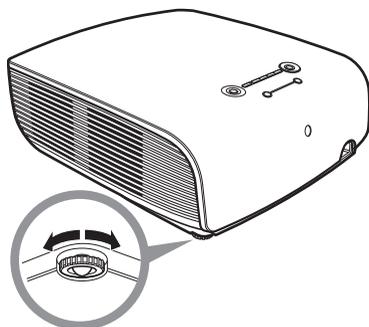
プロジェクターは、水平に置いて投写するのが理想的です。

スクリーンが高いときなど上に向ける必要があるときは、次ページ「上に向けるには」を参照してください。

- ・ 投写画面の傾きは、後部調整脚で調整してください。

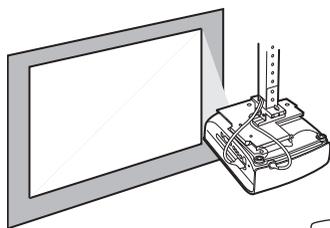


本体側面の吸排気口、底面の吸気口がふさがれていないことを確認してください。

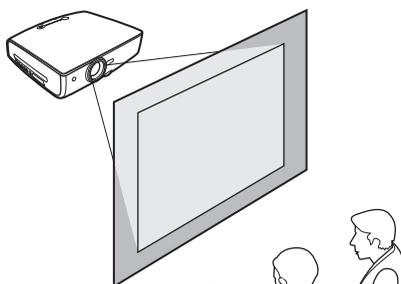


天吊り／リア投写について

本プロジェクターは、天井から逆さに吊り下げ（天吊り）て投写したり、透過型スクリーンを使用してスクリーン裏側から投写（リア投写）することもできます。この場合は、映像を上下、左右に反転させます。（P83）



天吊り投写



リア投写

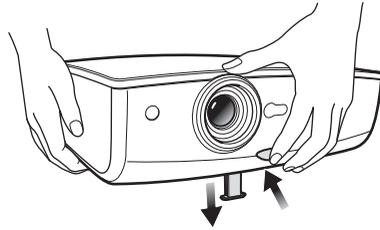
■上に向けるには

スクリーンの位置が高いときは、調整脚を使って上に向けます。

最大 10° まで上に向けられます。

投写画面が台形にひずみますが、オートキーストーン (P48) や台形ひずみの補正機能 (P56) で補正できます。

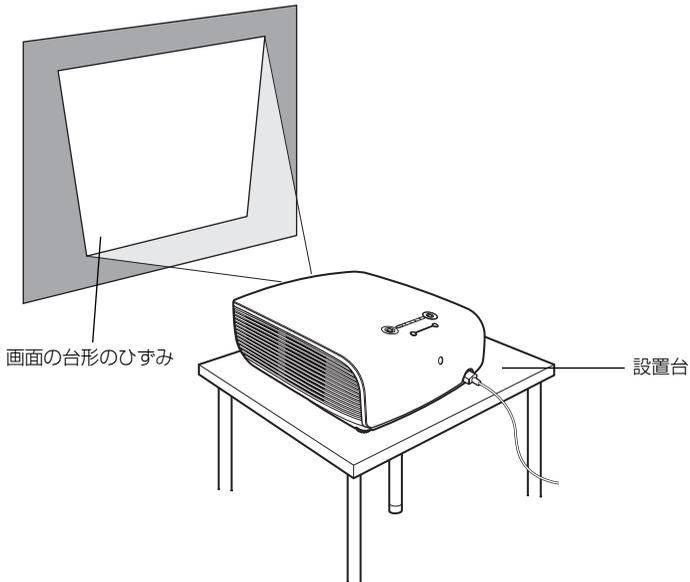
- 1 本体の前方を持ち上げて、調整脚ロックボタンを押すと調整脚が出ます。
- 2 画面の高さを合わせてロックボタンを離すと、調整脚が固定されます。



投写する

画面の台形ひずみが大きいとき

ひずみが大きくて補正しきれないときは、本体を設置台に乗せるなどして高さを調整してください。



接続する

接続できる機器と接続端子

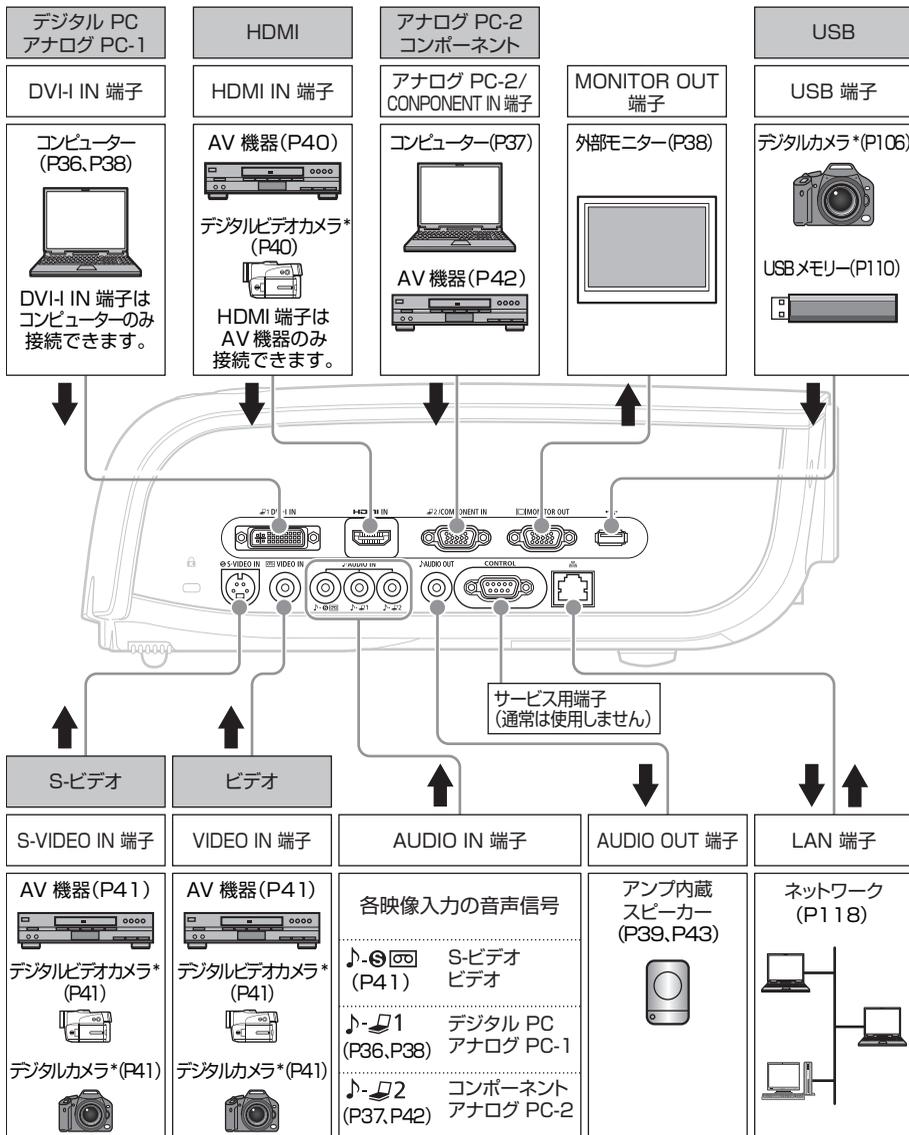
デジタル PC アナログ PC-1
DVI-I IN 端子

この名称で映像を選びます。

↓ 信号やデータが流れる方向です。

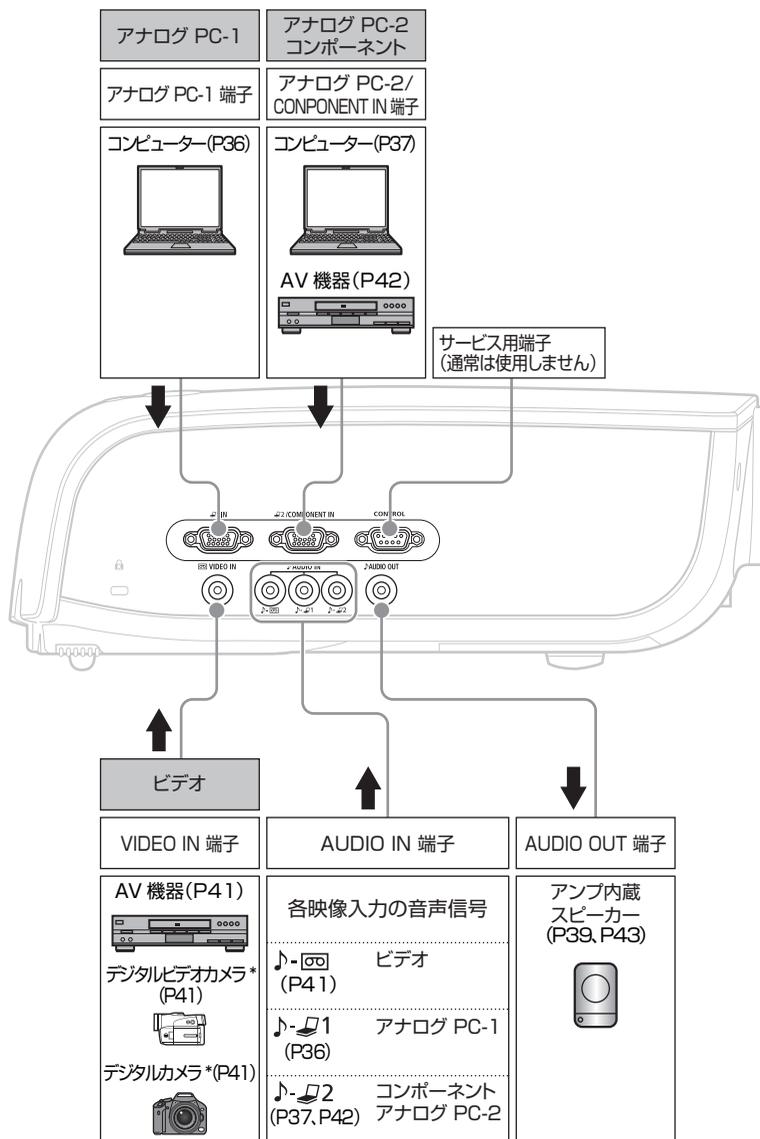
機器を接続する端子の名称です。(Pxxx) 解説ページです。

■SX80



*再生モードにして接続してください。

■SX800



*再生モードにして接続してください。

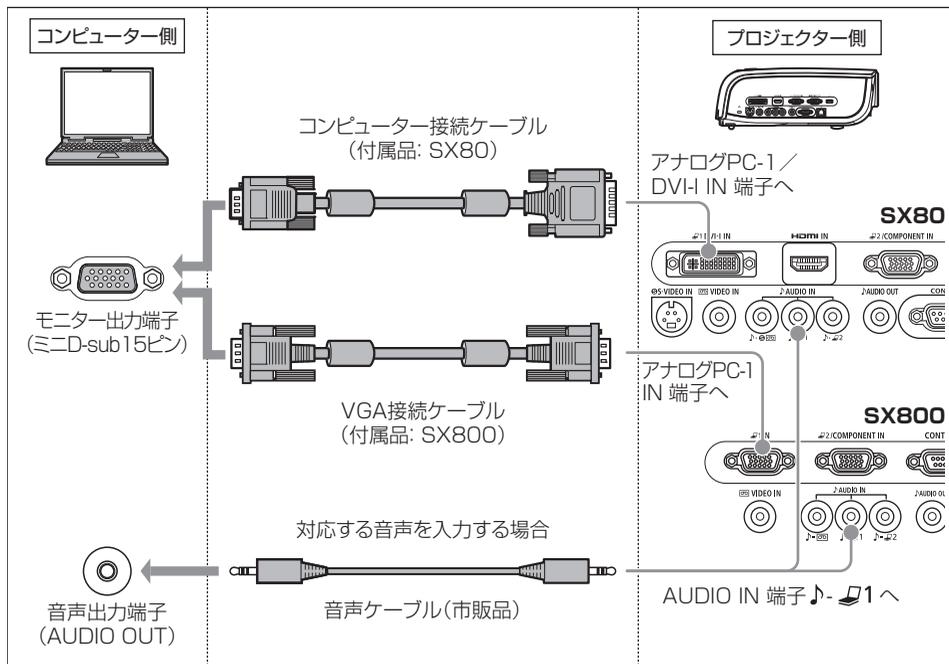
コンピューターと接続する

プロジェクターとコンピューターを接続します。

プロジェクターとコンピューターの両方の電源を切ってから接続してください。

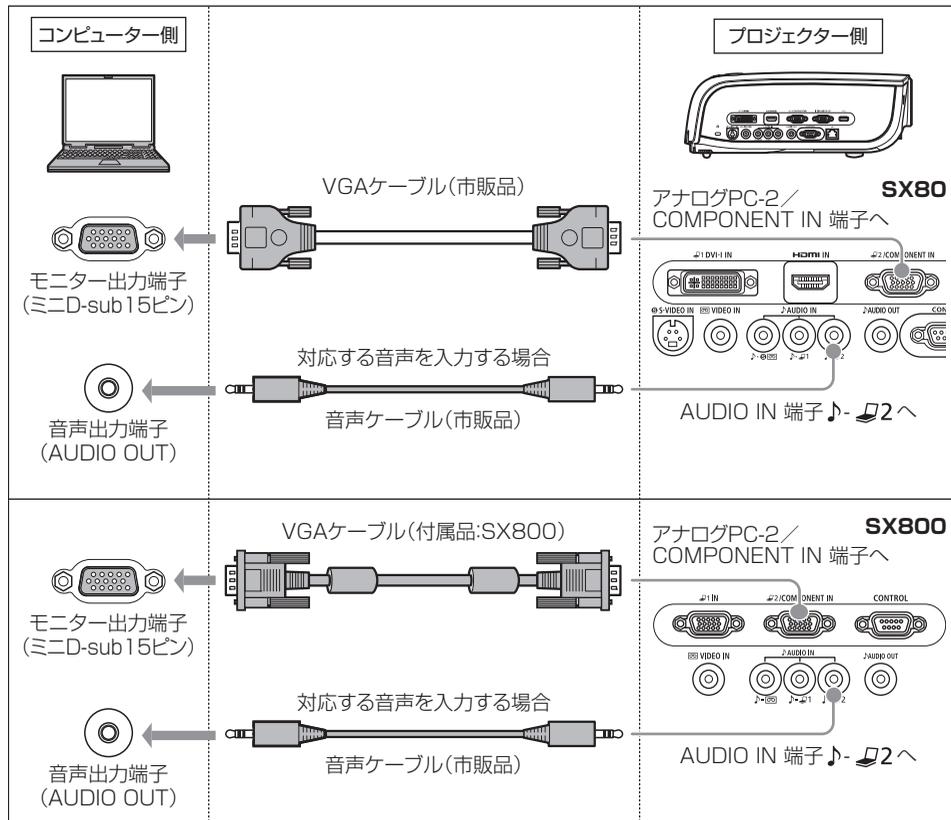
■RGB モニター出力端子と接続（アナログ接続）

付属のケーブルで接続（入力信号の種類【アナログPC-1】 P50）



音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。

市販または付属のVGAケーブルで接続（入力信号の種類【アナログPC-2】P50）



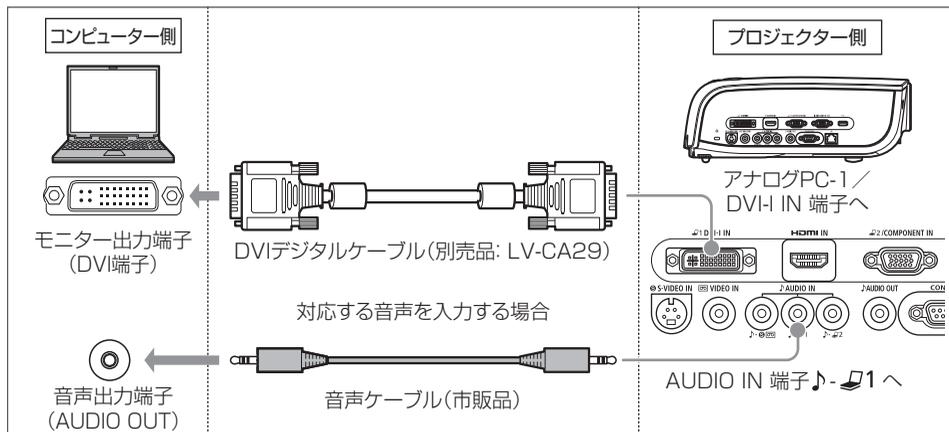
投写する



- ・ 市販のVGAケーブルの場合は、全てのピンが結線された（全結線）タイプを使用してください。全結線でないタイプでは、映像が正しく表示されません。
- ・ 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。

■DVI モニター出力端子と接続（デジタル接続） SX80

DVIケーブルで接続（入力信号の種類 【デジタルPC】 P50）

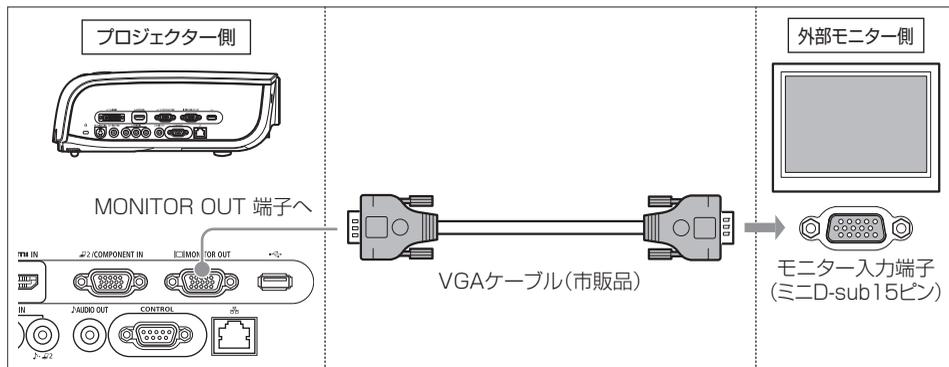


🔊 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声小さくなります。

■映像または音声を外部に出力する

映像を出力する SX80

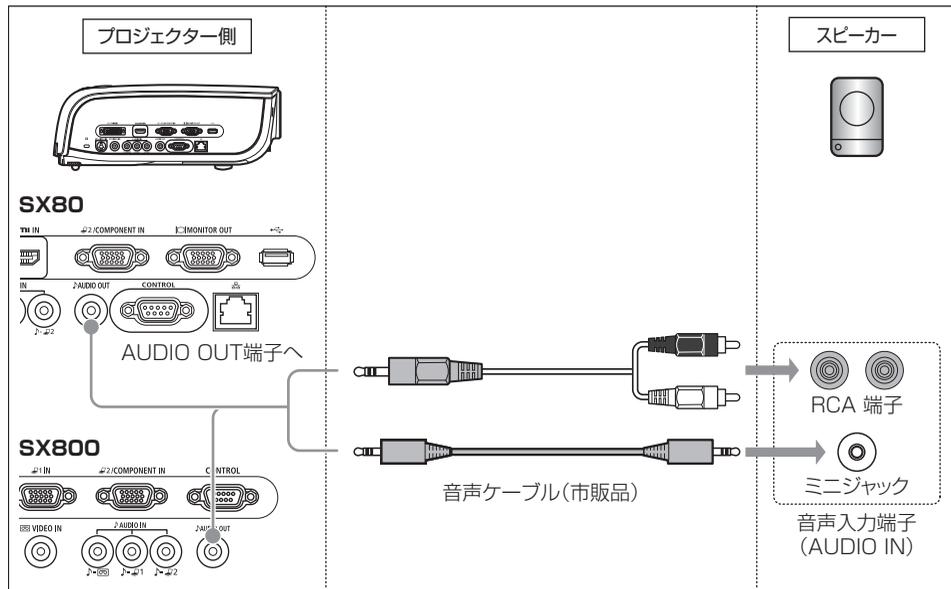
[アナログPC-1] と [アナログPC-2]、[コンポーネント] の映像は、外部モニターに出力できます。



- 🔊 外部モニターは 1 台のみ接続できます。
- 外部モニターには最後に選択されたアナログ PC、もしくはコンポーネントの映像が出力されます。

音声を出力する

投写中の映像の音声を、AV機器やアンプ内蔵スピーカーに出力することもできます。



- ・ スピーカーからは、現在選択されている映像信号に対応する音声出力されます。
- ・ 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。

AV 機器と接続する

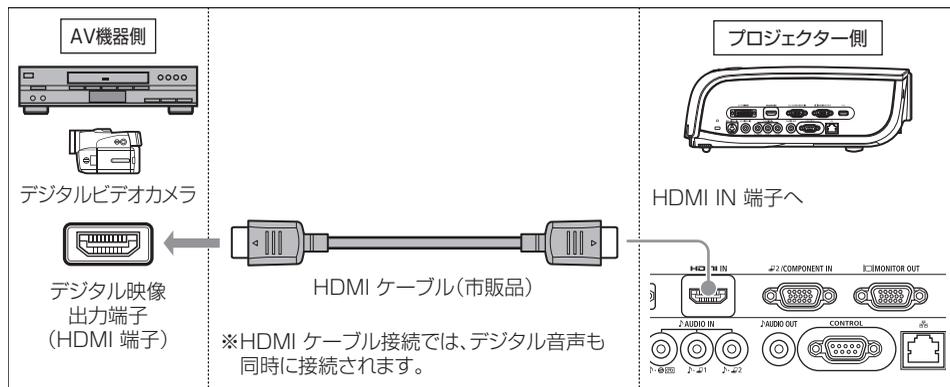
プロジェクターと、各種 AV 機器を接続します。

プロジェクターと AV 機器の両方の電源を切ってから接続してください。

ここで説明する説明方法は一例です。詳しくは各 AV 機器の使用説明書を参照してください。

■デジタル映像出力端子と接続（デジタル接続） **SX80**

HDMI ケーブルで接続（入力信号の種類 [HDMI] P50）



■アナログ映像出力端子と接続（アナログ接続）

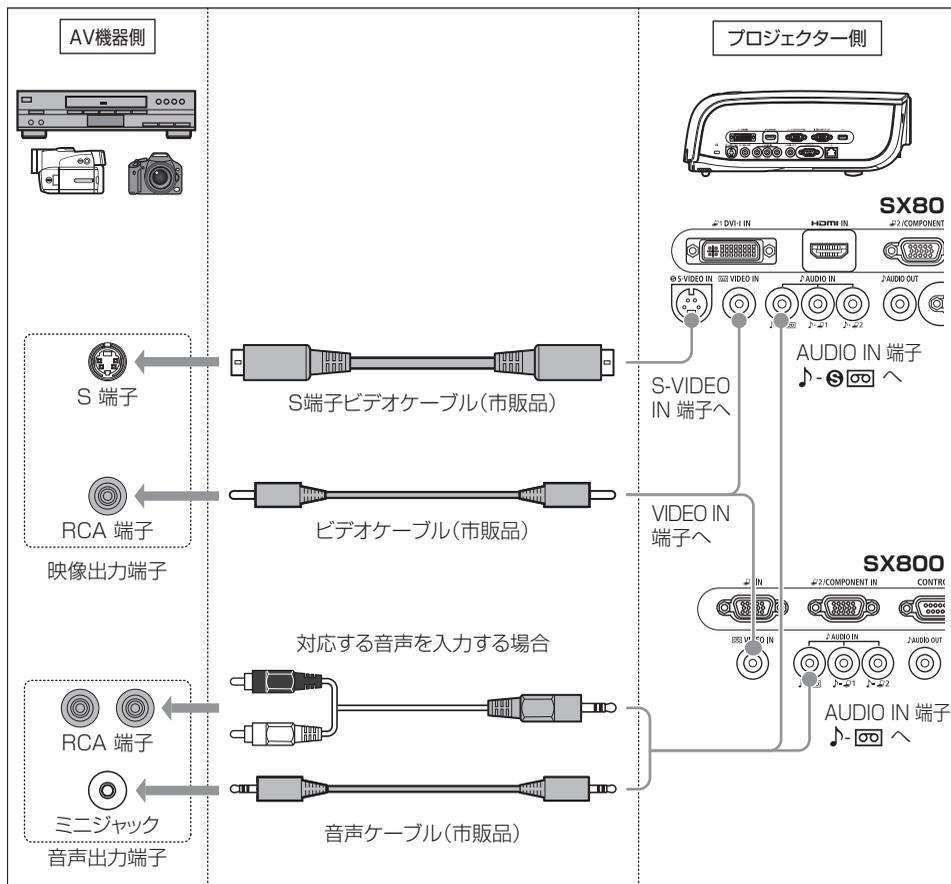
ビデオケーブルで接続（入力信号の種類【ビデオ】または【S-ビデオ】 P50）

AV機器側の端子形状に合わせて、ビデオケーブルまたはS端子ビデオケーブルで接続します。

入力信号の種類は、ビデオケーブルで接続した場合は【ビデオ】、S端子ビデオケーブルの場合は【S-ビデオ】となります。

なお、【ビデオ】と【S-ビデオ】の音声は共通となります。

S-ビデオはSX80のみ対応しています。



投写する

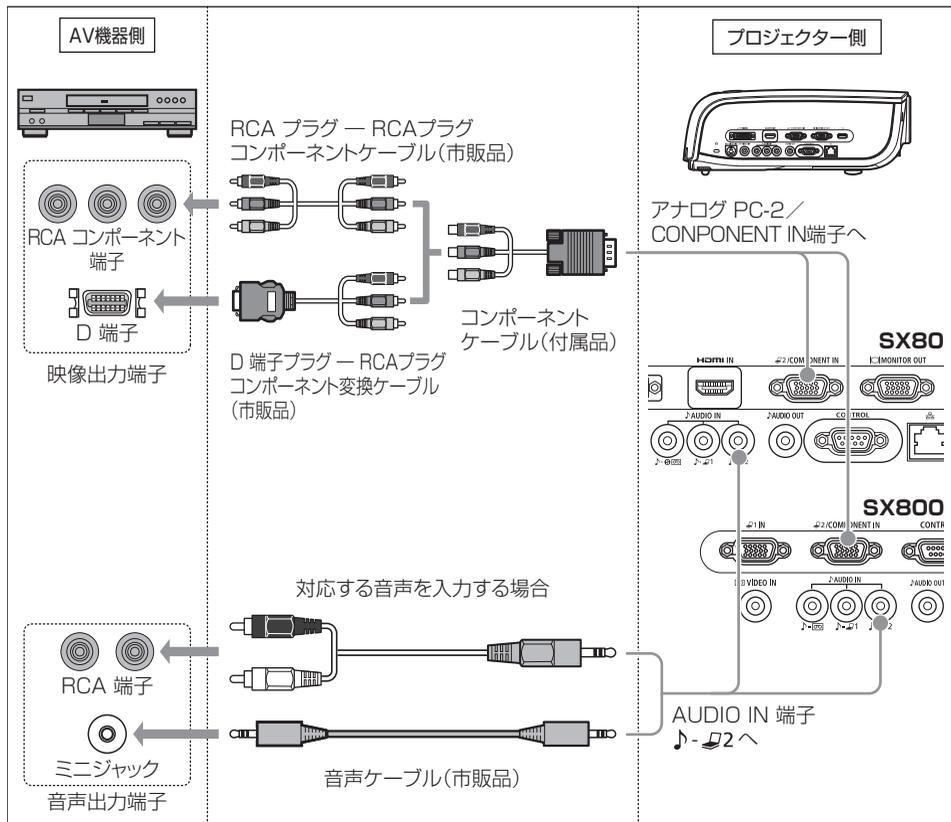


音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声小さくなります。

コンポーネントケーブル (付属) で接続 (入力信号の種類 [コンポーネント] P50)

付属のコンポーネントケーブルをプロジェクターの「アナログ PC-2 / COMPONENT IN 端子」に接続することで、AV 機器のコンポーネント映像信号を入力することができます。

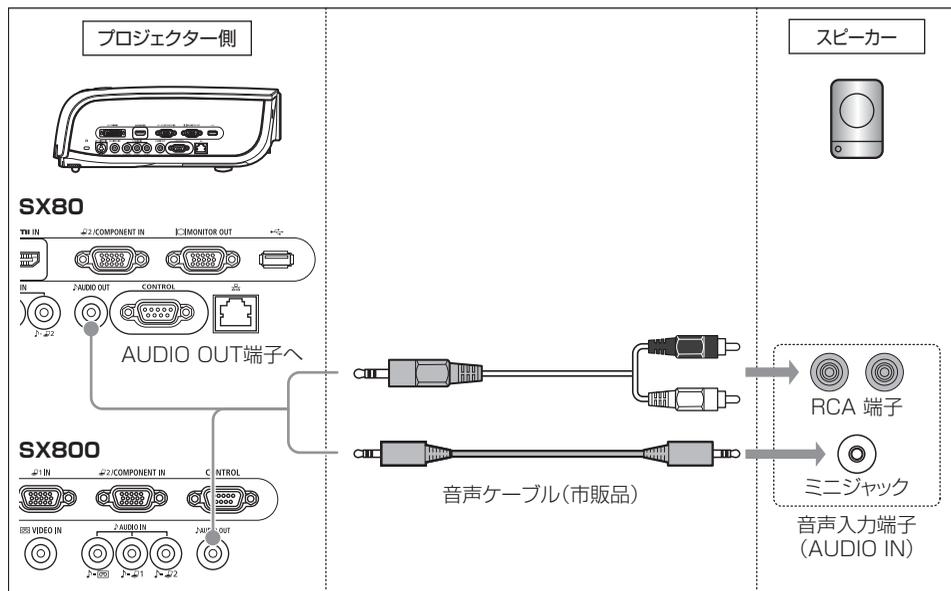
AV 機器側の端子形状に合ったコンポーネントケーブル (市販品) で中継接続してください。



音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。

■音声を外部へ出力する

投写中の映像の音声を AV 機器やアンプ内蔵スピーカーに出力できます。

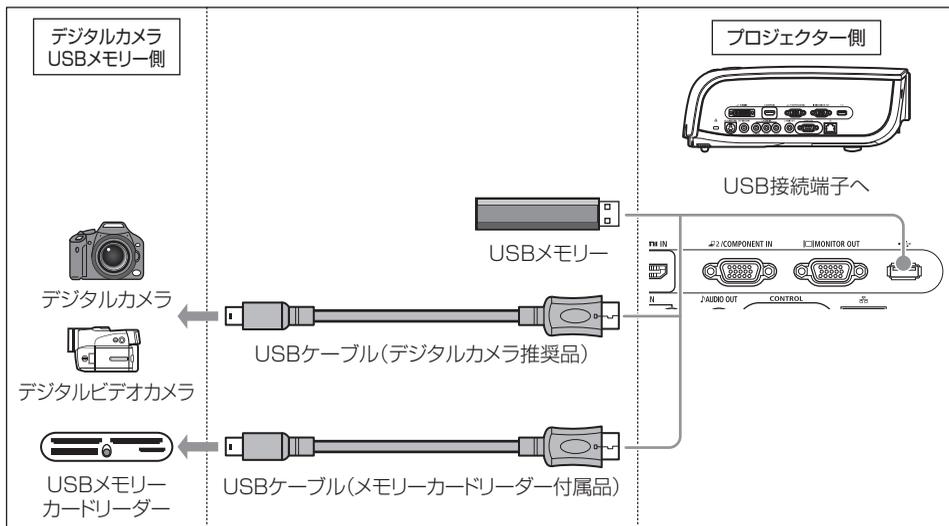


音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。

■デジタルカメラ、USB メモリーと接続 **SX80**

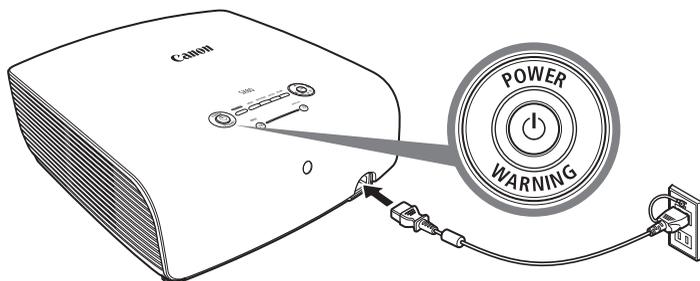
SX80はPictBridgeに対応しています。

PictBridge対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラ、USBメモリー、メモリーカードリーダーなどを接続して、撮影画像を直接投写することができます。



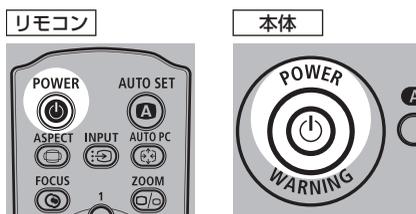
電源を入れる

- 1 コンピューターまたは AV 機器との接続を確認します。(P34 ~ P44)
- 2 プロジェクターの電源コードを接続し、[POWER] ランプが赤く点灯することを確認してください。
[POWER] ランプが赤く点滅しているときは、光源ランプの冷却中です。点灯に変わるまでお待ちください。



- ・ コネクターは奥までしっかりと差し込んでください。
- ・ 電源プラグのアース端子を接続してください。アース端子を接続しないと、感電したり、コンピューターの電波障害やテレビ・ラジオの受信障害となることがあります。
- ・ 電源を切った後に再度電源を入れる場合は、5分以上経ってから電源を入れるようにしてください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因になります。
- ・ 節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜いてください。

- 3 レンズキャップをはずし、[POWER] ボタンを押してください。
[POWER] ランプが緑色に点滅し、点灯に変わります。



カウントダウン表示(約 20 秒間)が行われた後、投写をはじめます。なお、カウントダウン表示は【OK】ボタンを押すと消えます。

- 4 コンピューターまたは AV 機器の電源を入れます。

起動時の動作を変更するには

起動時の動作を、次のように変更できます。

- ・【POWER】 ボタンを使わずに、電源コードを接続するだけで電源を入れることができます。(P96)
- ・本体操作部のLEDイルミネーションランプを消すことができます。(P98)
- ・カウントダウン中の表示を変えられます。(P86)
- ・カウントダウン表示を消すことができます。(P45)

省電力のモードを使うには (パワーマネージメント)

パワーマネージメントモードに設定すると、入力信号がない状態が続いたときにランプを自動的に消すことができます。(P95)

5 【AUTOSET】 ボタンを押します。

オートセットアップにより、次の項目が自動で行われます。

SX80 : ピント合わせ、台形ひずみの補正、入力信号の設定、スクリーンの色補正

SX800 : 台形ひずみの補正、入力信号の設定

詳しくは 48 ページを参照してください。

オートセットアップ後に正常に投写されれば、投写作業は終了です。

SX800 は手動でピント合わせとスクリーンの色補正を行ってください。

電源の切りかたは 64 ページを参照してください。なお、次の場合は、引き続きそれぞれの作業を行ってください。

■言語を選ぶ画面が表示されたとき

ご購入後に初めて電源を入れたときは、メッセージやメニューの言語を選ぶ画面が表示されます。方向ボタンで言語を選び、【OK】 ボタンを押してください。

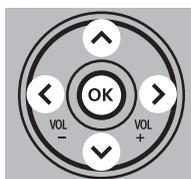
なお、言語は後からメニューを使って変更することもできます。(P97)

ピントがずれていて言語を選ぶ画面が読めないときは、【FOCUS】 ボタンでピントを合わせてください。(P55)

リモコン



本体



Language		
English	Русский	Čeština
Deutsch	Nederlands	Dansk
Français	Suomi	اِنطِنزِي
Italiano	Norsk	中文简体
Español	Türkçe	中文繁體
Português	Polski	한국어
Svenska	Magyar	日本語

オレンジの項目が選ばれます

■パスワード入力画面が表示されたとき

パスワードを設定しているときは、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力してください。(P100)

■「入力信号がありません」と表示されたとき

ノート型コンピューターの場合は、出力切り換えが必要です。(P47)

【INPUT】ボタンを押して入力信号を選びます。(P51)

■ノート型コンピューターの画面が表示できないとき

ノート型コンピューターの画面を、外部モニターに出力できるように切り替えます。詳しくは、次の「ノート型コンピューターの画面出力を切り換える」を参照してください。

■画面を調整するとき

- ・ コンピューター側の表示解像度を 1400 × 1050 ドット（ピクセル）または最も近い解像度に設定してください。(P52)
- ・ コンピューターの映像の表示のずれや画面のちらつきは、オートPC で調整してください。(P53)
- ・ 投写画面のサイズは【ZOOM】ボタンで調整してください。(P54)
- ・ ピント調整が不十分なときは【FOCUS】ボタンで調整してください。(P55)
- ・ 台形ひずみの補正が不十分なときは【D. SHIFT / KEYSTONE】ボタンで調整してください。(P56)
- ・ スクリーンの横縦比、入力信号の種類などに合わせて、スクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。(P58～62)
- ・ 投写する映像の内容に合わせてイメージモード（画質）を選んでください。(P63)

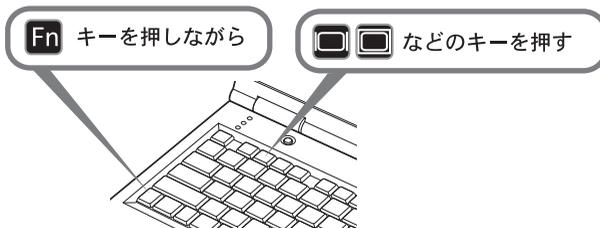
投写する

ノート型コンピューターの画面出力を切り換える

ノート型コンピューターを使用する場合は、コンピューター側で画面出力の切り換えが必要です。デスクトップ型コンピューターではこの操作は不要です。

■外部モニター切り換え操作

ノート型コンピューターの画面出力は、キーボード操作で外部モニターへ切り換えることができます。一般的には、[Fn] キーを押しながら、外部モニターを表すアイコンや文字が表記されているファンクションキー（[F1] ～ [F12]）を押すと、外部モニターへ切り換わります。



機種により使用するファンクションキーや切り換え方法が異なります。ご使用のノート型コンピューターの使用説明書を参照してください。

画面を自動調整する

オートセットアップ

オートセットアップは、次の項目を自動的に設定／調整する機能です。

入力信号の設定（オートインプット）

ピント合わせ（オートフォーカス） **SX80**

台形ひずみの補正（オートキーストーン）

スクリーンの色補正（自動スクリーン色補正） **SX80**

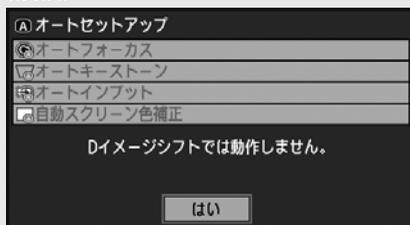
オートセットアップは次のようなときに使用します。

- ・電源を入れてカウントダウン表示が終了したとき
- ・投写中にプロジェクターの位置や傾きを変えたとき

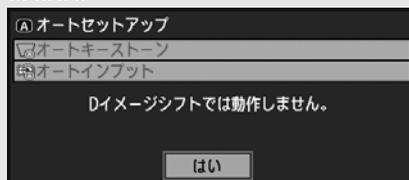


- ・工場出荷の状態では、自動スクリーン色補正は行われません。オートセットアップで自動スクリーン色補正を行うときは、メニューから設定してください。（SX80）（P82）
- ・デジタル信号のコンピューターや AV 機器の信号（[デジタル PC] および [HDMI]）はオートセットアップで設定できません。【INPUT】ボタンを押して選んでください。（SX80）（P51）
- ・『入力信号がありません』と表示されたときは、【INPUT】ボタンを押して入力信号を選んでください。（P51）
- ・ピントが合っていない、台形ひずみやスクリーンの色補正が不十分なときは、それぞれの項目を手動で調整してください。（ピント調整：P55、台形ひずみの補正：P56、スクリーンの色補正：P82）
- ・SX800 はオートセットアップによるピント合わせは行われません。手動でピントを合わせてください。（P55）
- ・[スクリーンアスペクト] を [16:9 D イメージシフト] にしたときは「オートセットアップ」は行われず、下の画面が表示されます。

SX80



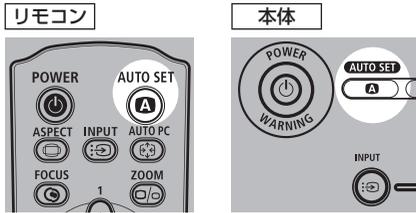
SX800



- ・【INPUT】ボタン、【AUTO SET】ボタンの順に押すと、入力信号の設定のみ行われます。
- ・【FOCUS】ボタン、【AUTO SET】ボタンの順に押すと、ピント合わせのみ行われます。ただし、[スクリーンアスペクト] を [16:9 D イメージシフト] にしたときはピント合わせは行われません。（SX80）
- ・【D.SHIFT / KEYSTONE】ボタン、【AUTO SET】ボタンの順に押すと、台形ひずみの補正のみ行われます。ただし [スクリーンアスペクト] を [16:9 D イメージシフト] にしたときは台形ひずみの補正は行われません。

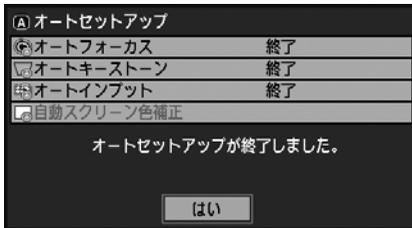
■オートセットアップを行う

【AUTO SET】 ボタンを押すと、オートセットアップが行われます。

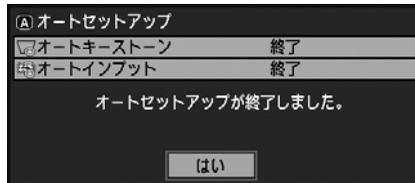


・ オートセットアップが終了すると、下の画面が表示されますので、【OK】 ボタンを押してください。

SX80



SX800

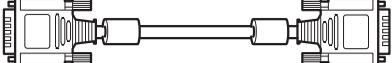
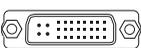
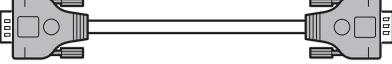
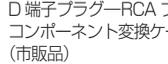
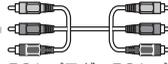


入力信号を選ぶ (INPUT)

デジタル信号のコンピューターやAV機器で投写するとき、複数のコンピューター、AV機器などを接続して投写を切り換えるときは、[INPUT]メニューで入力信号を選びます。
前回と同じ信号を投写するとき、この操作は不要です。

■入力信号の種類

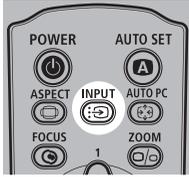
本プロジェクターで対応している入力信号と入力端子、接続ケーブルの関係は次の通りです。

入力信号	対応機種	入力端子	接続ケーブルの種類
HDMI	SX80	HDMI IN 	HDMI ケーブル (市販品) 
デジタル PC	SX80	アナログ PC-1 / DVI-I IN 	DVI デジタルケーブル (別売品: LV-CA29) 
アナログ PC-1	SX80	アナログ PC-1 / DVI-I IN 	コンピューター接続ケーブル (付属品) 
	SX800	アナログ PC-1 	VGA ケーブル (付属品) 
アナログ PC-2	SX80 SX800	アナログ PC-2 / COMPONENT IN 	VGA ケーブル (市販品) 
コンポーネント	SX80 SX800	アナログ PC-2 / COMPONENT IN 	コンポーネントケーブル (付属品)  D 端子プラグーRCA プラグ コンポーネント変換ケーブル (市販品)  RCA プラグーRCA プラグ コンポーネントケーブル (市販品) 
ビデオ	SX80 SX800	VIDEO IN 	ビデオケーブル (市販品) 
S-ビデオ	SX80	S-VIDEO IN 	S 端子ビデオケーブル (市販品) 
USB	SX80	USB 	USB ケーブルまたは USB メモリー (市販品)

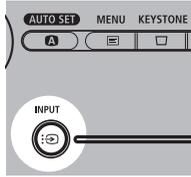
■入力信号を選ぶ

1 【INPUT】 ボタンを押すと、右下の画面が表示されます。

リモコン



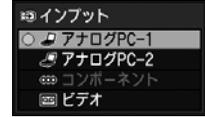
本体



SX80



SX800



現在投写中の信号に○が点き、オレンジ色で表示されます。

また、投写可能な状態の信号は白で表示され、入力のない信号はグレーで表示されます。

ただし SX80 では、[HDMI]、[デジタル PC]、[アナログ PC-1] は、投写可能な状態でもグレーで表示されることがあります。



PictBridge対応機器またはUSBメモリーが接続されていない状態で [USB] を選んで 【OK】 ボタンを押すと、右の PictBridge 対応機器またはUSBメモリーの接続を待つ画面が表示されます。詳しくは、「デジタルカメラの画像を投写する」(P106～P109) または 「USBメモリーのデータを投写する」(P110～P116) を参照してください。(SX80)



投写する

2 【INPUT】 ボタンを押すたびに、入力信号が切り換わります。

- ・ 【△】 【▽】 ボタンでも入力信号が切り換わります。
- ・ 白で表示された信号のみ切り換わります。

3 【OK】 ボタンを押して、入力信号を決定します。

ボタンを押さずに 4 秒経過すると、選択中の入力信号に決まります。

画面を調整する

コンピューターの表示解像度を設定する

本プロジェクターの性能（解像度 1400 × 1050 ドット）に合わせて、コンピューター側の表示解像度を 1400 × 1050 ドット（ピクセル）または最も近い解像度に設定してください。（P136）

■Windows Vista の場合

- 1 スタートメニューから [コントロールパネル] を選び、[コントロールパネルホーム] の [デスクトップのカスタマイズ] から [画面の解像度の調整] を表示します。
- 2 [解像度] から [1400 × 1050 ピクセル] または最も近い解像度を選びます。
- 3 [OK] ボタンをクリックします。



■Windows XP の場合

- 1 デスクトップ上を右クリックして表示されたメニューから [プロパティ] を選び、[画面のプロパティ] を表示します。
- 2 [設定] タブをクリックして [画面の解像度] から [1400 × 1050 ピクセル] または最も近い解像度を選びます。
- 3 [OK] ボタンをクリックします。



■Macintosh OSX の場合

- 1 アップルメニューを開き、[システム環境設定] を選びます。
- 2 システム環境設定ウィンドウの [ディスプレイ] アイコンをクリックし、ディスプレイの画面を表示します。
- 3 [ディスプレイ] タブを選び、[解像度] の一覧から 1400 × 1050、または最も近い解像度を選びます。
- 4 [システム環境設定] のウィンドウを閉じます。



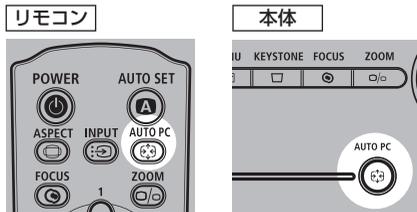
オート PC

入力信号が [アナログ PC-1] または [アナログ PC-2] のときに、映像の表示位置が上下左右にずれていたり、画面がちらつくようなときに、【AUTO PC】ボタンを押すと、プロジェクターが最適な状態に調整されます。

調整結果は、入力信号ごと（[アナログ PC-1] または [アナログ PC-2]）に記憶されますので、同じコンピューターに接続して使用する場合は、入力信号を選ぶだけで前回調整された状態で投写できます。

■オート PC を行う

【AUTO PC】ボタンを押すと、プロジェクターの調整が行われます。



【AUTO PC】での調整が不十分なときは、次の操作を行ってください。

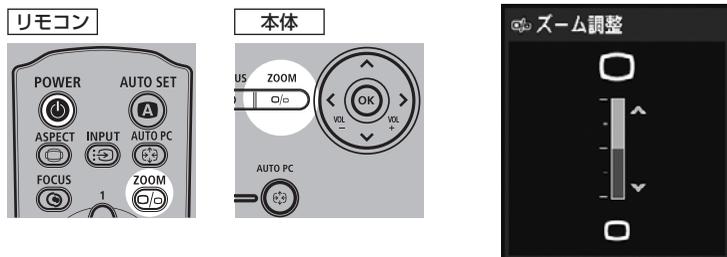
- ・ [入力信号選択] からコンピューターの解像度に合わせて入力信号を選んでください。(P76)
- ・ 上記の操作でも調整が不十分なときは、[入力信号設定] から、[総ドット数]、[トラッキング]、[水平/垂直位置]、[水平/垂直表示ドット数] を調整してください。(P77～P80)
- ・ 本プロジェクターが対応している信号形式については、136 ページの表を参照してください。

画面サイズを調整する

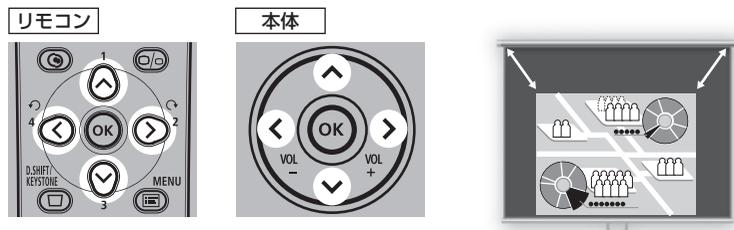
【ZOOM】 ボタンで投写画面のサイズが調整ができます。

調整しきれない場合は、プロジェクターの位置を変えてください。(P31)

1 【ZOOM】 ボタンを押すと、右下の画面が表示されます。



2 方向ボタンで画面サイズを調整します。



【↑】 【↓】 ボタン おおまかに調整します。

【<】 【>】 ボタン 微調整します。

3 画面サイズが決定したら【OK】 ボタン、または【ZOOM】 ボタンを押します。

ピントを合わせる

【FOCUS】 ボタンでピント合わせができます。

投写距離が約 1.2m ～ 9.1m の範囲を超えるとピントが合わない場合があります。その場合は、プロジェクトターの設置位置を変えてください。(P31)

■自動で合わせる **SX80**

【FOCUS】 ボタン、【AUTO SET】 ボタンの順に押します。

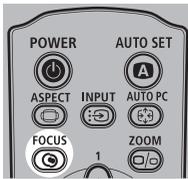


【スクリーンアスペクト】 を [16 : 9 D イメージシフト] にしたときは自動でのピント合わせはできません。

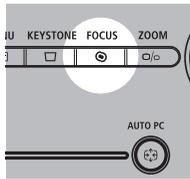
■手動で合わせる

1 【FOCUS】 ボタンを押すと、右下の画面が表示されます。

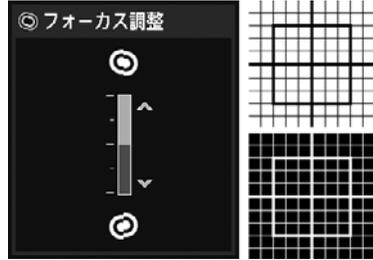
リモコン



本体



フォーカス調整

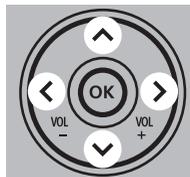


2 方向ボタンでピントを合わせます。

リモコン



本体



【↑】 【↓】 ボタン おおまかに調整します。

【<】 【>】 ボタン 微調整します。

3 ピントが合ったら 【OK】 ボタン、または 【FOCUS】 ボタンを押します。

台形ひずみを調整する

【D.SHIFT / KEYSTONE】 ボタンで台形ひずみの補正ができます。



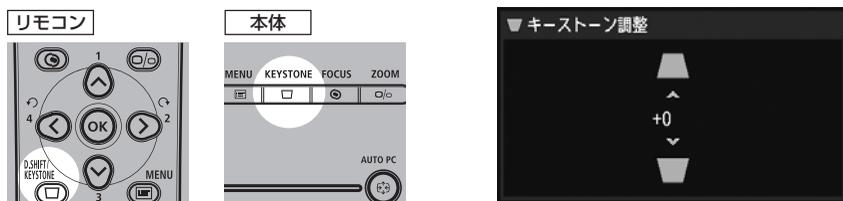
- ・ 補正量は最大で約± 20° です。補正しきれないときは、プロジェクターの設置位置を変えてください。(P31)
- ・ 信号の種類によっては補正量が少なくなることがあります。
- ・ 補正の状態は記憶されます。設置場所が同じであれば調整し直す必要はありません。
- ・ 補正時に信号がデジタル処理されるため、元の映像と見えかたが異なることがあります。また、画面の横縦比が変わることがあります。
- ・ 【スクリーンアスペクト】 を [16 : 9 D イメージシフト] にしたときは台形ひずみの補正はできません。スクリーンに対して真っ直ぐに投写してください。

■自動で調整する

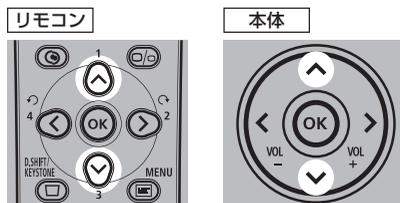
【D.SHIFT / KEYSTONE】 ボタン、【AUTO SET】 ボタンの順に押します。

■手動で調整する

1 【D.SHIFT / KEYSTONE】 ボタンを押すと右下の画面が表示されます。

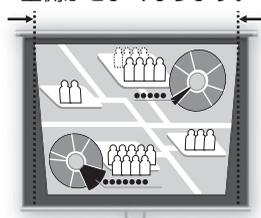


2 方向ボタンで調整します。



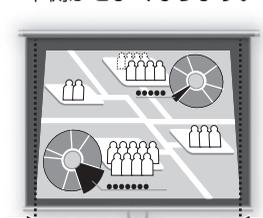
【▲】 ボタン

上側がせまくなります。



【▼】 ボタン

下側がせまくなります。



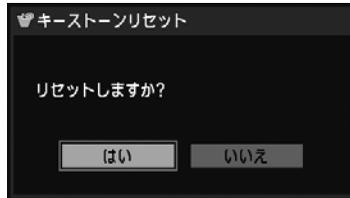
3 補正が終わったら、【OK】ボタンを押します。

■補正をリセットする

次の手順で、補正をリセットできます。

まず、【D.SHIFT / KEYSTONE】ボタンを2回押して[キーストーンリセット]画面を表示させます。

次に【<】ボタンで【はい】を選び、【OK】ボタンを押します。



スクリーンアスペクトとアスペクトを選ぶ

スクリーンのサイズを最大に活かした投写を行うため、スクリーンの横縦比、入力信号の種類などに合わせて、最適なスクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。

[スクリーンアスペクト] お使いのスクリーンの横縦比と同じものを選んでください。

[アスペクト] 入力信号が[ビデオ]以外の場合は、基本的に[オート]を選んでください。

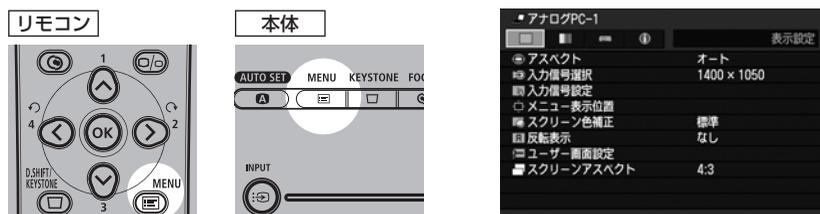
ただし、コンピューターの解像度によっては設定を変更したほうが良い場合があります。希望通りの横縦比で投写されないときは、133 ページ付録の「アスペクトとスクリーンアスペクトの関係」を参照してください。

スクリーンアスペクトを選ぶ

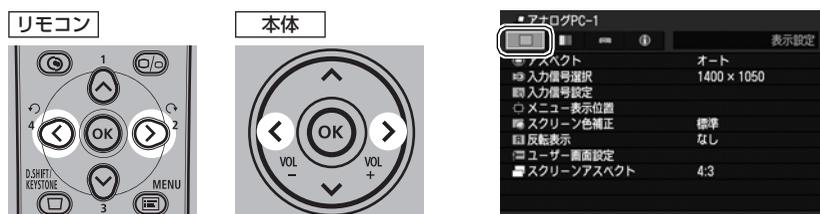
使用するスクリーンの横縦比に合わせて選びます。

スクリーンアスペクトは、次の手順で選びます。

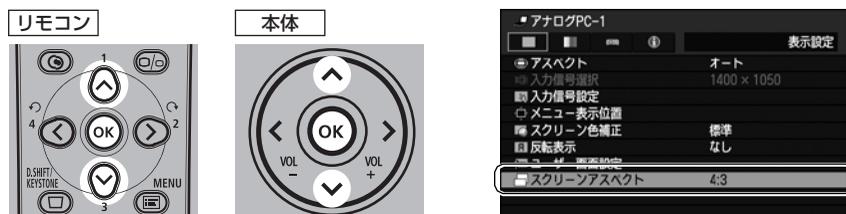
1 [MENU] ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。



2 [<] [>] ボタンで [表示設定] タブを選びます。

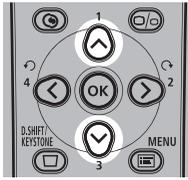


3 [A] [V] ボタンで [スクリーンアスペクト] を選び、[OK] ボタンを押します。

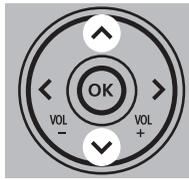


4 【A】 【V】 ボタンで内容を選びます。

リモコン

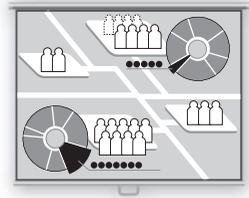


本体



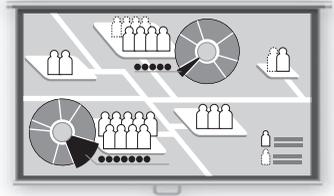
4 : 3

スクリーンの横縦比が 4 : 3 のときに選びます。



16 : 9

スクリーンの横縦比が 16 : 9 のときに選びます。



16 : 9 Dイメージシフト

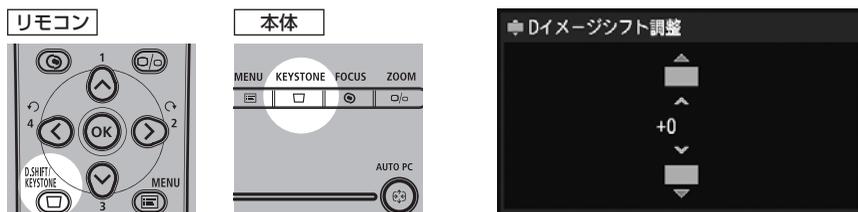
スクリーンの横縦比が 16 : 9 のときに選びます。横縦比が 16 : 9 の映像ソフトを投写するときにおすすめします。このモードは台形ひずみの補正ができませんが、水平に投写したまま、映像を上下方向に移動できます。映像の移動方法は次のページを参照してください。



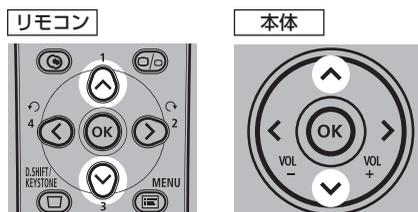
5 【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

■16:9 D イメージシフト時に映像を移動する

1 [D.SHIFT / KEYSTONE] ボタンを押すと右下の画面が表示されます。



2 [V] [△] ボタンで映像の上下位置を調整します。



【△】ボタン
上に移動します。

【V】ボタン
下に移動します。



3 移動が終わったら、[OK] ボタンを押します。

■移動をリセットする

次の手順で、移動をリセットできます。

まず、[D.SHIFT / KEYSTONE] ボタンを2回押して [Dイメージシフトリセット] 画面を表示させます。

次に【<】ボタンで [はい] を選び、【OK】 ボタンを押します。

アスペクトを選ぶ

入力信号の種類、横縦比、解像度に合わせて [アスペクト] を選びます。

アスペクトについて詳しくは、133ページの「コンピューターの映像を投写するとき」を参照してください。

■アスペクトの種類

オート

入力信号の横縦比のまま投写します。一般的な投写のときはこのモードを選んでください。



- ・ 入力信号が [ビデオ] のときは選べません。
- ・ 入力信号が [USB] のときは、自動的に [オート] になります。(SX80)

4 : 3

入力信号の横縦比を4 : 3にして投写します。横縦比 4 : 3 の映像ソフトが [オート] で正しく投写できないときに選んでください。

16 : 9

入力信号の横縦比を 16 : 9 にして投写します。横縦比 16 : 9 の映像ソフトが [オート] で正しく投写できないときに選んでください。

ズーム

横縦比 4 : 3 の画面の上下をカットし、中央部分を横縦比 16 : 9 にして投写します。横縦比 4 : 3 の映像ソフトで上下に黒帯があるときに選んでください。

- ・ スクリーンアスペクトが [16 : 9] または [16 : 9 Dイメージシフト]、入力信号が [HDMI (576p、480 p) (SX80)]、[コンポーネント (576 p、480p、576i、480i)]、[ビデオ]、[S- ビデオ (SX80)] のときに選べます。

リアル

入力信号の解像度のまま投写します。SXGA+ 以下の解像度 (VGA, SVGA, XGA, SXGA) のコンピューター画面、1035i よりも低い解像度の映像ソフトをより鮮明に投写するときに選んでください。

- ・ 入力信号が [HDMI (720p、576p、480p) (SX80)]、[コンポーネント (720p、576p、480p)] のときに選べます。



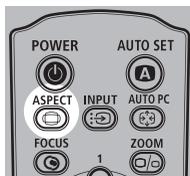
- ・ SXGA+ よりも高い解像度のコンピューター画面、解像度が 1080i、1080p、1035i、576i、480i の映像ソフトのときは選べません。
- ・ 入力信号が [アナログ PC-1]、[アナログ PC-2]、[デジタル PC (SX80)] のときも選べますが、スクリーンアスペクトによっては選べないことがあります。

■アスペクトの選びかた

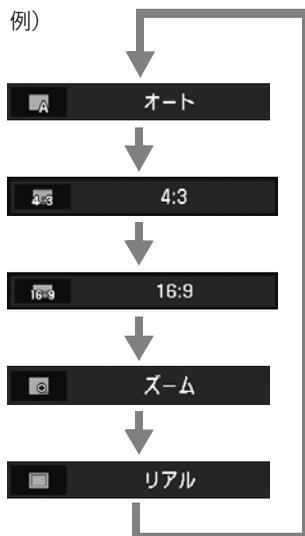
リモコンの【ASPECT】ボタンを押して選びます。【ASPECT】ボタンを押すたびに、アスペクトの種類が切り換わります。

アスペクトについて詳しくは、133ページの「コンピューターの映像を投写するとき」を参照してください。

リモコン



例)



メニューの [アスペクト] から選べます。(P75)



入力信号によっては、表示されないアスペクトの種類があります。

画質(イメージモード)を選ぶ

投写する映像の内容に合わせてイメージモード(画質)を選べます。

各イメージモードは、明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ、色調整、高度な調整と、ランプモードの設定ができます。(P87)

■イメージモードの種類

スタンダード

白の色味を重視した、オリジナルに近い画質で投写します。文字を中心としたコンピューター画面や明るい部屋での映像ソフト(動画)の鑑賞などに適しています。

プレゼンテーション

プレゼンテーションに適した画質で投写します。明るさを重視した映像ソフト(動画)の鑑賞などにも適しています。

ムービー

一般的な映像ソフト(動画)に適した画質で投写します。薄暗い部屋でも手軽にシアターの雰囲気を楽しめます。

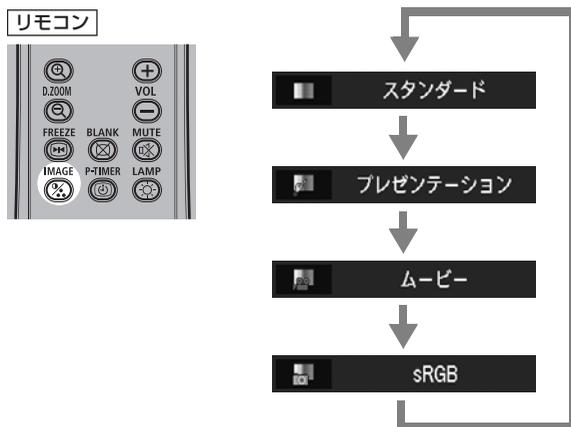
sRGB

sRGB規格(P138)に対応した表示モードで投写します。sRGB対応デジタルカメラの画像などを投写するときにも適しています。

■イメージモードの選びかた

リモコンの【IMAGE】ボタンを押して選びます。

【IMAGE】ボタンを押すたびに、イメージモードの種類が切り換わります。

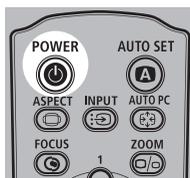


メニューの [イメージモード設定] から選べます。(P87)

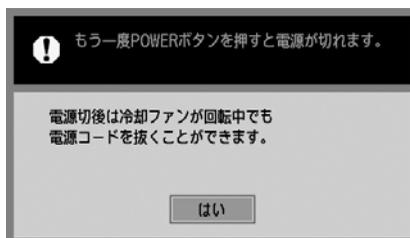
プロジェクターの電源を切る

1 【POWER】 ボタンを押すと、右下の画面が表示されます。

リモコン



本体



画面の表示中に、もう一度【POWER】 ボタンを押すと電源が切れます。
ランプが消え、[POWER] ランプが赤く点滅してランプの冷却が始まります。

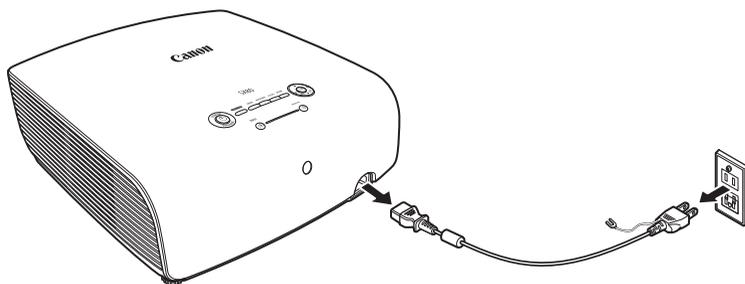


- ・ 冷却中は、電源を入れることができません。
- ・ 電源を切らずになお投写を続ける場合は、【POWER】以外のボタンを押すか、メッセージが消えるまで待ってください。
- ・ 電源を切った後に再度電源を入れる場合は、5分以上経ってから電源を入れるようにしてください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因になります。
- ・ 連続使用は、ランプおよび内部光学部品の寿命を縮める原因になります。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。

電源プラグを抜いてもランプの冷却は行われますので、使用後すぐにプロジェクターの片付けや移動ができます。

電源プラグが接続されたままの場合、ランプの冷却中はLED イルミネーションが点灯します。



- ・ 冷却ファンが止まるまでキャリーバックに収納しないでください。冷却ファンが回っている状態で収納すると、熱のため故障することがあります。
- ・ キャリーバックに収納するときは、レンズを保護するためレンズキャップをはめてください。またプロジェクターの破損を防ぐため調整脚を戻してください。

プレゼンテーション で使える便利な機能

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

SX80 デジタルカメラや USB
メモリーの画像を投写する

SX80 プロジェクターをネット
ワークに接続する

付録

索引

プレゼンテーションで使える便利な機能

映像を一時的に消す

BLANK



こんなときに便利

- ・ プレゼンテーションを終えたとき
- ・ 出席者の注意をスクリーンからそらすとき

リモコン



BLANK

 ボタンを押すと映像が消えます。

もう一度  ボタンを押すと元の映像が表示されます。

- ・ 映像を消している間の画面の状態を、メニューで設定できます。独自の画像を表示することもできます。(P85)
- ・ 映像が消えている間もランプは点灯しています。
- ・ 映像が消えている間、本体操作部のLED イルミネーションランプ(中央)がゆっくり点滅します。

映像を静止させる

FREEZE



こんなときに便利

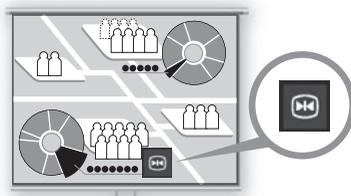
- ・ コンピューターを隠れて操作するとき
- ・ 変化する映像を途中で止めて見せたいとき

リモコン



FREEZE

 ボタンを押すと映像が静止し、画面に次のアイコンが表示されます。



もう一度  ボタンを押すと元の映像に戻ります。

- ・ 映像が静止している間、本体操作部のLED イルミネーションランプ(左右)がゆっくり点滅します。
- ・ 入力信号がなくなると解除されます。
- ・ 映像が静止している間は映像の拡大(P68)はできません。

音量を調節する



こんなときに便利

- ・ プロジェクターまたは外部スピーカーの音量を調整したいとき

リモコン



 ボタンを押すと、下の画面が表示されます。



- ・ 本体の【<】【>】ボタンでも音量が調整できます。
- ・ 音が出ないときは、コンピューター側の音量調整やミュートなどの設定を確認してください。
- ・ 音声出力端子で接続したスピーカーなどの音量も調整できます。

音声を一時的に消す



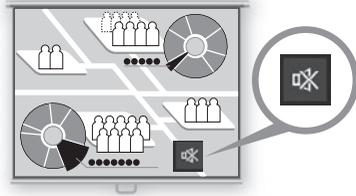
こんなときに便利

- ・ 一時的に不要な音声を消したいとき
- ・ 急いで音声を消したいとき

リモコン



 ボタンを押すと音声が消え、下のアイコンが表示されます。



もう一度  ボタンを押すと元の音量に戻ります。

- ・ 音声出力端子で接続したスピーカーなどの音声も消えます。

映像を拡大する

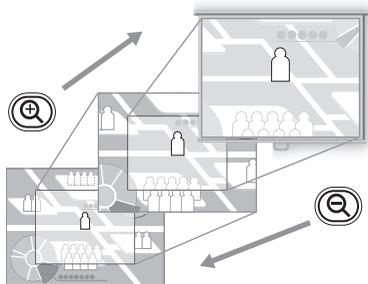


こんなときに便利

- ・細かいグラフなどを大きく見せたいとき（最大12倍）
- ・説明箇所を強調したいとき

 ボタンを押すたびに映像の一部が拡大されます。

リモコン



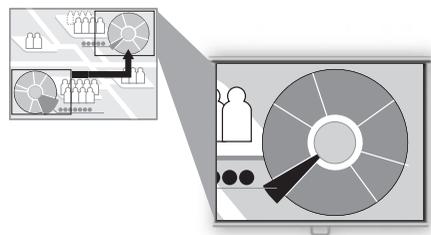
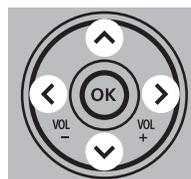
- ・画面に拡大率が表示されます。

拡大する場所は【**▲**】【**▼**】【**◀**】【**▶**】ボタンで移動できます。

リモコン



本体



 ボタンを押すと元の大きさに戻ります。

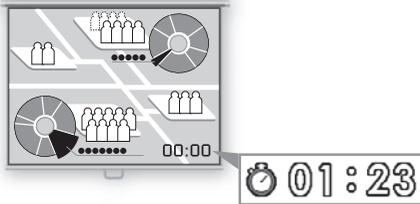
経過時間を表示する

P-TIMER



こんなときに便利

- ・ プレゼンテーションの進み具合を把握するとき



 ボタンを押すとカウントが開始されます。

- ・ 画面の右下に経過時間が表示されます。
- ・ 59分59秒までカウントされます。その後カウントの表示は 00:00 に戻ります。

リモコン



もう一度  ボタンを押すと、カウントが停止します。

- ・ カウント停止中に  ボタンを押すと、経過時間の表示が消えます。その後で  ボタンを押すと、00:00 からカウントが開始されます。

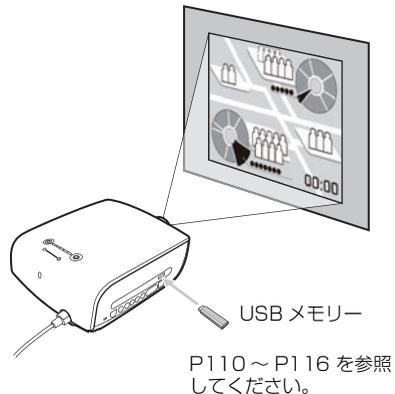
コンピューターを使わずに投写する

SX80

こんなときに便利

- ・ デジタルカメラを接続して画像を投写する
- ・ USBメモリーの画像を投写する

プロジェクターと PictBridge 対応のデジタルカメラや USB メモリーを接続して、直接画像を投写することができます。



プレゼンテーションで使える便利な機能

メニューによる機能 設定

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

SX80 デジタルカメラや USB
メモリーの画像を投写する

SX80 プロジェクターをネット
ワークに接続する

付録

索引

メニューの使いかた

メニュー（MENU）でプロジェクターの動作をきめ細かく設定できます。

■メニューの構成

メニュー画面は、次の4つのタブに分かれています。

[表示設定] タブ (P75)

入力映像の信号形式や投写方法を設定します。

[システム設定] タブ (P95)

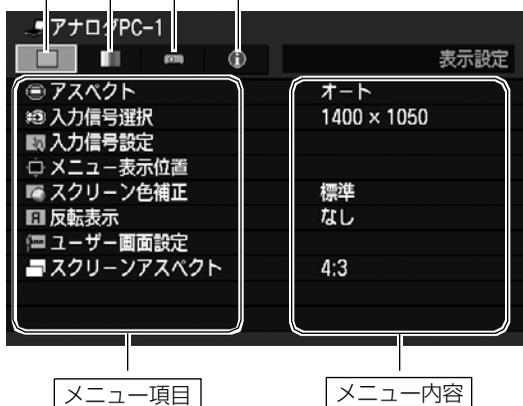
プロジェクターの動作に関する設定です。

[イメージ調整] タブ (P87)

画質や色をお好みに合わせて調整します。

[インフォメーション] タブ (P104)

投写中の映像の信号形式や、プロジェクター固有の情報を確認できます。



項目が表示される入力信号の種類

入力信号の種類によって、表示される項目が異なります。

各項目の説明では、その項目が表示される入力信号の種類を次のように表記しています。ここでは SX80 の表記を記載しています。

- 項目が表示される入力信号
- 項目が表示されない入力信号

○ HDMI	— コンポーネント
— デジタル PC	— ビデオ / S-ビデオ
— アナログ PC	— USB

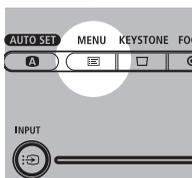
■メニューの基本操作

1 【MENU】 ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

リモコン



本体



2 【<】 【>】 ボタンでタブを選びます。

リモコン



本体



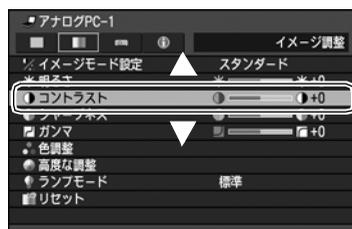
- ・ オレンジの表示がタブ位置にない場合は、【▲】 【▼】 ボタンで一番上に移動させます。

3 【▲】 【▼】 ボタンで項目を選びます。

リモコン



本体



4 内容を選びます。

項目により内容の選び方が異なります。

リストから選ぶ 例：アスペクト



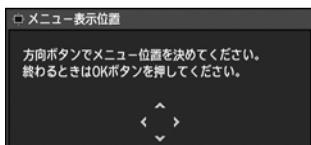
1. 【OK】 ボタンまたは【>】 ボタンを押すと内容のリストが表示されます。
2. 【△】 【▽】 ボタンで内容を選びます。
3. 決まったら【OK】 または【>】 ボタンを押します。

【<】 【>】 ボタンで調整する 例：コントラスト



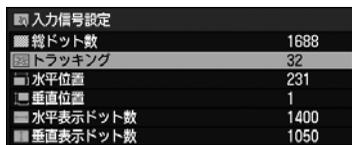
【<】 【>】 ボタンで調整量を変えます。

別画面を表示させて選ぶ (1) 例：メニュー表示位置



1. 【OK】 ボタンを押すと別画面が表示されます。
2. 画面のメッセージに従って操作します。

別画面を表示させて選ぶ (2) 例：トラッキング



1. 【OK】 ボタンを押すと別画面が表示されます。
2. 【△】 【▽】 ボタンで内容を選び、【<】 【>】 ボタンで数値を選びます。
3. 決まったら【OK】 ボタンを押します。

5 【MENU】 ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

表示状態を設定する

映像の投写モードを選ぶ

[アスペクト]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

映像の横縦比（アスペクト）に合わせて投写方法を選びます。



- ・スクリーンアスペクトや入力信号の種類により、表示される内容が異なります。
- ・リモコンの【ASPECT】ボタンでも切り替えができます。

オート	入力信号の横縦比のまま投写します。一般的な投写のときはこのモードを選んでください。
4:3	入力信号の横縦比を 4:3 にして投写します。横縦比 4:3 の映像ソフトが [オート] で正しく投写できないときに選んでください。
16:9	入力信号の横縦比を 16:9 にして投写します。横縦比 16:9 の映像ソフトが [オート] で正しく投写できないときに選んでください。
ズーム	横縦比 4:3 の画面の上下をカットし、中央部分を横縦比 16:9 にして投写します。横縦比 4:3 の映像ソフトで上下に黒帯があるときに選んでください。 <ul style="list-style-type: none">・スクリーンアスペクトが [16:9] または [16:9Dイメージソフト]、入力信号が [HDMI(576p, 480p)(SX80)]、[コンポーネント(576p, 480p, 576i, 480i)]、[ビデオ]、[S-ビデオ(SX80)] のときに選べます。
リアル	入力信号の解像度そのまま投写します。SXGA+ 以下の解像度(VGA, SVGA, XGA, SXGA) のコンピューター画面、1035i よりも低い解像度の映像ソフトをより鮮明に投写するときに選んでください。 <ul style="list-style-type: none">・入力信号が [HDMI(720p, 576p, 480p)(SX80)]、[コンポーネント(720p, 576p, 480p)] のときに選べます。・SXGA+ よりも高い解像度のコンピューター画面、解像度が 1080i、1080p、1035i、576i、480i の映像ソフトのときは選べません。・入力信号が [アナログ PC-1]、[アナログ PC-2]、[デジタル PC(SX80)] のときも選べますが、スクリーンアスペクトによっては選べないことがあります。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。



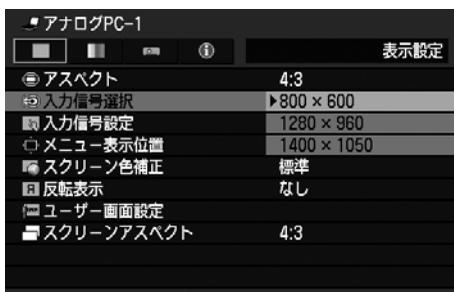
- ・入力信号が [ビデオ] のときは、[オート] および [リアル] は選べません。
- ・入力信号が [USB] のときは、自動的に [オート] になります。(SX80)

入力信号を選ぶ(アナログ PC)

[入力信号選択]

- | | |
|-----------|-------------|
| — HDMI | — コンポーネント |
| — デジタル PC | — ビデオ/S-ビデオ |
| ○ アナログ PC | — USB |

コンピューターの映像がオート PC 機能 (P53) で正しく投写されないときに、解像度を選びます。



【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

コンピューターの解像度に合わせて入力信号を選んでください。

- ・ 本プロジェクターが対応している信号形式については、136 ページの表を参照してください。

入力信号を選ぶ(ビデオ/S-ビデオ*)

[入力信号選択]

- | | |
|-----------|-------------|
| — HDMI | — コンポーネント |
| — デジタル PC | ○ ビデオ/S-ビデオ |
| — アナログ PC | — USB |

*は SX80 のみ

AV 機器の映像が正しく投写されないときに信号形式を選びます。



【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

- ・ 工場出荷時は [オート] です。
- ・ 接続する AV 機器の使用説明書で、入力信号の形式を確認してください。
- ・ 日本の信号方式は NTSC です。

入力信号を選ぶ(コンポーネント)

[入力信号選択]

- | | |
|-----------|---------------|
| — HDMI | ○ コンポーネント |
| — デジタル PC | — ビデオ / S-ビデオ |
| — アナログ PC | — USB |

AV 機器の映像が正しく投写されないときにコンポーネント信号の形式を選びます。



【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

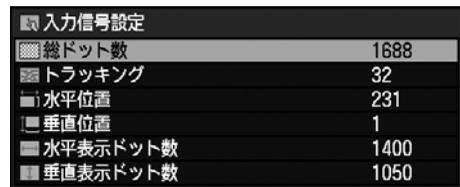
- 工場出荷時は [オート] です。
- 接続する AV 機器の使用説明書で、コンポーネント信号の形式を確認してください。

入力信号の調整(アナログ PC) 総ドット数

[入力信号設定] — [総ドット数]

- | | |
|-----------|---------------|
| — HDMI | — コンポーネント |
| — デジタル PC | — ビデオ / S-ビデオ |
| ○ アナログ PC | — USB |

水平期間の総ドット数を調整します。画面に縞模様が現れるときなどに調整します。



【<】 【>】 ボタンで数値を選びます。調整が終わったら【MENU】 ボタンを押します。

- ・ [AUTO PC] (P53) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。
- ・ [アナログ PC-1] と [アナログ PC-2] のそれぞれで調整できます。

入力信号の調整(アナログ PC) トラッキング

[入力信号設定] - [トラッキング]

- HDMI
- デジタル PC
- アナログ PC
- コンポーネント
- ビデオ/S-ビデオ
- USB

映像信号から画面を構成するタイミングを微調整します。

画面がくずれたり、ちらつくときに調整します。



入力信号設定	
縦ドット数	1688
トラッキング	32
水平位置	231
垂直位置	1
水平表示ドット数	1400
垂直表示ドット数	1050

【<】 【>】 ボタンで数値を選びます。

調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

- ・ [AUTO PC] (P53) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。
- ・ [アナログ PC-1] と [アナログ PC-2] のそれぞれで調整できます。

入力信号の調整(アナログ PC) 水平位置

[入力信号設定] - [水平位置]

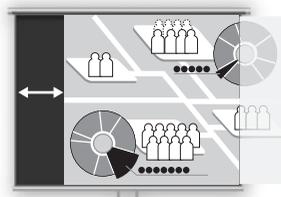
- HDMI
- デジタル PC
- アナログ PC
- コンポーネント
- ビデオ/S-ビデオ
- USB

画面が左右にずれて表示されるときに、水平位置を調整します。



入力信号設定	
縦ドット数	1688
トラッキング	32
水平位置	231
垂直位置	1
水平表示ドット数	1400
垂直表示ドット数	1050

【<】 【>】 ボタンで数値を選びます。数値が増えるほど画面が左に移動します。



調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

- ・ [AUTO PC] (P53) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。
- ・ [アナログ PC-1] と [アナログ PC-2] のそれぞれで調整できます。

入力信号の調整(アナログ PC) 垂直位置

[入力信号設定] - [垂直位置]

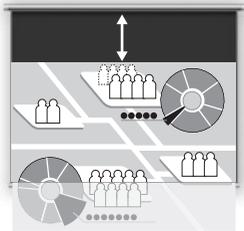
- HDMI
- デジタル PC
- アナログ PC
- コンポーネント
- ビデオ / S-ビデオ
- USB

画面が上下にずれて表示されるときに、垂直位置を調整します。



入力信号設定	
縦ドット数	1688
トラッキング	32
水平位置	231
垂直位置	1
水平表示ドット数	1400
垂直表示ドット数	1050

【<】 【>】 ボタンで数値を選びます。数値が増えるほど画面が上に移動します。



調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

- ・ [AUTO PC] (P53) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。
- ・ [アナログ PC-1] と [アナログ PC-2] のそれぞれで調整できます。

入力信号の調整(アナログ PC) 水平表示ドット数

[入力信号設定] - [水平表示ドット数]

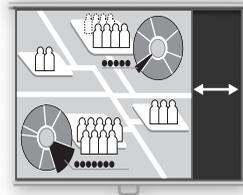
- HDMI
- デジタル PC
- アナログ PC
- コンポーネント
- ビデオ / S-ビデオ
- USB

画面が左右に広いまたは狭いときに、水平方向のドット数を調整します。



入力信号設定	
縦ドット数	1688
トラッキング	32
水平位置	231
垂直位置	1
水平表示ドット数	1400
垂直表示ドット数	1050

【<】 【>】 ボタンで数値を選びます。



調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

- ・ [AUTO PC] (P53) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。
- ・ [アナログ PC-1] と [アナログ PC-2] のそれぞれで調整できます。

入力信号の調整(アナログ PC) 垂直表示ドット数

[入力信号設定] - [垂直表示ドット数]

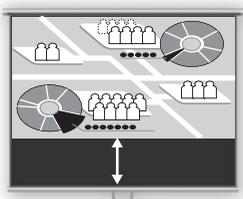
- | | |
|-------------------------------|-------------|
| — HDMI | — コンポーネント |
| — デジタル PC | — ビデオ/S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | — USB |

画面が上下に広いまは狭いときに、垂直方向のドット数を調整します。



入力信号設定	
縦ドット数	1688
トラッキング	32
水平位置	231
垂直位置	1
水平表示ドット数	1400
垂直表示ドット数	1050

【<】【>】ボタンで数値を選びます。



調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

- ・ [AUTO PC](P53) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。
- ・ [アナログ PC-1] と [アナログ PC-2] のそれぞれで調整できます。

HDMI 入力レベル **SX80**

[HDMI 入力レベル]

- | | |
|----------------------------|-------------|
| <input type="radio"/> HDMI | — コンポーネント |
| — デジタル PC | — ビデオ/S-ビデオ |
| — アナログ PC | — USB |

映像ソフトを HDMI 信号で投写するときに、必要に応じて選びます。



HDMI 入力レベル	
アスペクト	オート
HDMI 入力レベル	▶ オート
HDMI オーバースキャン	標準
プログレッシブ	拡張
メニュー表示位置	
スクリーン色補正	標準
反転表示	なし
ユーザー画面設定	
スクリーンアスペクト	4:3

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- ・ 工場出荷時は [オート] です。
- ・ AV 機器からの信号形式が RGB のときのみ選べます。
- ・ [オート] では信号レベルを自動的に選びます。(AV 機器によっては対応していないことがあります)
- ・ AV 機器の HDMI 出力が「標準」「拡張」に切り換えられるときは、「拡張」に設定することをおすすめします。映像のコントラストが向上し、暗部がより忠実に表現されます。なおこの場合の HDMI 入力レベルは [オート] または [拡張] を選んでください。
詳しくは、接続する AV 機器の使用説明書を参照してください。

HDMIオーバースキャン **SX80**

[HDMI オーバースキャン]

- | | |
|----------------------------|---------------|
| <input type="radio"/> HDMI | — コンポーネント |
| — デジタル PC | — ビデオ / S-ビデオ |
| — アナログ PC | — USB |

映像ソフトを HDMI 信号で投写するときに、必要に応じて選びます。



切 入力信号全体（100%）を投写します。映像がスクリーンより小さめに投写されるときがあります。

入 映像周辺部の乱れを除去して投写します。（映像の中央 95% 部分を投写）入力信号の解像度によっては映像周辺が一部切り取られることがあります。この場合は [切] にしてください。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

・工場出荷時は [入] です。

プログレッシブ処理

[プログレッシブ]

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| — デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| — アナログ PC | — USB |

映像の解像度が低いときに、必要に応じて選びます。



切 プログレッシブ処理を行いません。

入 プログレッシブ処理を行います。HDMI 信号が 1080i のとき、またはビデオ / S-ビデオ信号、コンポーネント信号が 1080i、1035i、576i、480i のときに使用できます。

オート 入力信号に応じて最適なプログレッシブ処理を行います。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

- ・工場出荷時は [オート] です。
- ・[HDMI (SX80)] [コンポーネント] [ビデオ] [S-ビデオ (SX80)] のそれぞれで設定できます。
- ・動きの多い映像で、ちらつきや横線が目立つときは [切] にしてください。
- ・プログレッシブ処理については、140 ページを参照してください。

メニューの表示位置

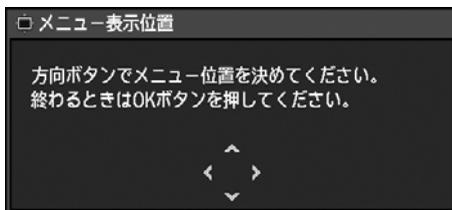
[メニュー表示位置]

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ/S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

メニュー表示位置を変えることができます。



[△] [◀] [V] [▶] ボタンでメニューの位置を移動します。



位置が決まったら [OK] ボタンまたは [MENU] ボタンを押します。

スクリーンの色補正

[スクリーン色補正]

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ/S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

投写するスクリーンの色に応じて、投写する映像の色味を調整できます。



標準 標準的なスクリーンのときに選びます。自然光に近い色調で投写します。

黒板 黒板（濃緑色）をスクリーンにするとときに選びます。黒板上でも [標準] に近い色味になります。

調整 細かく調整するときを選びます。下の別画面が表示されます。



[△] [V] ボタンで色を選びます。

[>] 選んだ色を濃くします。

[<] 選んだ色を薄くします。

なおこの画面が表示されている状態で [AUTO SET] ボタンを押すと、自動スクリーン色補正が行われます。(SX80)

[OK] ボタンを押して確定し、[MENU] ボタンを押します。

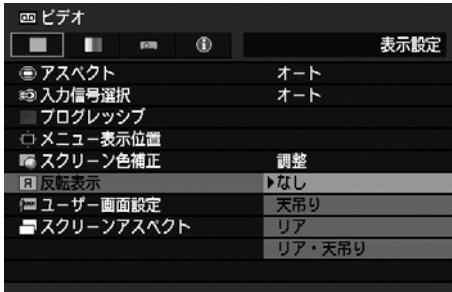
・工場出荷時は [標準] です。

映像の反転

[反転表示]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

天井から吊り下げて投写するときや、スクリーンの反対側から投写するときに選びます。

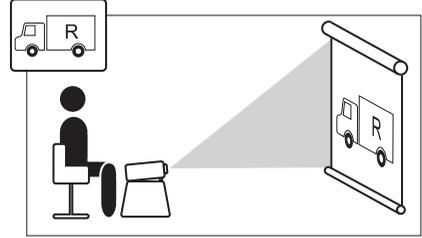


なし	通常の投写です。
天吊り	天井から逆さに吊り下げるときに選びます。 上下左右が反転します。
リア	スクリーンの裏から投写するときに選びます。 左右が反転します。
リア・天吊り	天井から逆さに吊り下げてリア投写するときに選びます。 上下が反転します。

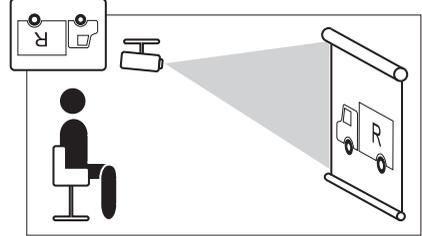
【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

・ 工場出荷時は [なし] です。

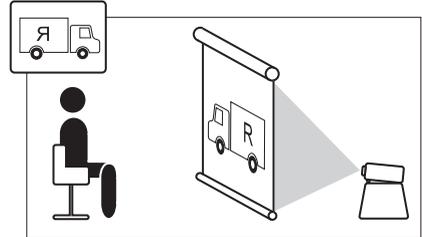
通常の投写（なし）



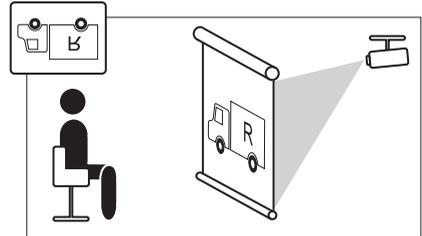
天吊り投写



リア投写



リア天吊り投写



- ・ 天井から吊り下げるときは、オプションの天吊り金具を使用します。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- ・ 台形ひずみの補正はリセットされます。

ユーザー画像の登録

[ユーザー画像設定] - [ユーザー画像登録]

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ/S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

投写中の映像の一部を【ユーザー画像】として登録します。



画像を登録するための画面が表示されます。



はい 【OK】ボタンを押すと、赤い枠の範囲が【ユーザー画像】として登録されます。

いいえ 画像の登録を取りやめます。

- 登録した画像を表示するには、「起動時画面」、「無信号時画面」、「BLANK時画面」で【ユーザー画像】を選びます。
- 解像度や走査方式によっては、画像の登録ができない場合があります。
- スクリーンアスペクトが [16:9] [16:9Dイメージシフト] のときは画像の登録はできません。

ユーザー画像の表示位置

[ユーザー画像設定] - [ユーザー画像位置]

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ/S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

ユーザー画像の表示位置を選びます。



左上 ユーザー画像の表示位置を選び、【OK】
右上 ボタンを押します。
中央
左下
右下

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は【中央】です。
- ユーザー画像が登録されていないと、【ユーザー画像位置】は選べません。

無信号時の画面

[ユーザー画像設定] - [無信号時画面]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

入力信号がないときに、登録した [ユーザー画像] を表示します。



ユーザー画像設定	
ユーザー画像登録	
ユーザー画像位置	中央
無信号時画面	黒
BLANK時画面	青
起動時画面	ユーザー画像
戻る	

黒	黒画面になります。 ユーザー画像は表示しません。
青	ブルーバック画面になります。 ユーザー画像は表示しません。
ユーザー画像	ユーザー画像を表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は [青] です。
- ユーザー画像が登録されていないと、[ユーザー画像] は選べません。

BLANK 時の画面

[ユーザー画像設定] - [BLANK 時画面]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

リモコンの【BLANK】ボタンを押して画像を一時的に消したときに、登録した [ユーザー画像] を表示します。



ユーザー画像設定	
ユーザー画像登録	
ユーザー画像位置	中央
無信号時画面	黒
BLANK時画面	黒
起動時画面	青
戻る	ユーザー画像

黒	黒画面になります。 ユーザー画像は表示しません。
青	ブルーバック画面になります。 ユーザー画像は表示しません。
ユーザー画像	ユーザー画像を表示します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は [黒] です。
- ユーザー画像が登録されていないと、[ユーザー画像] は選べません。

電源を入れたときの画面

[ユーザー画像設定] - [起動時画面]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

電源を入れてから投写準備ができるまでの間の画面を選びます。



表示しない	電源を入れるとすぐに入力信号が投写されます。
Canon ロゴ	あらかじめ登録されているキヤノンのロゴを表示します。
ユーザー画像	登録した [ユーザー画像] を表示します。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

- 工場出荷時は [Canon ロゴ] です。
- ユーザー画像が登録されていないと、[ユーザー画像] は選べません。

スクリーンの横縦比

[スクリーンアスペクト]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

投写するスクリーンの横縦比に応じて選びます。



- | | |
|------------------------|--|
| 4 : 3 | スクリーンの横縦比が 4 : 3 のときに選びます。
【D.SHIFT / KEYSTONE】ボタンで台形ひずみが補正できます。 |
| 16 : 9 | スクリーンの横縦比が 16 : 9 のときに選びます。
【D.SHIFT / KEYSTONE】ボタンで台形ひずみが補正できます。 |
| 16 : 9
Dイメージ
シフト | スクリーンの横縦比が 16 : 9 のときに選びます。
【D.SHIFT / KEYSTONE】ボタンで画面を上下に移動できます。 |

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

- 工場出荷時は [4 : 3] です。
- [16 : 9 D イメージシフト] を選ぶと台形ひずみの補正は解除されます。詳しくは 59 ページを参照してください。
- スクリーンアスペクトの種類によっては、アスペクトが自動的に [オート] に切り換わることがあります。

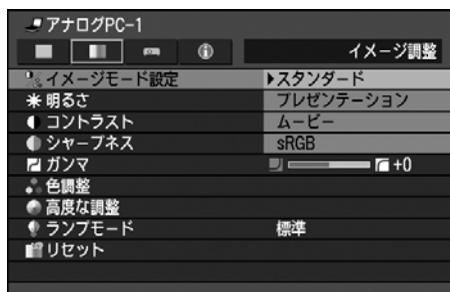
画質を調整する

画質を選ぶ

[イメージモード設定]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

投写する映像に適した画質を選びます。
リモコンの【IMAGE】ボタンでも選べます。



【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- 工場出荷時は [スタンダード] です。
- 各イメージモードの画質は、次の各項目が調整できます。
[明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[ガンマ]、[色調整]、[高度な調整] の各項目、[ランプモード]
- 調整内容は、入力信号とイメージモードの組み合わせごとに記憶されます。

スタンダード 白の色味を重視した、オリジナルに近い画質で投写します。文字を中心としたコンピュータ画面や明るい部屋での映像ソフト（動画）の鑑賞などに適しています。

プレゼンテーション プレゼンテーションに適した画質で投写します。明るさを重視した映像ソフト（動画）の鑑賞などにも適しています。

ムービー 一般的な映像ソフト（動画）に適した画質で投写します。薄暗い部屋でも手軽にシアターの雰囲気を楽しめます。

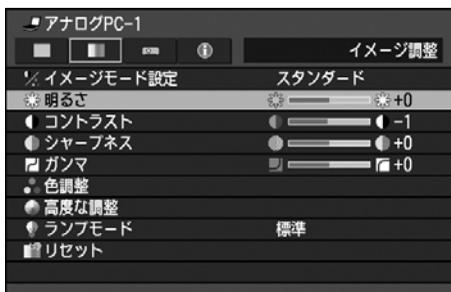
sRGB sRGB 規格 (P138) に対応した表示モードで投写します。sRGB 対応デジタルカメラの画像などを投写するときにも適しています。

明るさの調整

[明るさ]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

映像の明るさが調整できます。



[>] 映像が明るくなります。

[<] 映像が暗くなります。

調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

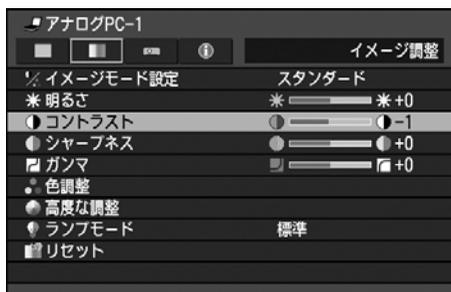
- ・ 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

コントラストの調整

[コントラスト]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

映像のコントラストが調整できます。明るい部分と暗い部分の差を調整し、メリハリのある映像や、目にやさしい映像に調整できます。



[>] コントラストを上げます。映像が暗い部分と明るい部分の差がはっきりします。

[<] コントラストを下げます。映像が淡くなります。

調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

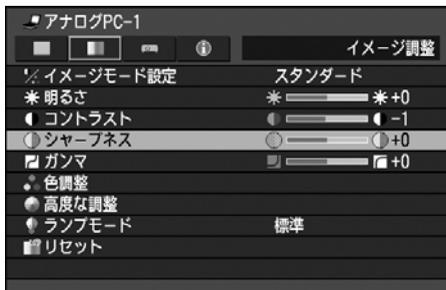
- ・ 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

シャープネスの調整

[シャープネス]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

映像の鮮明度を調整できます。



[>] 映像が鮮明になります。

[<] 映像がぼやけます。

調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

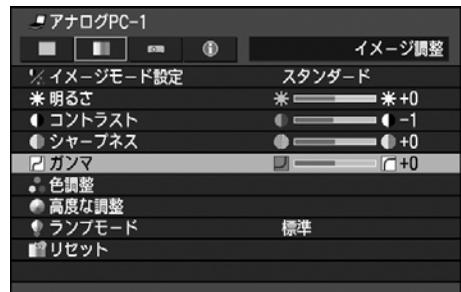
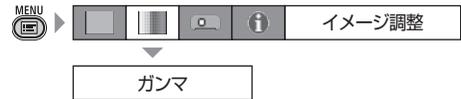
- ・ 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

ガンマ補正

[ガンマ]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

映像が暗くて見えにくい、または明るくて見えにくい部分が補正できます。



[>] 暗くて見えにくい部分が見えるように補正されます。

[<] 明るくて見えにくい部分が見えるように補正されます。

調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

- ・ 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。
- ・ ガンマ補正については、140 ページを参照してください。

色の調整 (HDMI* / デジタル PC* / アナログ PC / USB*)

[色調整]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

*はSX80のみ

映像の色味などを赤、緑、青の各色ごとに調整できます。



赤/緑/青ゲイン 赤、緑、青の色味の強さを調整します。

- [>] 色味が強くなります。
- [<] 色味が弱くなります。

赤/緑/青オフセット 赤、緑、青の色の暗い部分の色再現を調整します。

- [>] 再現性が高くなります。
- [<] 再現性が弱くなります。

調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

- ・ 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。
- ・ 色調整を行うと、メニューの [色調整] に マークが表示されます。



色の調整 (コンポーネント/ビデオ/S-ビデオ*)

[色調整]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

*はSX80のみ

映像の色の濃さ、色合いなどを赤、緑、青の各色ごとに調整できます。



色の濃さ 色の濃さを調整します。
[>] 色が濃くなります。
[<] 色が淡くなります。

色合い 紫がかかった映像、緑がかかった映像の色合いを調整します。
[>] 紫がかかった映像が補正されます。
[<] 緑がかかった映像が補正されます。

赤/緑/青ゲイン 「色を調整する(HDMI / デジタル PC / アナログ PC / USB)」と同じです。

赤/緑/青オフセット 「色を調整する(HDMI / デジタル PC / アナログ PC / USB)」と同じです。

調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

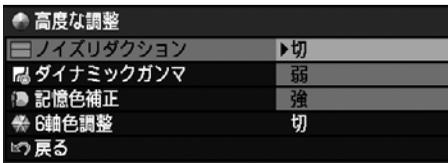
- ・ NTSC 以外の「ビデオ」「S-ビデオ (SX80)」は、「色合い」は調整できません。
- ・ 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

高度な調整(ノイズリダクション)

[高度な調整] - [ノイズリダクション]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

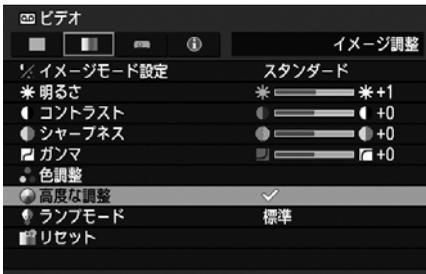
映像のノイズを低減できます。



- | | |
|---|------------------|
| 切 | ノイズリダクションを行いません。 |
| 弱 | ノイズがある時に選びます。 |
| 強 | ノイズが多い時に選びます。 |

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

- 工場出荷時は [切] です。
- ノイズリダクションを行うと、動きの早い映像では残像が生じることがあります。
- 動きの早い映像のときは [弱] を、動きの遅い映像のときは [強] を選んでください。
- 投写中の入力信号とイメージモードの設定として記憶されます。
- 高度な調整を行うと、メニューの [高度な調整] に マークが表示されます。

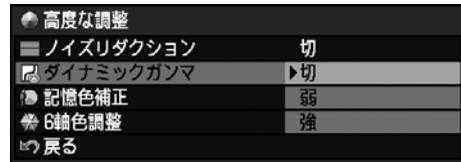


高度な調整(ダイナミックガンマ)

[高度な調整] - [ダイナミックガンマ]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

明るいところと暗いところの階調表現が自動的に改善されます。



- | | |
|---|--------------------|
| 切 | ダイナミックガンマを使用しません。 |
| 弱 | ダイナミックガンマを弱く使用します。 |
| 強 | ダイナミックガンマを強く使用します。 |

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

- 工場出荷時は [切] です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

高度な調整(記憶色補正) **SX80**

[高度な調整] - [記憶色補正]

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ/S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

青空、草原、肌色など、人の記憶にある色をよりあざやかに表現します。



● 高度な調整	
■ ノイズリダクション	切
■ ダイナミックガンマ	▶切
● 記憶色補正	弱
● 補色調整	中
◀ 戻る	強

- | | |
|---|--------------------|
| 切 | 記憶色補正を行いません。 |
| 弱 | 記憶色補正を 3 段階で指定します。 |
| 中 | |
| 強 | |

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

- 工場出荷時は [切] です。
- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。
- 記憶色補正については、140 ページを参照してください。

高度な調整(肌色補正) **SX800**

[高度な調整] - [肌色補正]

- | |
|-------------------------------|
| <input type="radio"/> アナログ PC |
| <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> ビデオ |

肌色を美しく表現します。



● 高度な調整	
■ ダイナミックガンマ	切
● 肌色補正	▶切
◀ 戻る	弱
	中
	強

- | | |
|---|-------------------|
| 切 | 肌色補正を行いません。 |
| 弱 | 肌色補正を 3 段階で指定します。 |
| 中 | |
| 強 | |

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

- 投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

きめ細かい色調整 (6軸色調整) SX80

[高度な調整] - [6軸色調整]

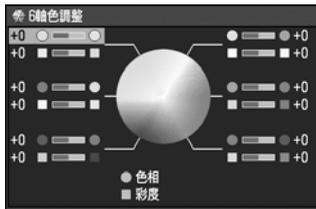
- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

映像の色味を RGB (赤、緑、青) および CMY (シアン、マゼンタ、イエロー) できめ細かく調整します。6軸色調整については、140ページを参照してください。



切 6軸色調整を行いません。
[調整] を選ぶと、以前の設定内容に戻ります。

調整 6軸色調整を行います。



【△】【▽】ボタンで「○色相 (色合い)」または「□彩度 (色の濃さ)」を選び、【<】【>】ボタンで調整します。
色調整が終わったら、【OK】ボタンを押します。

リセット 調整を0に戻します。

調整が終わったら【MENU】ボタンを押します。

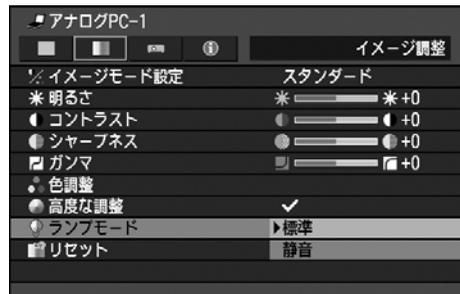
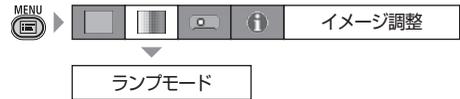
- ・工場出荷時は [切] です。
- ・投写中の入力信号とイメージモードの調整値として記憶されます。

ランプの光量を落とす

[ランプモード]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

ランプの光量を落とすことで、消費電力を抑え、冷却ファンの音を静かにすることができます。リモコンの【LAMP】ボタンで切り換えることもできます。



標準 標準の明るさで投写します。

静音 ランプの光量を落とし、冷却ファンの音を静かにします。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

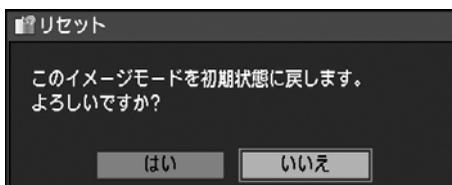
- ・工場出荷時は [標準] です。
- ・投写中の入力信号とイメージモードの設定として記憶されます。

イメージ調整のリセット

[リセット]

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ/S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

イメージ調整の設定をリセットし、購入時の状態に戻します。



はい イメージ調整の設定をリセットします。

いいえ リセットを中止します。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

- ・ 投写中の入力信号とイメージモードの組み合わせの設定内容のみリセットされます。

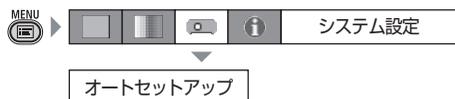
動作を設定する

オートセットアップの項目を選ぶ

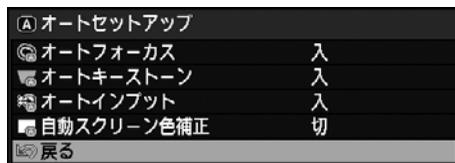
[オートセットアップ]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

オートセットアップで実行する項目が選べます。



SX80



オートセットアップで実行する項目を [入] にします。

オートフォーカス*	ピントを合わせます。
オートキーストーン	台形ひずみを補正します。
オートインプット	入力信号を選びます。
自動スクリーン色補正*	スクリーンの色に合わせて色味を調整します。

[OK] ボタンを押して確定し、[MENU] ボタンを押します。

- 工場出荷時の設定は次のとおりです。
オートフォーカス* [入]
オートキーストーン [入]
オートインプット [入]
自動スクリーン色補正* [切]
- [スクリーンアスペクト] が [16 : 9 D イメージシフト] のときは、[オートセットアップ] の項目は変更できません。また [オートセットアップ] もできません。[オートセットアップ] の詳細は 48 ページを参照してください。

*はSX80のみです。

パワーマネージメントモード

[パワーマネージメントモード]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

プロジェクターを使用しないときに、節電のため自動的にランプを消したり、電源を切ることができます。



切	パワーマネージメント機能を使用しません。
待機	入力信号がなくなって30秒経過すると待機モードに入り、カウントダウンの開始5分後にランプを消します。信号が入力されたり、プロジェクターが操作されると、投写を再開します。
終了	入力信号が 30 秒間なければ、カウントダウンを表示して、5 分後に電源が切れます。

[OK] ボタンを押して確定し、[MENU] ボタンを押します。

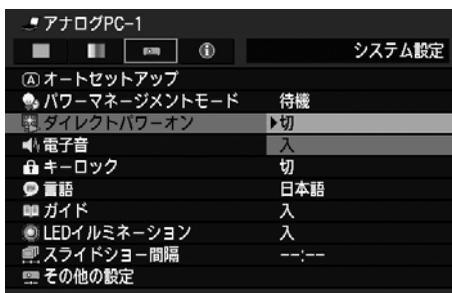
- 工場出荷時は [切] です。
- 待機モード中は、POWER ランプが赤と緑に点滅します。
- [切] に設定した場合は、次の項目の [ダイレクトパワーオン] は使用できません。

POWER ボタン操作の省略

[ダイレクトパワーオン]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

【POWER】 ボタンを押さずに、電源コードの接続だけで電源が入るようにできます。



切 電源を入れるために POWER ボタンの操作が必要です。

入 電源コードの接続だけで電源が入ります。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

・工場出荷時は [切] です。



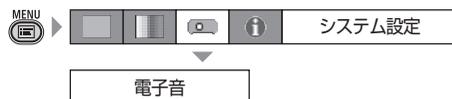
- ・ダイレクトパワーオンを「入」にするときは、前ページの「パワーマネージメントモード」の設定を [待機] または [終了] にしてください。
- ・電源を切った後に再度電源を入れる場合は、5 分以上お待ちください。すぐに電源を入れると、ランプの寿命を縮める原因になります。

電子音の入／切

[電子音]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

操作時の電子音の入／切を選べます。



切 電子音を鳴らしません。

入 電子音を鳴らします。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

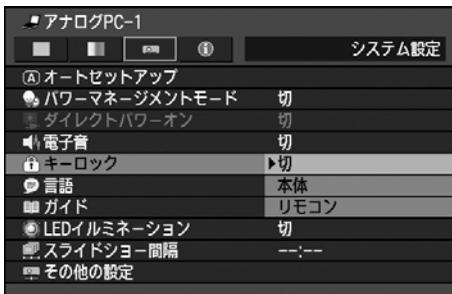
- ・工場出荷時は [入] です。
- ・リモコンの【MUTE】ボタンで音を消しているときは、電子音は鳴りません。

プロジェクター操作の禁止

[キーロック]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

本体またはリモコンのいずれかでのプロジェクター操作を禁止できます。



切	キーロックを使用しません。
本体	本体側の操作を禁止します。 リモコン側で設定してください。
リモコン	リモコン側の操作を禁止します。 本体側で設定してください。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

・工場出荷時は [切] です。



・キーロックは [本体] または [リモコン] を選んで 【OK】 ボタンを押した瞬間から有効になりますので、禁止していないほうの 【OK】 ボタンを押してください。

キーロックを強制解除するには

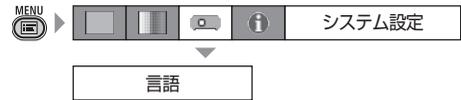
プロジェクターの電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。次に、本体の【OK】 ボタンを押しながら電源コードを差し込み、そのまま【OK】 ボタンを離さないでください。しばらくして電子音が鳴り、キーロックが解除されます。

表示言語

[言語]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

メニューに表示する言語を選べます。



【△】 【▽】 【>】 【<】 ボタンで表示する言語を選び、【OK】 ボタンを押します。

英語	English
ドイツ語	Deutsch
フランス語	Français
イタリア語	Italiano
スペイン語	Español
ポルトガル語	Português
スウェーデン語	Svenska
ロシア語	Русский
オランダ語	Nederlands
フィンランド語	Suomi
ノルウェー語	Norsk
トルコ語	Türkçe
ポーランド語	Polski
ハンガリー語	Magyar
チェコ語	Čeština
デンマーク語	Dansk
アラビア語	إنجليزي
中国語 (簡体)	中文简体
中国語 (繁体)	中文繁體
韓国語	한국어
日本語	日本語

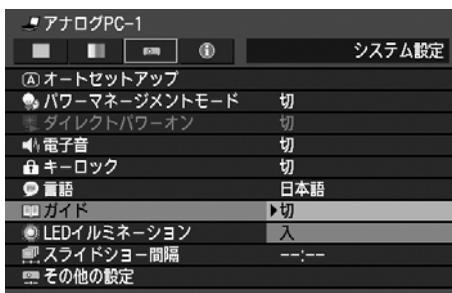
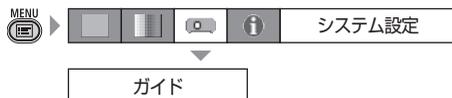
設定が終わったら 【MENU】 ボタンを押します。

ガイド画面の表示／非表示

[ガイド]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

操作を説明するガイド画面の表示／非表示が選べます。



切 ガイド画面を表示しません。

入 ガイド画面を表示します。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

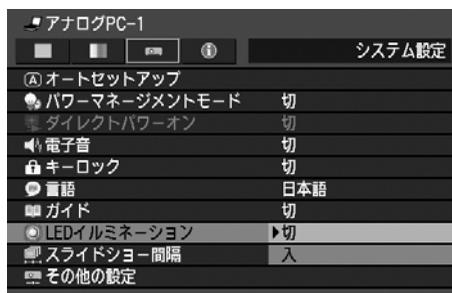
- 工場出荷時は [入] です。
- ガイド画面は次のときに表示されます。
 - 電源を切る (【POWER】 ボタンを押した) とき。(P64)
 - 入力信号が確認できないとき。(P47)
 - [BLANK]、[FREEZE]、[D.ZOOM] 時に無効なボタンが押されたとき。(P66、P68)

LED イルミネーション点灯の入／切

[LED イルミネーション]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

LEDイルミネーション (P24) の使用／不使用が選べます。



切 LED イルミネーションを使用しません。

入 LED イルミネーションを使用します。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

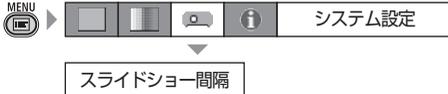
- 工場出荷時は [入] です。
- POWER ランプやWARNING ランプの点灯とは関係ありません。

スライドショーの準備 **SX80**

[スライドショー間隔]

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> HDMI | <input type="checkbox"/> コンポーネント |
| <input type="checkbox"/> デジタル PC | <input type="checkbox"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="checkbox"/> アナログ PC | <input type="checkbox"/> USB |

PictBridge対応機器（P106）またはUSBメモリー（P110）の画像をスライドショー形式で投写できます。



スライドショーの間隔（分：秒）を【<】【>】ボタンで設定します。（最長60分）

スライドショーを行わないときは、「--:--」の状態にしてください。

設定が終わったら【MENU】ボタンを押します。

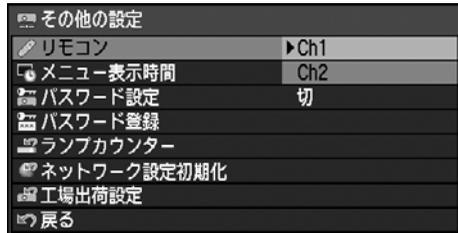
- ・工場出荷時は「--:--」です。
- ・最長60分（60：00）まで設定できます。
- ・USBメモリーからの投写には、USBファイルブラウザを使用します。詳しくは112ページを参照してください。

リモコンのチャンネル設定

[その他の設定] - [リモコン]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

2台のプロジェクターを同時に使用するときに、使い分けのためリモコンのチャンネル設定を変更します。



- | | |
|-----|------------------------------|
| Ch1 | このプロジェクターで使用するリモコンのチャンネルを選び、 |
| Ch2 | 【OK】ボタンを押します。 |

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- ・工場出荷時は、プロジェクター、リモコンともに【Ch1】に設定されています。
- ・メニューでのチャンネル切り換え後に、必ずリモコン側のチャンネルも切り換えてください。

リモコン側のチャンネルを選ぶ

リモコン側のチャンネルは、次の操作で変更します。

- | | |
|-----|----------------------------|
| Ch1 | 【OK】ボタンと【△】ボタンを同時に3秒間押します。 |
| Ch2 | 【OK】ボタンと【>】ボタンを同時に3秒間押します。 |

メニュー表示時間の延長

[その他の設定] - [メニュー表示時間]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

通常は 30 秒のメニュー表示時間を 3 分に延長できます。



標準 表示時間は 30 秒です。

延長 表示時間は 3 分です。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

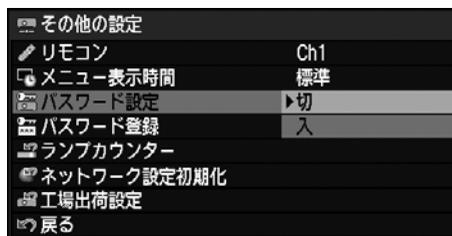
- 工場出荷時は [標準] です。
- オートセットアップ完了画面 (P49)、ガイド画面 (P98)、ランプ交換準備画面 (P131)、およびランプ交換警告画面 (P131) の表示時間は延長できません。
- 画面サイズ調整 (P54) およびピント合わせ (P55) 以外は、ボタンの長押し操作ができません。

パスワードの設定

[その他の設定] - [パスワード設定]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

パスワードを入力しないと投写ができないようにします。



切 パスワードを入力しなくても投写できます。

入 パスワードを入力しないと投写できません。

【OK】 ボタンを押して確定し、【MENU】 ボタンを押します。

- 工場出荷時は [切] です。
- [パスワード登録] を行わないとパスワード設定を [入] にできません。

パスワード機能を使用すると、電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されます。

ここで【^】【V】【<】【>】ボタンの組み合わせで 4桁のパスワードを入力します。

パスワードが一致すれば投写が始まります。パスワードを 3 回間違えると、電源が切れます。

- パスワードの入力画面のまま 3 分間放置した場合も電源が切れます。

パスワードを強制解除するには

プロジェクターの電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。

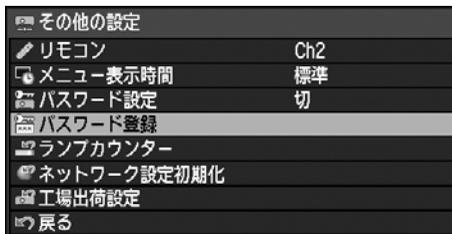
次に、本体の【MENU】 ボタンを押しながら電源コードを差し込みます。電子音が鳴るまで【MENU】 ボタンを押し続けてください。電子音が鳴るとパスワードの解除は完了です。(登録したパスワードもリセットされます)

パスワードの登録

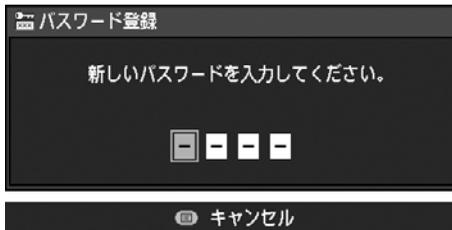
[その他の設定] - [パスワード登録]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

投写を始めるためのパスワードを登録します。



[パスワード登録] で【OK】ボタンを押すと下のパスワード登録画面が表示されます。



【△】【>】【V】【<】ボタンの組み合わせで4桁のパスワードを入力します。(△△△△、<<<<、△V<>など)

左の桁から順番に入力し、入力が終わると自動的に登録されます。

・パスワードの登録を中止するときは【MENU】ボタンを押してください。

ランプカウンターのリセット

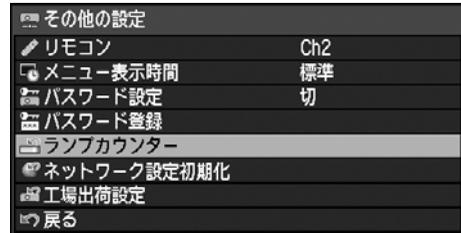
[その他の設定] - [ランプカウンター]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

ランプの交換時期を知らせるカウンターをリセットします。



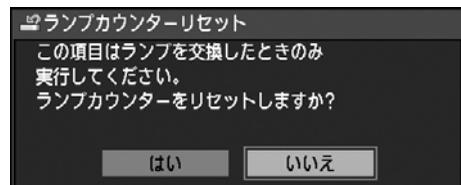
ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。ランプの交換時期を正しく知らせることができなくなり危険です。ランプの交換方法については 132 ページを参照してください。



[ランプカウンター] で【OK】ボタンを押すと、ランプカウンターが表示されます。



[リセット] を選んで【OK】ボタンを押します。



確認画面で [はい] を選び、【OK】 ボタンを押すとランプカウンターがリセットされます。



【MENU】 ボタンを押します。

■ランプカウンターの表示について

ランプカウンターの表示とランプ使用時間の関係は次の通りです。

1,800 時間未満

緑色のバーで表示します。

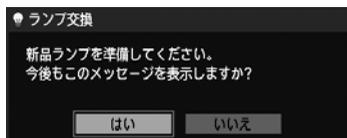


1,800 ~ 2,000 時間未満

緑色・黄色のバーで表示します。



1,800 ~ 2,000 時間未満では、電源を入れたときに「新品ランプを準備してください」というメッセージ画面が表示されます。



2,000 時間を超えたとき

緑色・黄色・赤色のバーで表示します。



電源を入れたときに「新品ランプに交換してください」というメッセージ画面が表示されます。

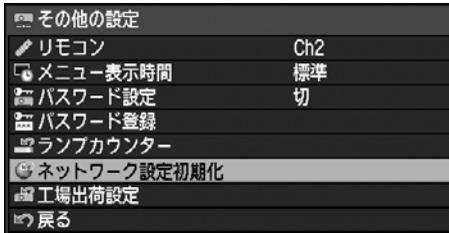


ネットワーク設定の初期化 **SX80**

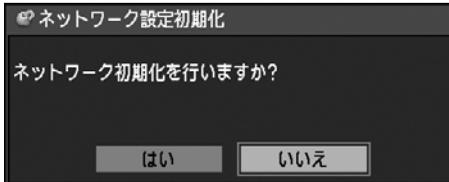
[その他の設定] - [ネットワーク設定初期化]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

プロジェクターのネットワーク設定を初期化します。



[ネットワーク設定初期化] で【OK】ボタンを押すと、下の確認画面が表示されます。



はい ネットワークの設定を初期化します。

いいえ 初期化を中止します。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

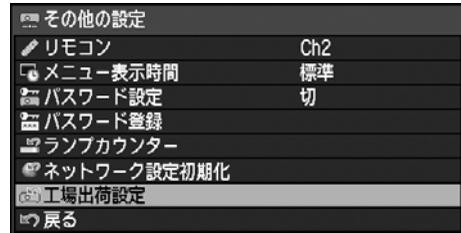
- ・「プロジェクターをネットワークに接続する」(P117) で設定した「IP アドレス」などの項目が初期化されます。
- ・ウェブ・ブラウザを使用して初期化することもできます。(P121)

購入時の状態に戻す

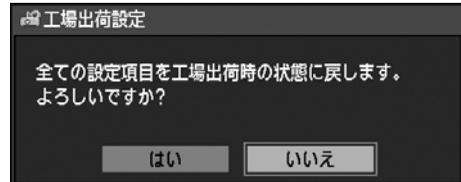
[その他の設定] - [工場出荷設定]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> HDMI | <input type="radio"/> コンポーネント |
| <input type="radio"/> デジタル PC | <input type="radio"/> ビデオ / S-ビデオ |
| <input type="radio"/> アナログ PC | <input type="radio"/> USB |

メニューで設定した内容を購入時(工場出荷時)の状態に戻します。



[工場出荷設定] で【OK】ボタンを押すと、下の確認画面が表示されます。



はい 工場出荷時の状態に戻します。

いいえ 工場出荷時の状態に戻しません。

【OK】ボタンを押して確定し、【MENU】ボタンを押します。

- ・[ランプカウンター]、[言語]、[リモコン]、[入力信号]、[ネットワーク設定]の内容は戻りません。
- ・工場出荷時の状態については150ページを参照してください。

プロジェクターの情報を確認する

[インフォメーション]

- HDMI
- デジタル PC
- アナログ PC
- コンポーネント
- ビデオ/S-ビデオ
- USB

投写中の映像の信号形式や、プロジェクター固有の情報を確認できます。



SX80

アナログPC-1	
インフォメーション	
Model モデル名	SX80
🔊 入力信号	1400 × 1050 60Hz
Firm ファームバージョン	00.9999
Num シリアルNo.	AB0123456
IP IPアドレス	192.168.254.254
🌐 ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
✉ メール送信元アドレス	Projector@canon.co.jp
✉ メール送信先アドレス	未設定
Name プロジェクター名	SX80
ID システム情報ID	

SX800

アナログPC-1	
インフォメーション	
Model モデル名	SX800
🔊 入力信号	1400 × 1050 60Hz
Firm ファームバージョン	00.010002
Num シリアルNo.	AB0123456
ID システム情報ID	

表示される情報

項目	内容
モデル名	プロジェクターのモデル名です。
入力信号	選択中の入力信号の詳細です。 「信号種別」「信号解像度」「周波数」などの情報が表示されます。
ファームバージョン	現在のファームウェアバージョンです。
シリアル No.	プロジェクター固有のシリアルナンバーです。
IP アドレス SX80	ネットワーク設定の内容が表示されます。(P118) 設定されていない項目には、「未設定」と表示されます。
ゲートウェイアドレス SX80	
メール送信元アドレス SX80	
メール送信先アドレス SX80	
プロジェクター名 SX80	ネットワーク上でのプロジェクター識別名です。
システム情報 ID	システムの情報です。通常は表示されません。

SX80

デジタルカメラや USB メモリーの 画像を投写する

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

SX80 デジタルカメラや USB
メモリーの画像を投写する

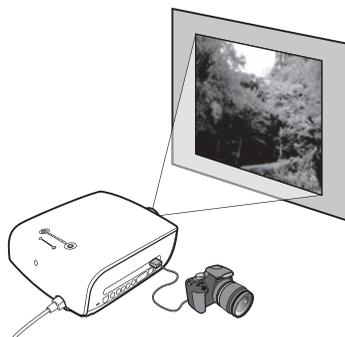
SX80 プロジェクターをネット
ワークに接続する

付録

索引

デジタルカメラの画像を投写する **SX80**

SX80はPictBridgeに対応しています。PictBridge対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話など（以降、PictBridge対応機器と呼びます）を接続して、撮影画像を直接投写することができます。



接続できるカメラについて

PictBridgeは、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像をコンピューターを介さずに直接プリンタで印刷するための規格です。本プロジェクターはPictBridge対応機器を接続し、印刷と同じ操作で撮影画像を直接投写することができます。

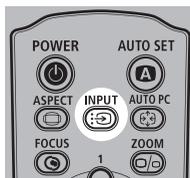


このマークが表記されているカメラはPictBridgeに対応しています。PictBridgeに関する最新情報についてはキヤノンホームページ（canon.jp/pictbridge/）、またはPictBridgeホームページ（<http://www.cipa.jp/pictbridge/>）にてご確認いただけます。

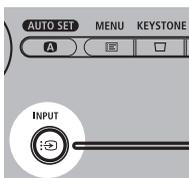
デジタルカメラを接続する

- 1 プロジェクターの電源を入れます。（P45）
- 2 入力信号を【USB】に切り換えます。
【INPUT】ボタンを押し、【△】【▽】ボタンで【USB】を選んで【OK】ボタンを押します。

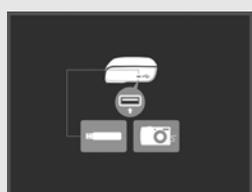
リモコン



本体

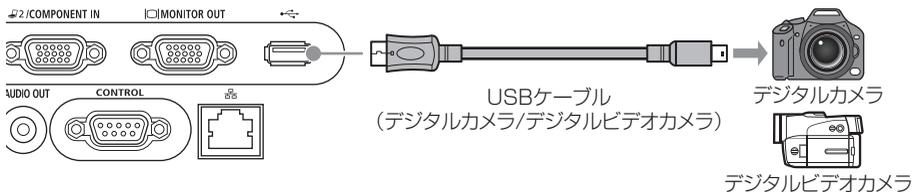


PictBridge対応機器を接続しない状態、またはPictBridge対応機器の電源が入っていない状態で【USB】に切り換えると、右の画面が表示されます。



3 USBケーブルで PictBridge 対応機器とプロジェクターを接続します。

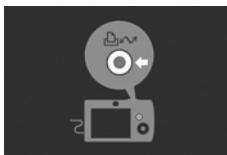
機器側の端子形状は機種により異なります。機器の使用説明書を参照してください。



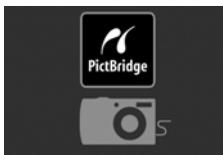
4 PictBridge 対応機器の電源を入れます。

プロジェクターと PictBridge 対応機器の通信準備が整うと、次のマークが表示されます。

キヤノン製デジタルカメラ接続時



他社製デジタルカメラ接続時



プロジェクターが認識できない機器や、通信中に接続できない状態になったときは、右の画面が表示されます。

PictBridge 対応機器の場合は、USB ケーブルをいったん抜き、再度接続してください。



右の画面 (USB ファイルブラウザ) が表示される機器は、マストレージクラス (Windows コンピューターに接続し、外部ドライブとして使用できる方式) 対応の機器として画像を投写できます。詳しくは 110 ページを参照してください。



- ・ PictBridge 対応機器はフル充電されたバッテリーをお使いください。
- ・ PictBridge 対応機器側で接続ケーブルを抜くことが許可された場合を除いて、投写が終了するまで接続ケーブルを抜かないでください。接続ケーブルを取り外す手順については、PictBridge 対応機器の使用説明書を参照してください。

5 PictBridge 対応機器を操作して投写します。

PictBridge 対応機器側で、「印刷」を開始する操作を行ってください。撮影画像がプロジェクターに転送され、投写されます。

- ・ [1 枚印刷 (1 画像のみ投写)]、[連続印刷 (全ての画像を連続して投写)]、[DPOF 印刷 (指定した画像を投写)] を指定できます。
[DPOF 印刷] で複数画像を投写指示した場合は、最大 999 枚までの画像が受け付けられます。
- ・ [連続印刷]、[DPOF 印刷] で次の画像を投写するときは、[OK] ボタンを押してください。

投写された画像を操作する

画像投写中は、次の操作ができます。

■ 次の画像を投写する

デジタルカメラから複数画像を印刷指示しているときは、【OK】ボタンで次の画像を投写できます。

リモコン



本体

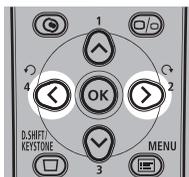


- ・ プロジェクター側の操作で前の画像に戻ることはできません。前の画像を投写するときは、デジタルカメラ側の操作で印刷指示をやり直してください。
- ・ スライドショー表示中でも【OK】ボタンを押すと次の画像を投写します。

■ 画像を回転する

【<】【>】ボタンで画像を左右に90°回転できます。

リモコン



本体



【<】ボタン



左に90°回転



【>】ボタン



右に90°回転



- ・ スライドショー表示中でも、【<】【>】ボタンで画像を回転できます。
- ・ 画像に回転情報が含まれているときは、自動的に適切な向きに回転して投写します。

スライドショーで投写する

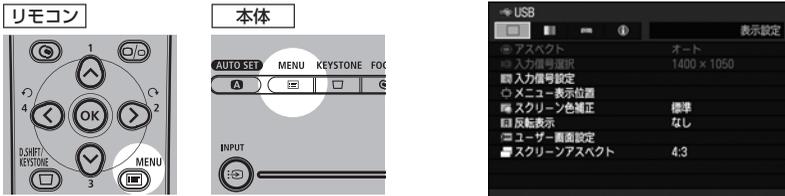
スライドショー機能を使用して、デジタルカメラの複数の画像を一定の間隔で連続して投写できます。

■スライドショーの投写間隔を設定する

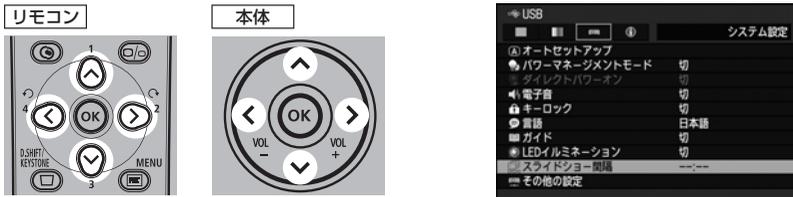
メニューの [スライドショー間隔] で投写間隔を設定することで、USB接続での画像投写 (PictBridge) での投写、またはUSBメモリーからの投写) がスライドショーになります。

次の操作で投写間隔を設定してください。

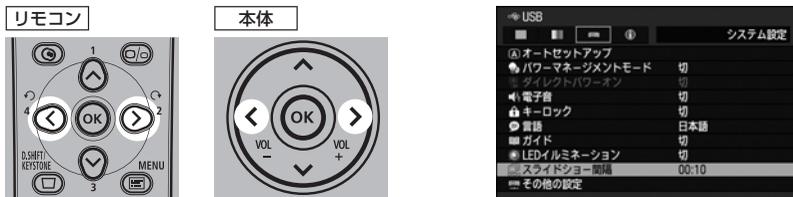
1 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示します。



2 [<] [>] ボタンで [システム設定] タブを選び、[⏏] [V] ボタンで [スライドショー間隔] を選びます。



3 [<] [>] ボタンで投写間隔を「--:--」以外の時間 (分:秒) に設定します。 スライドショーを止めるときは「--:--」に設定してください。



4 [MENU] ボタンを押し、メニューを終了します。

画像サイズによっては、表示まで時間がかかることがあります。

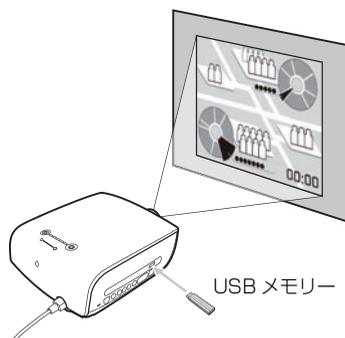
■投写を終了する

PictBridgeでの投写を終了するときには、PictBridge対応機器の電源を切ってください。
またUSBケーブルはPictBridge対応機器の電源を切ってから外してください。

USB メモリーのデータを投写する **SX80**

USB メモリーに画像ファイル（JPEG 形式で保存されている画像）を保存しておけば、プロジェクターに接続して、直接投写することができます。

・JPEG形式で保存されている画像のみ投写できます。



接続できるUSB機器について

本プロジェクターでは、マストレージクラス（Windows コンピューターに接続し、外部ドライブとして使用できる方式）対応のUSB 機器（一般的なUSB メモリーやUSB 接続のハードディスクなど）が接続できます。

また、USB メモリーカードリーダーを接続することで、各種メモリーカードも使用できます。さらに、デジタルカメラやデジタルビデオカメラなども、マストレージクラスのモードを持つ機種であれば、USB 接続して撮影画像を投写できます。

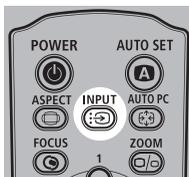
USB メモリーを接続する

1 プロジェクターの電源を入れます。（P45）

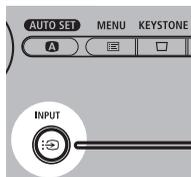
2 入力信号を [USB] に切り換えます。

【INPUT】 ボタンを押し、【∧】 【∨】 ボタンで [USB] を選んで【OK】 ボタンを押します。

リモコン



本体



インプット



USB メモリーを接続しない状態、またハードディスクなどの電源が入っていない状態で [USB] に切り換えると、右の画面が表示されます。

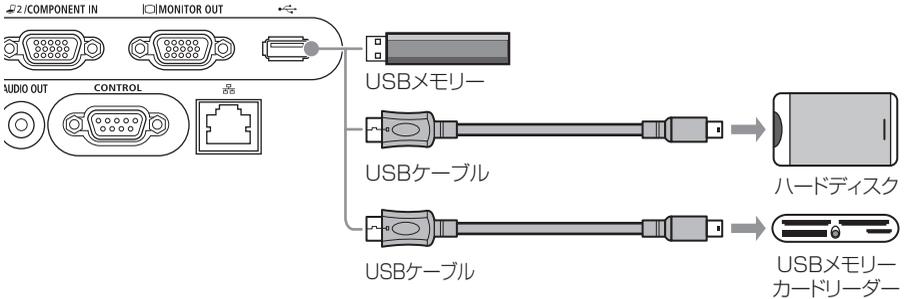
USB メモリーが認識されると、「USB ファイルブラウザ」が表示されます。



3 USB メモリーを接続します。

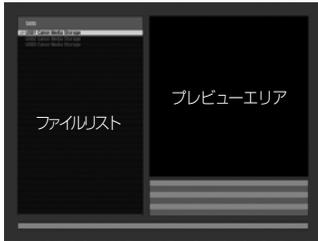
USB メモリーを USB 端子に接続します。

デジタルカメラや USB メモリーカードリーダーは、USB ケーブルを使用して接続します。USB ケーブルは接続する機器に付属のものを使用してください。



USB メモリーが認識されると、「USB ファイルブラウザ」が表示されます。

- ・最初に設定されていたドライブのみ表示されます。
- ・マルチカードリーダーに複数のメモリが装着されている場合は、ひとつ上の階層が表示されます。



USB メモリーの接続に失敗したときは右の画面が表示されます。いったん USB メモリーを取り外し、もう一度接続してください。



プロジェクターが認識できない機器が接続されると、右の画面が表示されます。



- ・ USB ハブを接続すると、右の画面が表示されます。
- ・ USB ハブは使用できません。
- ・ USB ハードディスクなど消費電力の大きい機器を接続するときは、家庭用電源を使用してください。
- ・ USB 端子からの供給電力が不足すると、誤動作したり、正しく認識されないことがあります。



USB ファイルブラウザの見かた

USB メモリーをプロジェクターに接続すると、USB ファイルブラウザが表示されます。

USB ファイルブラウザでは、メモリー内のファイルリストを操作して、投写する画像ファイルを選びます。

リストタイトル

現在選択されているドライブ名

表示内容はメーカー・機種により異なります。

◀ USB1 Canon Media Storage

◀ 2/10 ▶

表示中のファイルリストのページ数
(表示ページNo. / 総ページ数)

【<】 【>】 ボタンでファイルリストをページ送りできます。



プレビューエリア

ファイルリストで選んだ画像が縮小表示されます。

フォルダを選んでいるときは、フォルダアイコンが表示されます。

ファイル情報エリア

ファイルリストで選んだ画像の情報が表示されます。

- ・ File name (ファイル名)
- ・ File size (ファイルサイズ)
- ・ Date time original (撮影日時)
(“Last update” と表示される場合もあります。)
- ・ Image size (解像度)
- ・ Model (モデル名)
- ・ 撮影情報 (シャッター速度、
絞り、ISO 感度)

ファイルリストエリア

フォルダ内のファイルリストがファイル名順に表示されます。【△】 【▽】 ボタンで画像ファイルまたはフォルダを選びます。



フォルダ



投写できる画像ファイル

- ・ ファイル名、およびフォルダ名は半角英数字で作成してください。日本語ファイル名は使用できません。

ファイルのパス名

ファイルリストで選んだ画像のパス名が表示されます。

画像を選んで投写する

USB ファイルブラウザで画像を選び、投写する操作を説明します。

■ドライブを選ぶ

USB メモリーではこの操作は必要ありません。

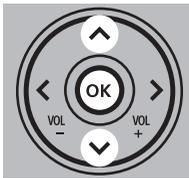
メモリスロットを複数持つ USB メモリーカードリーダーを接続すると、ファイルリストにドライブ（メモリスロット）のリストが表示されます。

メモリーカードをセットしたドライブを【**▲**】【**▼**】ボタンで選び、【**OK**】ボタンを押します。

リモコン



本体



- ・ 使用できるドライブは白で表示され、使用できないドライブはグレーで表示されています。
- ・ 各ドライブのメモリーカードの状態がアイコンで分かります。（アイコンは接続する機器により異なります）



例 1) メモリーカードがセットされ、正常に認識されています。



例 2) メモリーカードがセットされていますが、読み込めません。
ファイルシステムが壊れているか、認識できないフォーマットです。

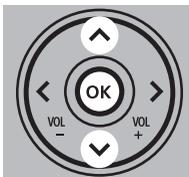
■フォルダを選ぶ

画像ファイルがフォルダ内にあるときは、フォルダを【**▲**】【**▼**】ボタンで選び、【**OK**】ボタンを押します。

リモコン



本体



- ・ 上位のフォルダに戻るときは、「」を選んで【**OK**】ボタンを押します。

■画像ファイルを選んで投写する

1 画像ファイルを【△】【▽】ボタンで選びます。

リモコン



本体



選んだ画像がプレビューエリアに縮小表示されます。



- ・ 上位のフォルダに戻るときは、「 ..」を選んで【OK】ボタンを押します。

2 【OK】ボタンを押して、画像をスクリーン全面に投写します。

リモコン



本体



- ・ USBファイルブラウザに戻るときは【OK】ボタンを押します。

投写された画像を操作する

画像投写中は、次の操作ができます。

■前後の画像を投写する

フォルダ内に複数の画像ファイルがあるときは、【△】【▽】ボタンで前後の画像を投写できます。

リモコン



本体



・ スライドショー表示中でも【△】【▽】ボタンを押すと前後の画像を投写します。

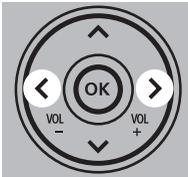
■画像を回転する

【<】【>】ボタンで画像を左右に90°回転できます。

リモコン



本体



【<】ボタン



左に90°回転



【>】ボタン



右に90°回転



- ・ スライドショー表示中でも、【<】【>】ボタンで画像を回転できます。
- ・ 画像に回転情報が含まれているときは、自動的に適切な向きに回転して表示します。

■USB ファイルブラウザに戻る

【OK】ボタンを押すと、USB ファイルブラウザに戻ります。

リモコン



本体



USB メモリーからスライドショーで投写する

スライドショー機能を使用して、USB メモリーに保存されている複数の画像を、一定の間隔で連続して投写できます。

■画像ファイルのフォルダを用意する

スライドショーでは、同一フォルダ内の画像ファイルをファイル名順に表示しますので、USB メモリーにフォルダを作成し、スライドショーで投写する画像ファイルを保存しておいてください。スライドショー開始時は、USB ファイルブラウザでフォルダ内の先頭の画像ファイルを全画面表示で投写してください。

次で説明する「スライドショー間隔」が設定されていれば、フォルダ内の画像ファイルが自動的に投写されます。

■スライドショーの投写間隔を設定する

スライドショーを行うときは、メニューの [スライドショー間隔] に投写間隔を設定しておきます。設定方法については、109ページの「スライドショーで投写する」を参照してください。

SX80

プロジェクターを ネットワークに 接続する

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

SX80 デジタルカメラや USB
メモリーの画像を投写する

SX80 プロジェクターをネット
ワークに接続する

付録

索引

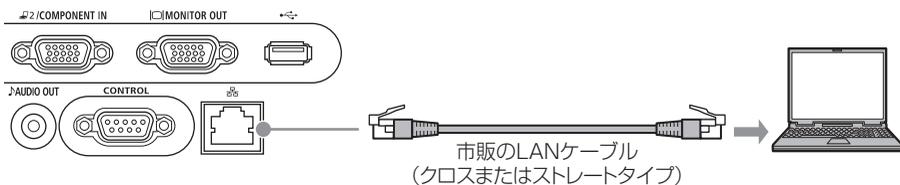
ネットワークの設定 **SX80**

SX80 をネットワークに接続すれば、プロジェクター本体からのエラー通知メールを受信したり、コンピュータからプロジェクターを制御することができます。(P121)

ネットワークに接続する前に、次の手順でコンピュータの IP アドレスを設定してください。(画面は Windows XP の場合です)

■コンピューターの IP アドレスの設定

- 1 プロジェクターとコンピューターを LAN ケーブル(クロスまたはストレート)で直接接続します。



- 2 プロジェクターとコンピューターの電源を入れます。

- 3 コンピューターの [スタート] メニューで [コントロールパネル] を開き、[ネットワークとインターネット接続] を選んで [ネットワーク接続] を開きます。

- 4 [ローカルエリア接続] を右クリックして [プロパティ] を開きます。

- 5 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選んで [プロパティ] ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定 (IP アドレスやサブネットマスク、DHCP 取得等) をメモしておきます。

- 6 [次の IP アドレスを使う] を選択し、次のように設定します。

[IP アドレス] : 192.168.254.1

[サブネットマスク] : 255.255.255.0



- 7 設定が終わったら [OK] ボタンをクリックし、[ローカルエリア接続] のプロパティ画面の [OK] ボタンをクリックして閉じます。

■コンピューターのIPアドレスの設定を戻すとき

- 1 プロジェクターの電源を切り、LAN ケーブルを取り外します。
- 2 手順3～6の操作で、コンピューターのIPアドレスおよびサブネットマスクをメモしておいた変更前の値に戻します。

■エラー通知メールの設定

- 1 ウェブ・ブラウザ（Microsoft Internet Explorer 6 以上）を起動し、アドレスに「http://192.168.254.254」を入力して [Enter] キーを押します。
ログインダイアログが表示されます。



- 2 パスワード設定画面の [ユーザ名] に「root」、[パスワード] に「system」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



ウェブ・ブラウザにプロジェクターのネットワーク設定画面が表示されます。

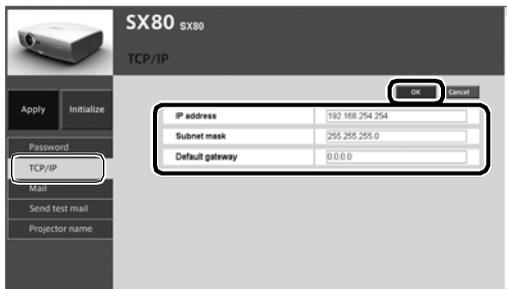
- 3 ネットワーク設定画面の [Settings] ボタンをクリックします。



メニュー画面が表示されます。

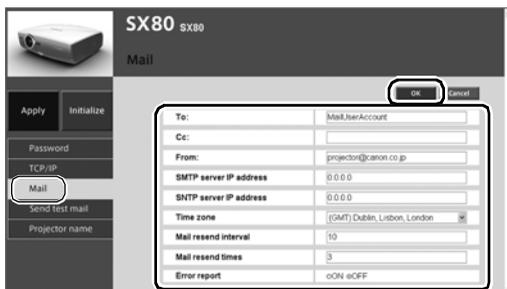
4 [TCP/IP] をクリックし、プロジェクターに割り当てる値を各項目に設定して [OK] ボタンをクリックします。

- [IP address] : プロジェクターの IP アドレス
 [Subnet mask] : プロジェクターのサブネットマスク
 [Default gateway] : ネットワークのデフォルトゲートウェイ



5 [Mail] をクリックし、各項目を設定して [OK] ボタンをクリックします。

- [To:] : エラー通知メールの送信先メールアドレス (半角英数記号 63 文字以内)
 [Cc:] : エラー通知メールの 2 つ目の送信先メールアドレス (半角英数記号 63 文字以内、省略可)
 [From:] : メール送信者名 (プロジェクター)
 [SMTP server IP address] : 利用可能な SMTP メールサーバーの IP アドレス
 [SNTP server IP address] : 利用可能な SNTP サーバーの IP アドレス (省略可)
 [Time zone] : 設置場所のタイムゾーン
 [Mail resend interval] : メール送信失敗時のメール再送間隔
 設定範囲 0 ~ 59 秒 (工場出荷設定は 10 秒)
 [Mail resend times] : メール送信失敗時の再送回数
 設定範囲 0 ~ 255 回 (工場出荷設定は 3 回)
 [Error report] : エラー送信機能の ON / OFF。ON を選びます。(工場出荷設定は [OFF])



6 [Apply] をクリックすると、「Save and apply settings. OK ?」のメッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。

以上でプロジェクターの IP アドレス設定が完了しました。

■ネットワークの設定を戻すとき

- 1 「エラー通知メールの設定」(P119)の手順1と同様の操作でウェブ・ブラウザからプロジェクトターにアクセスします。
- 2 ネットワークメニュー画面(P120)の[Initialize]をクリックします。
- 3 [Initialize network settings?]のメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。プロジェクトター側の操作で工場出荷時の設定に戻すときは、メニューの[ネットワーク設定初期化]を実行してください。

■エラー通知メール

プロジェクトターにエラーが発生したときは、次の表のメッセージが送信されます。

エラー表

温度に関するエラー	件名	Temperature abnormality
	本文	The temperature inside the projector is too high for some reason or the outside air temperature is higher than the specified one. If the problem is inside the projector, check whether the projector is installed and operated normally, turn off the projector to cool its inside, and retry projection. If the same warning occurs again, the projector may be defective. Contact your dealer.
ランプに関するエラー	件名	Faulty lamp
	本文	The lamp has burnt out. Replace the lamp with a new one. If the same warning occurs again, the lamp drive circuit may be defective. Contact your dealer.
ランプカバーに関するエラー	件名	Faulty lamp cover
	本文	The lamp cover is open. Check whether the lamp cover is installed properly. If it is installed properly, the lamp cover detection switch may be defective. Contact your dealer.
冷却ファンに関するエラー	件名	Faulty cooling fan
	本文	The cooling fan or another component may be defective. Contact your dealer.
電源に関するエラー	件名	Faulty power supply
	本文	The voltage of part of the power supply is abnormally high or any other problem has occurred in the power supply. Contact your dealer.
その他のエラー	件名	Unknown Error
	本文	16進数によるコード*

* 詳しくはキャノンお客様相談センターにお問い合わせください

付録

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

投写する

プレゼンテーションで使える
便利な機能

メニューによる機能設定

SX80 デジタルカメラや USB
メモリーの画像を投写する

SX80 プロジェクターをネット
ワークに接続する

付録

索引

WARNING ランプの見かた

プロジェクターに異常が発生すると、本体操作部上のWARNINGランプが点滅し続けます。

- ・ 電源を切り、プロジェクターの冷却が終了した後に、電源コードを抜いてから対処してください。

点滅の回数	内容	原因と対処
1回	温度の異常	プロジェクター内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。プロジェクター側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、プロジェクターの電源を切ってしばらく内部を冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。再度、同じワーニングが出る場合は、本体の故障が考えられます。キャノンお客様相談センターにご連絡ください。
2回	ランプの異常	ランプが切れました。新しいランプに交換してください。ランプを交換しても同じワーニングが出る場合は、ランプの駆動回路などの故障が考えられます。キャノンお客様相談センターにご連絡ください。
3回	ランプカバーの異常	ランプカバーが開いています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、ランプカバーを正しく取り付けした後、再度電源を入れ直してください。 ランプカバーに問題がない場合は、ランプカバー検出スイッチなどの故障が考えられます。キャノンお客様相談センターにご連絡ください。
4回	冷却ファンの異常	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。キャノンお客様相談センターにご連絡ください。
5回	電源の異常	電源の一部が異常な電圧になっているか、その他の故障が考えられます。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが出る場合は、キャノンお客様相談センターにご連絡ください。

困ったときのアドバイス

■電源が入らない

原因	対処のしかた
電源コードが正しく接続されていない	電源コードがきちんと接続されていることを確認してください。(P45) また、キーロックが設定されていないか確認してください。(P97)
電源コードを接続した直後である	電源プラグを接続して【POWER】ボタンが赤く点灯するまでは、電源を入れることができません。(P45)
ランプカバーが開いている	電源プラグをコンセントから抜き、ランプカバーを正しく取り付けた後、再度電源を入れ直してください。
電源を切った後、冷却ファンの回転中にキャリーバッグに収納したため、安全装置が作動した	安全装置の作動中は、電源コードを接続しても POWER ランプは点灯しません。なお安全装置は安全のため、お客様が解除できないようになっています。キャノンお客様相談センターにご連絡ください。
吸気口または排気口がふさがれてプロジェクター内部の温度が上昇し、安全装置が作動した	安全装置の作動中は、電源コードを接続しても POWER ランプは点灯しません。なお安全装置は安全のため、お客様が解除できないようになっています。吸気口または排気口をふさいでるものを取り除き、キャノンお客様相談センターにご連絡ください。

■映像が投写されない

原因	対処のしかた
接続ケーブルが正しく接続されていない	コンピューターや AV 機器とプロジェクターとが正しく接続されていることを確認してください。(P34、P35、P50)
電源を入れて20秒経過していない	電源を入れると、約20秒間オープニング画面が表示されます。すぐに映像を投写する場合は、リモコンまたは本体操作部の【OK】ボタンを押してください。(P45)
AV 機器から映像が送られていない	接続したデジタルカメラ、ビデオカメラ、DVD 等で、映像の再生が行われていることを確認してください。
映像端子への接続や信号形式の選択が正しくない	映像端子への接続が正しく行われていることを確認してください。また、映像信号の形式が正しく選ばれていることも確認してください。(P34、P35、P50)
投写する入力信号が選ばれていない	【INPUT】ボタンを押して、投写する入力信号を選んでください。(P51)
映像信号の形式が合っていない	映像信号の形式が正しく選ばれていることを確認してください。(P76、P77、P136)
【BLANK】になっている	リモコンの【BLANK】ボタンを押してください。(P66)
コンピューター側の問題で映像が送られない	プロジェクター、コンピューターの順で電源を入れなおしてください。

原因	対処のしかた
ノート型コンピューター側の外部モニターへの出力が正しく設定されていない	ノート型コンピューターの外部モニターへの出力をオンに設定してください。外部モニターへの出力をオンにするには、コンピューターのキーボードの [Fn] を押しながら、[LCD] や [VGA] または画面のアイコンが表記されたファンクションキーを押します。(P47) なお、キー操作はノート型コンピューターの種類によって異なります。詳しくは、ご使用のノート型コンピューターの使用説明書などを確認してください。
コンピューターの画面と同じ映像が表示されない	コンピューターの画面設定が2画面(マルチディスプレイ)モードになっていないかを確認してください。2画面モードになっている場合は、コンピューター側の操作で出力設定を同時表示モードにしてください。 なお、出力設定の方法はコンピューターによって異なります。詳しくは、ご使用のコンピューターの使用説明書などを確認してください。
レンズキャップが外されていない	レンズキャップを外してください。

■デジタルカメラやUSBメモリーが認識されない **SX80**

原因	対処のしかた
PictBridgeに対応していない	PictBridgeに対応していない機器は認識されません。機器の使用説明書を参照してください。(P106)
マストレージクラスに対応していない	マストレージクラスに対応していないUSBメモリーは認識されません。USBメモリーの使用説明書を参照してください。(P110)

■音が出ない

原因	対処のしかた
音声ケーブルが正しく接続されていない	音声ケーブルの接続を確認してください。(P34、P35)
【MUTE】になっている	リモコンの【MUTE】ボタンを押してください。(P67)
音量が最小に調整されている	リモコンの【VOL】ボタンまたは本体操作部の【VOL+】ボタンを押して音量を調整してください。(P67)
抵抗内蔵の音声ケーブルが使用されている	音声ケーブルは、抵抗なしのものを使用してください。

■映像が鮮明でない

原因	対処のしかた
フォーカスが合っていない	フォーカスを調整してください。(P55)
スクリーンまでの距離が近すぎる	スクリーンとの距離が適正であるか確認してください。約1.2m以上離れないと、ピントが合いません。(P31、P137)
プロジェクターがスクリーンの正面に置かれていない	スクリーンに対して過度に斜め方向から投写していないか確認してください。ある程度の角度であれば、台形ひずみの補正機能で補正できます。(P56)
温度差の激しい場所に移動した	温度の低い場所から温度の高い場所に移動した場合、レンズにくもりが発生する場合があります。しばらくすると、くもりは消え、正常な画面の投写が可能になります。
レンズが汚れている	レンズを清掃してください。(P129)
トラッキングが合っていない	[オートPC] または [トラッキング] でトラッキングを調整してください。(P53、P78)

■映像が正しく表示されない

原因	対処のしかた
映像が上下、または左右逆に投写される	天吊り／リア投写の設定に誤りがあります。表示設定メニューで [反転表示] の設定内容を確認してください。(P83)
一部のピンが結線されていない VGA ケーブルを使用している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付属のVGAケーブルを使用してください。(SX800の場合) ・ 市販品の場合は、全てのピンが結線されたVGAケーブルを使用してください。

■電源が切れてしまう

原因	対処のしかた
吸気口または排気口がふさがれている	吸気口または排気口がふさがれていないか確認してください。吸気口または排気口がふさがれていると、プロジェクター内部の温度が上昇し、本体保護のために自動的に電源が切れるようになっていきます。(WARNINGランプが1回点滅します。) プロジェクターの温度が下がってから、吸気口または排気口をふさがないようにして、再度電源を入れてください。(P20、P21、P45)
エアフィルターが汚れている	底面のエアフィルターがホコリなどで目詰まりしていないか確認してください。目詰まりしている場合は、エアフィルターの清掃または交換を行ってください。(P130)

原因	対処のしかた
ランプが破裂している（またはランプの異常）	ランプが破裂していないか確認してください。 ランプが破裂している場合は、14ページ「ランプについての安全上のご注意」にしたがって対応してください。 ランプが破裂していない場合でも、ランプの異常が考えられるので、予備のランプをお持ちの場合は交換してお試しください。（P14、P131、P132）
使用環境が適正でない	使用環境が5℃～35℃であることを確認してください。（P15） 海拔2300m以上の高地で使用する場合は、販売店にご相談ください。
上記に該当する原因が見つからないとき	故障している可能性がありますので、すみやかにキヤノンお客様相談センターまでご相談ください。（P149）

■リモコンの操作ができない

原因	対処のしかた
電池が正しく入っていない／電池が切れている	電池が正しく入っているか確認してください。電池が入っている場合は、新しい電池と交換してください。（P27）
リモコンの届かない位置から操作している	プロジェクターのリモコン受光範囲内で操作しているか確認してください。（P27）
リモコンとプロジェクターの間に障害物がある	プロジェクターのリモコン受光部とリモコンの間の障害物を取り除くか、障害物のない位置でリモコンを操作してください。
リモコンの使用環境が適正でない	プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていないか確認してください。（P27）
リモコンのチャンネル設定が合っていない	リモコンのチャンネル設定を切り換えていないか確認してください。システム設定メニューで「リモコン」の設定を確認できます。（P99）
キーロックでリモコンの操作を禁止している	「キーロック」でリモコンからの操作がロックされていないか確認してください。 システム設定メニューで「キーロック」を「切」に設定してください。（P97）

プロジェクター本体を清掃する

プロジェクターは、ホコリなどがたまらないようにこまめに清掃してください。
レンズ表面が汚れると、投写する映像に影響が出る場合があります。



注意

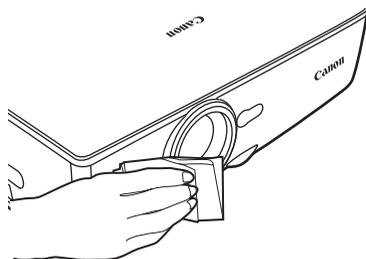
- ・電源を切った直後は、本体が大変高温になっているため、十分冷えるのを待ってから（1時間以上）清掃を行ってください。やけどやけがの原因になる場合があります。
- ・清掃は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電や火災の原因になる場合があります。

本体や本体操作部の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布を浸してよく絞り、ふき取ってから乾いた布で仕上げてください。



- ・ベンジンや揮発性の清掃液を使用すると、変質したり塗装がはげることがあります。
- ・化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書きをよくお読みください。
- ・レンズの清掃は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナーを使用してください。レンズの表面は傷が付きやすいので、固い布やティッシュペーパーなどは使用しないでください。



長期間使用しないとき

レンズには必ずレンズキャップを取り付け、付属のキャリーバッグに入れて保管するようにしてください。

エアフィルターを清掃・交換する

本体の底面にある吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると、空気の流れが悪くなり、内部の温度が上昇して故障の原因となります。エアフィルターの清掃が必要な状態になると、プロジェクターの電源を入れたときに次の画面が表示されますので、エアフィルターを清掃してください。



エアフィルター清掃

フィルタを清掃してください。

清掃済みの場合は【はい】を選んでください。
このメッセージが出なくなります。

はい

いいえ

- ・ この画面の表示中は【<】、【>】、【OK】、【POWER】ボタンのみ反応します。（【POWER】ボタンを押すと「もう一度POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。）
- ・ 10 秒後にこの画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。

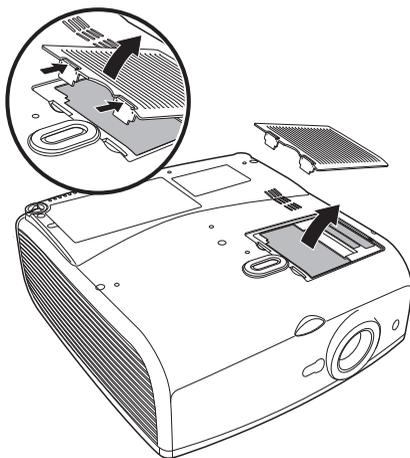
■エアフィルターの清掃

- ・ エアフィルターは、本体を逆さまにして、ツメを押してカバーを外し、取り出してから掃除機でホコリを吸い取ってください。
- ・ 本体後部の排気口や底面の吸気口のホコリは、掃除機のノズルを直接近づけて吸い取ってください。
- ・ エアフィルターの清掃後、プロジェクターの電源を入れたときに上の画面が表示されたら「はい」を選んでください。

■エアフィルターの交換手順

ランプを交換するときは、エアフィルターも交換してください。
エアフィルターの交換は次の手順で行ってください。

- 1** プロジェクターの電源を切り、電源プラグを抜いて 1 時間以上放置します。
- 2** 矢印の部分を押してフィルターカバーを外します。
- 3** エアフィルターを取り外します。
- 4** 清掃済みまたは新品のエアフィルターを取り付けます。
- 5** フィルターカバーが浮かないように、確実に取り付けます。

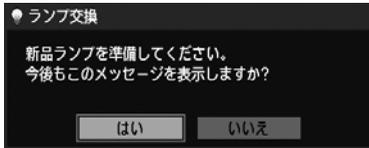


- ・ エアフィルターはていねいに扱ってください。破損するとフィルターの効果が損なわれます。
- ・ エアフィルターのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ランプを交換する

ランプの使用時間が一定の時間を越えると、プロジェクターの電源を入れるたびに、次の画面（2種類）が10秒間表示されます。

1,800～2,000 時間未満



この画面が表示されたら、交換ランプを用意してください。
 ・この画面の表示中は【<】、【>】、【OK】、【POWER】ボタンのみ使用できます。
 ・【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。

- ・10秒後に上の画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。
- ・「今後もこのメッセージを表示しますか?」で[いいえ]を選ぶと、この画面は表示されなくなります。

2,000時間以上



この画面が表示されたら、132ページの手順でランプを交換してください。

- ・この画面の表示中は、【POWER】ボタンのみ使用できます。
- ・【POWER】ボタンを押すと「もう一度 POWER ボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。

- ・10秒後に上の画面が消えると、全てのボタンが操作できるようになります。
- ・ランプの使用時間はシステム設定メニューの「ランプカウンター」で確認してください。(P101)

■交換用のランプについて

本プロジェクターでは、次のランプを使用しています。

ランプの品番：RS-LP05



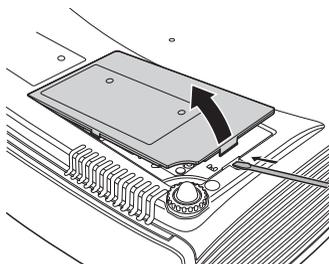
注意

- ・ランプは、必ず指定のものを使用してください。
- ・ランプのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。キヤノンのホームページ (<http://store.canon.jp/user/SearchSection/list?svid=2&sc=acc>) から購入できます。
- ・ランプを交換するときは、本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、1時間以上放置してから行ってください。電源を切った直後は、本体が大変高温になっているため、やけどやけがをする恐れがあります。
- ・ランプ交換の際は、内部のガラス面などに触れないでください。投写の性能が下がるなどの原因になります。
- ・ランプに衝撃を加えたり傷つけたりすると、使用中に破裂する場合がありますので、取り扱いにご注意ください。万が一ランプが破裂した場合は、14ページ「ランプが破裂した場合」の指示にしたがってください。
- ・ランプを交換の際は、指定のねじ以外ははずさないでください。

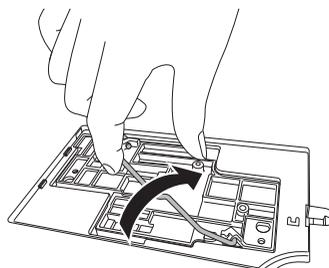
■ランプ交換手順

1 プロジェクターの電源を切り、電源プラグを抜いて1時間以上放置します。

2 図のようにマイナスドライバーを差し込み、ランプカバーを持ち上げて外します。

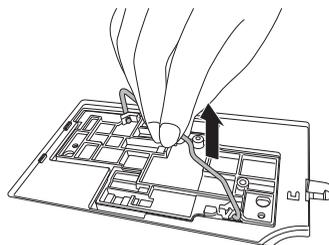


3 プラスドライバーでねじ2本をゆるめてから、ハンドルを起こします。
※ハンドルは図のように起こしてください。

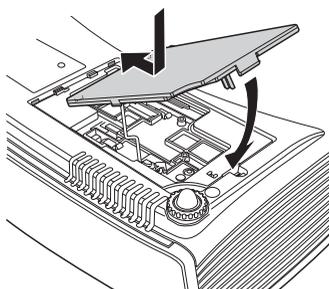


4 ハンドルの中央部を持って、ランプを取り外します。

5 新しいランプを奥までしっかり押し込み、ねじ2本で固定します。
※取り付け後、ハンドルは必ず倒してください。



6 図のようにランプカバーを取り付けます。ランプカバーが確実に取り付けられていることを確認してください。



7 電源を入れます。

8 メニューを表示し、[システム設定] - [その他の設定] の [ランプカウンター] を選びます。(P101)

9 [リセット] を選び、[はい] を選んで、ランプカウンターをリセットします。

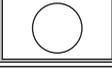
アスペクトとスクリーンアスペクトの関係

スクリーンアスペクト (P58) とアスペクト (P61) の関係を説明します。

スクリーンのサイズを最大に活かした投写を行うため、スクリーンの横縦比、入力信号の種類などに合わせて、最適のスクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。

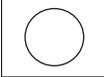
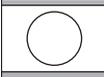
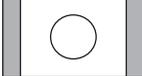
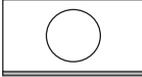
コンピューターの映像を投写するとき

入力信号が [アナログPC-1] [アナログPC-2] [デジタルPC (SX80)] のときは、コンピューター画面の解像度に合わせて、次のようにスクリーンアスペクトとアスペクトを選んでください。

使用するスクリーン	スクリーンアスペクトの設定	コンピューター画面の解像度	投写の目的	アスペクトの設定
4:3	[4:3]	SXGA+  4:3	 スクリーン内にできるだけ大きく投写する	[オート] (または[4:3])
		VGA, SVGA, XGA  4:3	 スクリーン内にできるだけ大きく投写する	[4:3]
			 コンピューター画面の解像度で投写する	[リアル]
		WXGA 	 スクリーン内にできるだけ大きく投写する	[オート]
			 コンピューター画面の解像度で投写する (WUXGAは選択不可)	[リアル]
		SXGA  5:4	 スクリーン内にできるだけ大きく投写する	[オート]
			 コンピューター画面の解像度で投写する	[リアル]
		16:9	[16:9]	SXGA+  4:3
VGA, SVGA, XGA  4:3	 スクリーン内にできるだけ大きく投写する			[オート]
	 コンピューター画面の解像度で投写する			[リアル]
WXGA 	 スクリーン内にできるだけ大きく投写する			[オート]
SXGA  5:4	 スクリーン内にできるだけ大きく投写する			[オート]

映像ソフトを投写するとき

テレビ放送、市販のDVDソフト、ビデオカメラで撮影した映像などの映像ソフトを投写（入力信号 [HDMI (SX80)] [ビデオ] [S-ビデオ (SX80)] [コンポーネント]）するときには、映像ソフトのフォーマットに合わせて次のようにアスペクトを選んでください。

使用するスクリーン	スクリーンアスペクトの設定	映像ソフトのフォーマット	投写結果	アスペクトの設定	
4:3	[4:3]	4:3			[オート] ※ ¹
		16:9			
16:9	[16:9] [16:9 D イメージシフト] ※ ⁴	4:3			[オート] ※ ²
		16:9			
		4:3			[ズーム] ※ ³

※¹ 入力信号が[ビデオ]のときはアスペクトを[オート]にできません。

※² 16:9の映像ソフトが[オート]で正常に投写されない場合は、アスペクトを[16:9]に設定してください。

※³ 地上波の映画放送などで、16:9の映像の上下に黒枠があるときは、アスペクトで[ズーム]を選ぶことで、16:9の領域を16:9スクリーンいっぱいに投写することができます。

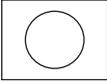
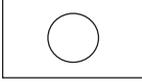


なお[ズーム]は、スクリーンアスペクトが[16:9]または[16:9 D イメージシフト]、入力信号が[HDMI (480p) (SX80)]、[コンポーネント (480p, 480i)] [ビデオ]、[S-ビデオ (SX80)] のときに選べます。

※⁴ 台形ひずみの補正 (P56) を行うときは、スクリーンアスペクトを[4:3]または[16:9]に設定してください。

デジタルカメラや USB メモリーの画像を投写するとき **SX80**

デジタルカメラや USB メモリーの画像を投写（入力信号 [USB]）するときは、アスペクトは自動的に [オート] になります。画像は横縦比を維持したままでスクリーン内いっぱいに投写されます。

使用するスクリーン	スクリーンアスペクトの設定	投写結果	アスペクトの設定
4:3	[4:3]		[オート]
16:9	[16:9] [16:9 D イメージシフト]※		[オート]

※ 台形ひずみの補正 (P56) を行うときは、スクリーンアスペクトを [16:9] に設定してください。

対応信号

本プロジェクターには、次の信号形式が用意されています。
 コンピューターまたはAV機器が下の表のいずれかに対応していれば、オートPC機能などにより入力信号が自動的に判断され、正しい映像を投写することができます。

アナログRGB

信号形式	解像度(ドット)	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)		
VGA	640 × 480	31.469	59.94		
		37.50	75.00		
		37.861	72.81		
		37.861	74.38		
		43.269	85.01		
VGA	720 × 400	31.469	70.09		
		34.50	55.38		
SVGA	800 × 600	35.156	56.25		
		37.879	60.32		
		37.898	61.03		
		38.00	60.51		
		38.60	60.31		
		46.875	75.00		
		48.077	72.19		
		53.674	85.06		
		44.028	54.63		
		46.897	58.19		
		47.00	58.31		
XGA	1024 × 768	48.363	60.00		
		48.496	60.02		
		56.476	70.07		
		58.032	72.00		
		60.023	75.03		
		60.314	74.92		
		60.994	75.77		
		62.04	77.07		
		63.478	79.35		
		68.677	85.00		
		47.986	59.83		
		49.702	60.03		
		47.712	60.02		
WXGA	1280 × 768	64.196	70.39		
	1280 × 800	61.17	65.28		
SXGA	1280 × 900	61.846	66.00		
		71.399	75.64		
		60.00	60.00		
		62.50	58.63		
		63.337	59.98		
		63.364	59.95		
		63.735	60.01		
		63.791	60.18		
		63.899	60.00		
		63.981	60.02		
		71.694	67.19		
SXGA	1280 × 1024	76.97	72.00		
		79.976	75.03		
		81.135	76.11		
		63.981	60.02		
		UXGA	1600 × 1200	75.00	60.00
		MAC LC 13	640 × 480	34.967	66.60
		MAC13	640 × 480	35.00	66.67
		MAC16	832 × 624	49.725	74.55
		MAC19	1024 × 768	60.248	75.03
		MAC21	1152 × 870	68.681	75.06
MAC	1280 × 960	75.00	75.08		

DVI (SX80)

信号形式	解像度(ドット)	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
D-VGA	640x480	31.469	59.94
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.32
D-XGA	1024 x 768	48.363	60.00
D-SXGA	1280 x 1024	63.981	60.02
D-SXGA+	1400 x 1050	63.981	60.02

HDMI (SX80)

信号形式	解像度(ドット)	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
480p	—	31.469	59.94
576p	—	31.250	50.00
720p	—	37.500	50.00
720p	—	44.955	59.94
1080i*	—	28.125	50.00
1080i*	—	33.716	59.94
1080p	—	56.250	50.00
1080p	—	67.433	59.94

* インターレース信号です。

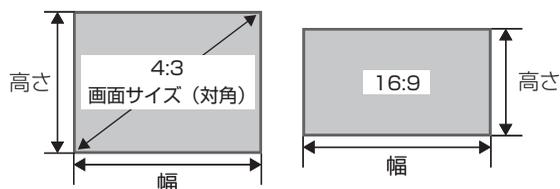
コンポーネント

信号形式	解像度(ドット)	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
480p	—	31.469	59.94
480i*	—	15.734	59.94
576p	—	31.250	50.00
576i*	—	15.625	50.00
720p	—	37.500	50.00
720p	—	44.955	59.94
1035i*	—	33.750	60.00
1080i*	—	28.125	50.00
1080i*	—	33.716	59.94
1080p	—	56.250	50.00
1080p	—	67.433	59.94

* インターレース信号です。

※ 表中の仕様は予告なしに変更する場合があります。
 ※ ドットクロックが170MHz以上のコンピューター入力には対応しておりません。

画面サイズと投写距離の関係



4:3 のときの画面サイズ 型 - 幅×高さ (cm)	投写距離 (m) ズーム最大	投写距離 (m) ズーム最小	16:9 のときの画面サイズ 幅×高さ (cm)
40型 (81 × 61)	1.2	1.7	81 × 46
50型 (102 × 76)	1.5	2.2	102 × 57
60型 (122 × 91)	1.8	2.6	122 × 69
70型 (142 × 107)	2.1	3.1	142 × 80
80型 (163 × 122)	2.4	3.5	163 × 91
90型 (183 × 137)	2.7	4.0	183 × 103
100型 (203 × 152)	3.0	4.4	203 × 114
110型 (224 × 168)	3.3	4.9	224 × 126
120型 (244 × 183)	3.6	5.3	244 × 137
130型 (264 × 198)	3.9	5.8	264 × 149
140型 (284 × 213)	4.2	6.2	284 × 160
150型 (305 × 229)	4.5	6.6	305 × 171
160型 (325 × 244)	4.8	7.1	325 × 183
170型 (345 × 259)	5.1	7.5	345 × 194
180型 (366 × 274)	5.4	8.0	366 × 206
190型 (386 × 290)	5.7	8.4	386 × 217
200型 (406 × 305)	6.0	8.9	406 × 229
210型 (427 × 320)	6.4	—	427 × 240
220型 (447 × 335)	6.7	—	447 × 251
230型 (467 × 351)	7.0	—	467 × 263
240型 (488 × 366)	7.3	—	488 × 274
250型 (508 × 381)	7.6	—	508 × 286
260型 (528 × 396)	7.9	—	528 × 297
270型 (549 × 411)	8.2	—	549 × 309
280型 (569 × 427)	8.5	—	569 × 320
290型 (589 × 442)	8.8	—	589 × 331
300型 (610 × 457)	9.1	—	610 × 343

※ 表中の数値は四捨五入した近似値です。

*はSX80のみです。

sRGB (P63、P87)

色を表現する範囲（色域）などに関する国際規格で、一般的なデジタルカメラやディスプレイ等で採用されています。本機では、イメージモードで「sRGB」を選ぶことにより、sRGB規格に対応した映像を最適な画質で投写することができます。

DVI* (P38、P50)

コンピューターのデジタル信号用インターフェースです。デジタルデータをアナログに変換することなくそのまま送受信できるため、信号劣化のない高画質が得られます。

なお、DVI-I (Integrated) コネクタでは、デジタルの映像信号とアナログの映像信号の両方を取り扱うことが可能です。

デジタルPC* (P25、P38)

ディスプレイの表示ドットごとの情報をデジタル信号で送信する映像出力の信号方式です。アナログ変換を行わないため、画質の劣化などはありません。コンピューターのDVI出力端子と本プロジェクターのアナログ PC-1/DVI-I IN 入力端子を別売のDVI デジタルケーブル (LV-CA29) で接続し、[デジタルPC] を選んで投写します。

アナログPC (P25、P36、P76)

Red(赤)／Green(緑)／Blue(青)各色の情報をアナログ信号で送信する映像出力の信号方式で、コンピューターとカラーモニターなどをつなぐ標準的な方式です。コンピューターのアナログ RGB 出力端子と、本プロジェクターのアナログ PC-1/DVI-I IN 入力端子またはアナログ PC-2/コンポーネント入力端子(SX800 はアナログ PC-1 端子またはアナログ PC-2/コンポーネント入力端子)を接続し、[アナログ PC-1] または [アナログ PC-2] を選んで投写します。

HDMI* (P40、P50)

High-Definition Multimedia Interfaceの略で、AV機器のデジタルビデオ信号用インターフェースです。映像信号と音声信号を非圧縮で同時に伝送することが可能です。また HDCP 技術によりコピープロテクトされたデジタルコンテンツにも対応しています。なお本プロジェクターは、HDMI規格のバージョン1.3(10ビットディープカラー)に対応しています。

HDCP*

High-bandwidth Digital Content Protectionの略称で、デジタル映像信号のコピー防止を目的とした暗号化技術です。本プロジェクターでは、HDCP 技術によりコピープロテクトされたデジタルコンテンツを投写することができます。

ビデオ (P25、P41、P76)

AV機器用の一般的な出力端子で、コンポジット出力端子（またはピン端子、RCA端子）とも呼ばれます。詳しくは、「コンポジット」の項を参照してください。

コンポジット (P25、P41)

輝度信号 (Y) と色信号 (C) を映像信号にまとめて送信するビデオ信号の方式です。AV機器のコンポジット出力端子 (RCA) と本プロジェクターのビデオ入力端子をビデオケーブルで接続し、[ビデオ] を選んで投写します。

S-ビデオ* (P25、P41、P76)

輝度信号 (Y) と色信号 (C) を別々に送信する信号方式 (YC分離信号) です。AV機器のS映像端子と本プロジェクターのS-ビデオ入力端子をS-端子ビデオケーブルで接続し、[S-ビデオ] を選んで投写します。

アスペクト (P61、P75、P133)

画面の横方向(幅)の長さと同方向(高さ)の長さの比率がアスペクト(比)です。[幅:高さ]で表されます。

コンピューターやAV機器で使用されている主なアスペクトは次の通りです。

- [4:3] SXGA+(1400 × 1050)やXGA(1024 × 768)などのディスプレイ解像度や、地上波のテレビ放送で使用されているアスペクトです。本機のアスペクトも[4:3]です。
- [5:4] SXGA(1280 × 1024)のディスプレイ解像度のアスペクトです。
- [16:9] ハイビジョンおよび地上波デジタル放送で使用されているアスペクトです。

そのほか、劇場用映画のアスペクトを表す用語として「ピタサイズ」「シネスコサイズ」などがあります。

「ピタサイズ」 [16:9]に近いアスペクトです。本機では設定メニューの[アスペクト]で[オート]または[16:9]を選びます。映像の上下に黒帯が付加されます。

「シネスコサイズ」 [8:3]と同長のアスペクトです。本機では設定メニューの[アスペクト]で[オート]または[16:9]を選びます。映像の上下に黒帯が付加されます。

コンポーネント (P25、P42、P90)

色信号(C)をB-Y色差信号とR-Y色差信号に分けて送信する信号方式で、コンポジットより高画質の投写ができます。AV機器のコンポーネント映像端子と本プロジェクターのアナログPC-2/コンポーネント入力端子をコンポーネントケーブルで接続し、[コンポーネント]を選んで投写します。

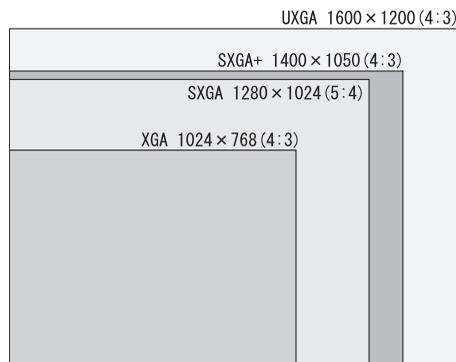
トラッキング (P53、P78)

アナログ映像信号から映像を再現するには、映像信号に含まれる同期信号を基準にして、正しいタイミングで映像情報を蓄積する処理が必要です。この処理がトラッキングです。本プロジェクターではアナログ映像機器の同期信号に微妙なズレがある場合でも、オートPC機能によりトラッキングを自動調整して正しい映像を投写することができます。

解像度 (P52)

コンピューターがディスプレイ上に表示できるドット数(横方向×縦方向)を映像信号の解像度といいます。この解像度は、表示精細さ(情報量の多さ)を表しています。

解像度	ドット数	
	横方向	縦方向
VGA	640	480
SVGA	800	600
XGA	1024	768
SXGA	1280	1024
SXGA+	1400	1050
UXGA	1600	1200



解像度によるドット数の違い

接続するコンピューターで、画面の解像度の設定をSXGA+ (1400×1050) にすると、本プロジェクターで高精細な投写が行えます。コンピューターの設定にSXGA+がない場合は、設定可能な最大の解像度を選んでください。

プログレッシブ (P81)

映像の表示形式で、1回の画面表示を1回の走査で行う方法です。1回の映像表示を奇数段と偶数段の2回の走査で行うインターレース信号であるビデオ信号を入力した場合には、プログレッシブ処理を行う必要があります。プログレッシブ機能をオフにした状態では、インターレース信号1回分の映像信号により1枚の映像表示を行うため、垂直解像度の低い映像となります。一方プログレッシブ機能をオンにした状態では、インターレース信号2回分の映像信号により1枚の映像表示を行うため、垂直解像度の高い高画質映像となりますが、動きの多い映像などでちらつきや横線が目立つ場合は、プログレッシブ機能をオフにしてください。

オフセット (P90)

映像信号に含まれる黒から白までの輝度信号の画面上での再現幅全体を、高輝度側か低輝度側へ調整するパラメータです。主に暗い部分の階調の再現性が変化します。本機ではRGB各色ごとにオフセットを調整することが出来ますので、色味を調整することもできます。通常はゲインとともに調整します。

ガンマ補正 (P89、P91)

映像データを投写するときに行う階調の調整方式です。ガンマ補正を行うことにより、明るくて消えている部分や暗くつぶれている部分の見え方を改善することができます。本プロジェクターには、手動でのガンマ補正機能のほか、自動的に適正なガンマ補正を行う、ダイナミックガンマ機能があります。

ゲイン (P90)

映像信号に含まれる黒から白までの輝度信号が、画面上の黒から白の範囲に自然に収まるように輝度の再現幅を調整するパラメータです。主に明るい部分の階調の再現性が変化します。本機ではRGB各色ごとにゲインを調整することが出来ますので、色味を調整することもできます。通常はオフセットとともに調整します。

記憶色補正* (P92)

人がイメージとして記憶している色を記憶色といいます。記憶色では空の青色などは実物よりも高彩度のため、投写映像によってはくすんだ色という印象を受けることがあります。このような場合に記憶色補正を設定すると、投写映像を記憶色に近づけることができます。記憶色補正はイメージ調整メニューで設定します。

6軸色調整* (P93)

本格派ユーザー向けの高度な色調整機能です。投写映像をR (赤) / G (緑) / B (青) および C (シアン) / M (マゼンタ) / Y (黄) の6軸における色合いと色の濃さで、きめ細かく調整できます。6軸色調整はイメージ調整メニューで行います。

PictBridge* (P106)

デジタルカメラとプリンターを直接接続し、コンピューターを介さずに撮影画像を印刷するカメラダイレクトプリントをはじめ、多様なデジタルフォトソリューションに対応可能なCIPA (カメラ映像機器工業会) 制定の標準規格です。デジタルカメラ以外に、デジタルビデオカメラ、携帯電話にもPictBridge対応機器があります。本プロジェクターでは、PictBridge対応機器を直接接続すれば、撮影画像の投写が可能です。

DPOF* (P107)

Digital Print Order Formatの略で、PictBridge対応デジタルカメラについて、印刷したい画像とその枚数などの印刷指定情報をメモリーカードに記録するための規格です。本プロジェクターの場合は、接続したデジタルカメラの複数の撮影画像を連続して投写したいときに使います。

製品の仕様

■プロジェクター本体

型名	SX80 / SX800	
表示方式	3 原色液晶方式	
光学方式	ダイクロイックミラー、偏光ビームスプリッターによる色分離・プリズムによる色合成方式	
表示形式	形式	反射型液晶パネル
	サイズ/アスペクト比	0.55 型 × 3/4 : 3
表示素子	駆動方式	アクティブマトリックス方式
	画素数/総画素数	1,470,000 (1400 × 1050) × 3 枚 / 4.410,000
投写レンズ	ズーム比/焦点距離/F 値	1.5 倍 / f = 16.6 ~ 24.8mm / F1.95 ~ F2.6
	ズーム/フォーカス方式	電動/電動 (SX80 : オートフォーカス機能あり)
	レンズシフト量	10 : 0 (固定)
光源	230W 超高圧ランプ	
画面サイズ (投写距離)	40 ~ 300 型 (1.2 ~ 9.1m)	
再現色数	1677 万色 (フルカラー)	
明るさ*	3,000 ルーメン (プレゼンテーション時)	
コントラスト比	900 : 1 (全白 : 全黒、プレゼンテーション時)	
周辺照度比*	88% (プレゼンテーション時)	
スピーカー	1W・モノラル × 1	
最大入力解像度	1600 × 1200 ドット (圧縮)	
映像信号	アナログ PC 入力	UXGA/SXGA+/SXGA/WXGA/XGA/SVGA/VGA (走査周波数 : 水平 : 15 ~ 75kHz・垂直 60 ~ 85Hz)
	デジタル PC 入力 (SX80)	SXGA+/SXGA/XGA/SVGA/VGA
	コンポーネント入力	1080p、1080i、1035i、720p、576p、576i、480p、480i
	HDMI 入力 (SX80)	1080p、1080i、720p、576p、480p
	ビデオ/S-ビデオ (SX80) 入力	NTSC、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N
入力端子	アナログ PC-1 / DVI-I IN 端子 (SX80)	デジタル PC、アナログ PC-1 (DVI-I コンクター 29 ピン)
	HDMI-IN 端子 (SX80)	HDMI (HDMI Ver.1.3)
	アナログ PC-1 端子 (SX800)	アナログ PC-1 (ミニ D-sub15 ピン)
	アナログ PC-2 / COMPONENT IN 端子	アナログ PC-2、コンポーネント (ミニ D-sub15 ピン)
	S-VIDEO IN 端子 (SX80)	S-Video (ミニ DIN4 ピン)
	VIDEO IN 端子	コンポジット (RCA)
	USB 端子 (SX80)	USB 接続、PictBridge 入力 (USB type A)
	CONTROL 端子	RS-232C (D-sub 9 ピン)
	音声入力端子	音声信号 (ステレオミニジャック × 3)
	映像出力端子 (SX80)	アナログ PC (ミニ D-sub 15 ピン)
音声出力端子	音声信号 (ステレオミニジャック)	
LAN 端子 (SX80)	ネットワーク接続 (RJ-45)	
入力信号	デジタル PC (SX80)	TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)
	アナログ PC	0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75Ω
		水平・垂直同期 : TTL レベル、負または正極性 G 信号中のコンポジット同期 : 0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75Ω
	ビデオ	映像 : 1Vp-p、同期負、インピーダンス 75Ω
		S 映像 : セパレート YC 信号、Y : 1Vp-p、同期負、インピーダンス 75Ω C : 0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス 75Ω
コンポーネント : セパレート Y Cb/Pb Cr/Pr 信号 Y : 1Vp-p、同期負、インピーダンス 75Ω Cb/Pb : 0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω Cr/Pr : 0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω		
音声	142mVrms、インピーダンス 47kΩ 以上	
騒音 (ランプモード 標準/静音)	35/31dB	
使用温度範囲	5℃ ~ 35℃	
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力 (標準/静音/待機)	330W/270W/15W (SX80) 320W/260W/8W (SX800)	
本体寸法	幅 332mm × 高さ 121mm × 奥行 340mm (突起物含まず)	
質量	5.2 kg (SX80) 5.0 kg (SX800)	
付属品	リモコン、リモコン用乾電池、電源コード、コンピューター接続ケーブル、コンポーネントケーブル、キャリーバッグ、レンズキャップ、レンズキャップ用ひも、使用説明書、クイックスタートガイド、保証書	

* 出荷時における本プロジェクター全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911 : 2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書 2 に基づいています。

※ 液晶パネルの有効画素は 99.99% 以上です。投写中 0.01% 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合がありますが、これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

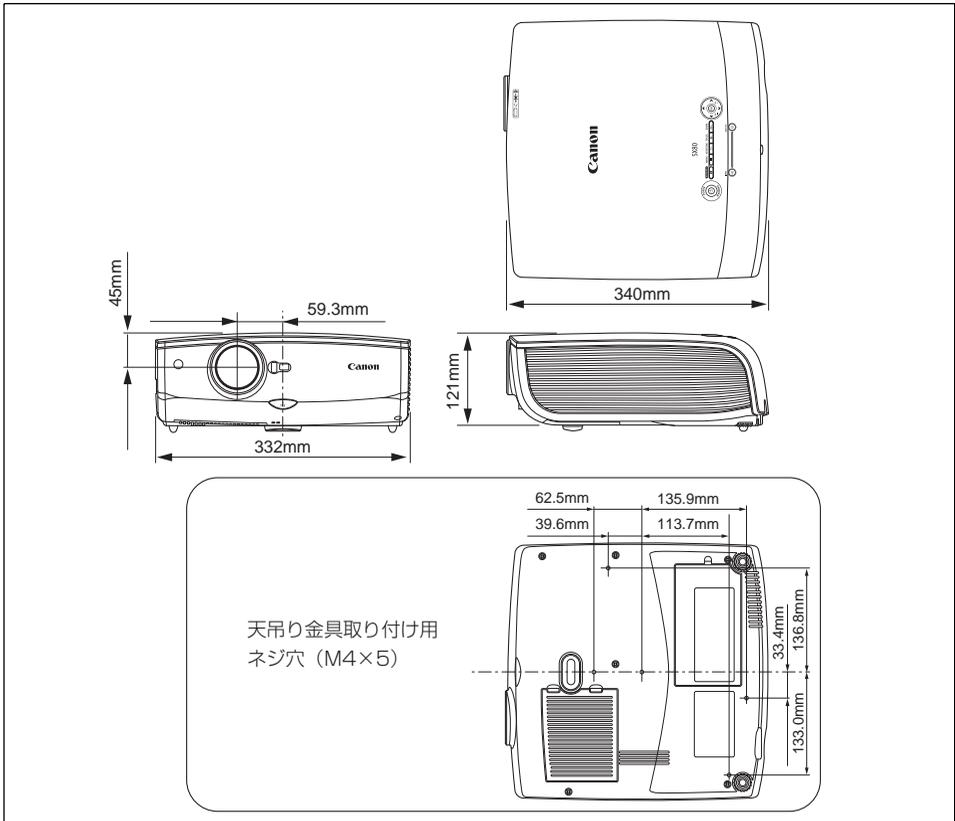
※ 長時間・連続使用する際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。

※ 本プロジェクターは JIS C 61000-3-2 適合品です。

■リモコン

電源	DC3.0V 単 4 形乾電池 2 本使用
到達距離	約 5m (受光部正面)
本体寸法	幅 42mm × 高さ 22mm × 奥行 135mm
質量 (本体のみ)	55g

■外觀図

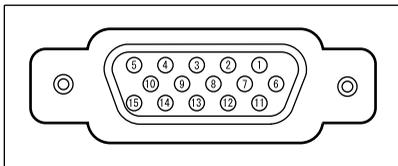


■アナログ PC-1 (SX800)、アナログ PC-2 / COMPONENT IN 端子

コンピューターのアナログ PC 入力、コンポーネント入力端子として動作します。接続には D-sub 用コンピューター接続ケーブルを使用してください。

端子仕様は、アナログ PC 入力、コンポーネント入力とも同一です。

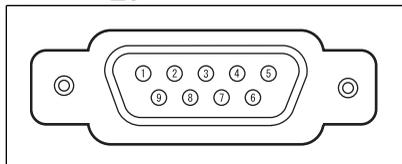
ミニ D-sub 15 ピン



ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	R	9	+ 5V パワー
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	モニター ID0
4	モニター ID2	12	DDC データ
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	DDC クロック
8	接地 (B)		

■サービス用端子 (CONTROL)

D-sub9ピン



ピン番号	信号
1	OPEN
2	RxD
3	TxD
4	OPEN
5	GND
6	OPEN
7	OPEN
8	OPEN
9	OPEN

通信フォーマット

通信方式： RS-232-C 調歩同期 半2重通信

通信速度： 19200bps

キャラクタ長： 8ビット

ストップビット 2ビット

パリティ： なし

フロー制御： なし

制御コマンド

機能		ASCII 表記	バイナリ表記
電源	入	POWER ON<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 20h 4Fh 4Eh 0Dh
	切	POWER OFF<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 20h 4Fh 48h 48h 0Dh
	取得	GET POWER<CR>	47h 45h 54h 20h 50h 4Fh 57h 45h 52h 0Dh
入力信号	デジタル PC (SX80)	INPUT=D-RGB<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 0Dh
	HDMI (SX80)	INPUT=HDMI<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 0Dh
	アナログ PC-1	INPUT=A-RGB1<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 41h 2Dh 52h 47h 42h 31h 0Dh
	アナログ PC-2	INPUT=A-RGB2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 41h 2Dh 52h 47h 42h 32h 0Dh
	コンポーネント	INPUT=COMP<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 43h 4Fh 4Dh 50h 0Dh
	ビデオ	INPUT=VIDEO<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 56h 49h 44h 45h 4Fh 0Dh
	S-ビデオ (SX80)	INPUT=S-VIDEO<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 53h 2Dh 56h 49h 44h 45h 4Fh 0Dh
	USB (SX80)	INPUT=USB<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 55h 53h 42h 0Dh
	取得	GET INPUT<CR>	47h 45h 54h 20h 49h 4Eh 50h 55h 54h 0Dh
イメージモード	スタンダード	IMAGE=STANDARD<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 53h 54h 41h 4Eh 44h 41h 52h 44h 0Dh
	プレゼンテーション	IMAGE=PRESENTATION<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 52h 45h 53h 45h 4Eh 54h 41h 54h 49h 4Fh 4Eh 0Dh
	sRGB	IMAGE=SRGB<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 53h 52h 47h 42h 0Dh
	ムービー	IMAGE=MOVIE<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 4Dh 4Fh 56h 49h 45h 0Dh
		取得	GET IMAGE<CR>
明るさ	設定値	BRI=<数値><CR>	42h 52h 49h 3Dh <数字コード> 0Dh
	取得	GET BRI<CR>	47h 45h 54h 20h 42h 52h 49h 0Dh

機能	ASCII表記	バイナリ表記	
シャープネス	設定値	SHARP=<数値><CR>	53h 48h 41h 52h 50h 3Dh <数字コード> 0Dh
	取得	GET SHARP<CR>	47h 45h 54h 20h 53h 48h 41h 52h 50h 0Dh
コントラスト	設定値	CONT=<数値><CR>	43h 4Fh 4Eh 54h 3Dh <数字コード> 0Dh
	取得	GET CONT<CR>	47h 45h 54h 20h 43h 4Fh 4Eh 54h 0Dh
アスペクト	オート	ASPECT=AUTO<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 41h 55h 54h 4Fh 0Dh
	4:3	ASPECT=4:3<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 34h 3Ah 33h 0Dh
	16:9	ASPECT=16:9<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 31h 36h 3Ah 39h 0Dh
	ズーム	ASPECT=ZOOM<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 5Ah 4Fh 4Fh 4Dh 0Dh
	リアル	ASPECT=TRUE<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 54h 52h 55h 45h 0Dh
	取得	GET ASPECT<CR>	47h 45h 54h 20h 41h 53h 50h 45h 43h 54h 0Dh
ランプモード	標準	LAMP=NORMAL<CR>	4Ch 41h 4Dh 50h 3Dh 4Eh 4Fh 52h 4Dh 41h 4Ch 0Dh
	静音	LAMP=SILENT<CR>	4Ch 41h 4Dh 50h 3Dh 53h 49h 4Ch 45h 4Eh 54h 0Dh
	取得	GET LAMP<CR>	47h 45h 54h 20h 4Ch 41h 4Dh 50h 0Dh
BLANK	実行	BLANK=ON<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	解除	BLANK=OFF<CR> 42h	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
	取得	GET BLANK<CR>	47h 45h 54h 20h 42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 0Dh

英数字

6 軸色調整 SX80	93, 140
ASPECT	62
AUTO PC	53
AUTO SET	49
BLANK	66
BLANK 時画面	85
D. ZOOM	68
D.SHIFT / KEYSTONE	56, 60
DPOF SX80	107, 141
DVI SX80	38, 50, 138
DVI-IN SX80	36, 38
FOCUS	55
FREEZE	66
HDCP	138
HDMI SX80	40, 50, 138
HDMI オーバースキャン SX80	81
HDMI 入力端子 SX80	25, 40
HDMI 入力レベル SX80	80
IMAGE	63
INPUT	51
IP アドレス SX80	118
LAMP	93
LAN 接続端子 SX80	26, 118
LED イルミネーション	98
MENU	72
MUTE	67
OK	23
PictBridge SX80	106, 140
POWER	45, 64, 96
P-TIMER	69
sRGB	63, 87, 138
S-VIDEO (S-ビデオ) SX80	41, 50, 138
S-ビデオ入力端子 SX80	25, 41
USB SX80	50, 110
USB 接続端子 SX80	25, 44, 106, 110
VOL	67
WARNING ランプ	24, 124
ZOOM	54

あ

明るさ	88
アスペクト	58, 61, 75, 133, 139
アナログ PC	36, 50, 138
アナログ PC-1 入力端子 SX800	25, 36, 50
アナログ PC-1 / DVI-IN 入力端子 SX80	25, 36, 38, 50
アナログ PC-2 / コンポーネント入力端子	25, 37, 42, 50

い

イメージ調整	72
イメージモード設定	87
イメージモード(画質)	63
色調整	90
インフォメーション	72, 104

え

エアフィルター	130
映像の拡大	68

お

オート PC	53
オート(アスペクト)	61
オートインプット	48, 95
オートキーストーン	48, 95
オートセットアップ	48, 95
オートフォーカス SX80	48, 95
オフセット	90, 140
音声出力端子	26, 39, 43
音声入力端子	26, 36, 37, 38, 41, 42
音量調節	67

か

解像度	61, 139
ガイド	98
外部モニター SX80	38
外部モニター切り換え (ノート型コンピューターの準備)	47
画質を調整する	87
画面サイズ	137
ガンマ補正	89, 140

き

キーストーン	56
キーロック	97
記憶色補正 SX80	92, 140
起動時画面	86
キャリアバッグ	14, 19

け

ゲイン	90, 140
言語	97

こ

工場出荷設定	103
コントラスト	88
コンピューターとの接続	36
コンポーネント	42, 50, 139
コンボジット	138

し

システム設定	72
自動スクリーン色補正 SX80	48, 95
シャープネス	89
省電力(パワーマネージメント)	46
信号形式	136

す

垂直位置	79
垂直表示ドット数	80
水平位置	78
水平表示ドット数	79
ズーム(アスペクト)	61
スクリーンアスペクト	58, 86, 133
スクリーン色補正	82
スライドショー SX80	99, 109, 116

せ

接続端子	25
AV 機器との接続	40
コンピューターとの接続	36

そ

総ドット数	77
-------	----

た

台形ひずみ調整	56
ダイナミックガンマ	91
ダイレクトパワーオン	96

ち

チャンネル設定	99
調整脚	33

て

デジタル PC SX80	38, 50, 138
デジタルイメージシフト	60
デジタルカメラ SX80	106
電子音	96
天吊り	32, 83

と

動作を設定する	95
投写距離	31, 137
トラッキング	78, 139

に

入力信号選択	50, 76, 77
--------	------------

ね

ネットワーク設定 SX80	103, 118
----------------------	----------

の

ノイズリダクション	91
-----------	----

は

パスワード設定	100
パスワード登録	101
肌色補正 SX800	92
パワーマネージメント	46
パワーマネージメントモード(設定)	95
反転表示(天吊り/リア投写)	83

ひ

ビデオ	41, 50, 138
ビデオ入力端子	25, 41

表示解像度(コンピューターの準備)	52
表示言語の選択	46, 97
表示状態を設定する	75
表示設定	72
ピント合わせ	55

ふ

プログレッシブ	81, 140
プロジェクターの設置	15, 31

ほ

本体操作部	24
-------------	----

み

ミュート	67
------------	----

め

メニュー	72
メニュー表示位置	82
メニュー表示時間	100

も

モニター出力端子 SX80	25, 38
----------------------------	--------

ゆ

ユーザー画像位置	84
ユーザー画像登録	84

ら

ランプカウンター	101
ランプ交換	101, 131, 132
ランプモード	93

り

リア投写	32, 83
リアル(アスペクト)	61
リセット	94, 103
リモコン	22, 27, 99

れ

レンズキャップ	18
---------------	----

ろ

ロゴを表示	86
-------------	----

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、本プロジェクターに付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。

なお、保証内容については保証書に記載しております。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

(ランプはキヤノンホームページからご購入いただけます。)

■修理を依頼される前に

124～128 ページの「困ったときには」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■【修理方法】

本商品は、引取修理させていただきます。お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

※ 上記、引取サービスおよび代替機の貸し出しは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。

※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

別売品

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| ・ 交換ランプ 品番：RS-LP05 | ・ 天吊りパイプ(600～1000mm)品番:RS-CL09* |
| ・ 天吊り金具 品番：RS-CL10 | ・ DVI デジタルケーブル 品番：LV-CA29 |
| ・ 天吊りパイプ(400～600mm)品番:RS-CL08* | |

* 高い天井から本プロジェクターを吊り下げる場合に使用します。
詳しくは天吊り金具RS-CL10の使用説明書を参照してください。

■修理を依頼されるときに ご連絡いただきたいこと

- ・ お客様のお名前
- ・ ご住所、お電話番号
- ・ 商品の機種名およびシリアル番号
- ・ 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

メニューの構成

表示設定メニュー



※：工場出荷時（リセット後）の設定

デジタルPC、HDMI、USB、SビデオはSX80のみ対応しています。

イメージ調整メニュー

イメージモード設定	スタンダード※ プレゼンテーション ムービー sRGB	P87
-----------	--------------------------------------	-----

明るさ	P88
コントラスト	P88
シャープネス	P89
ガンマ	P89

色調整

ビデオ/Sビデオ(SX80)/コンポーネント	P90
色の濃さ	
色合い(コンポーネントのみ)	
共通	P90
赤ゲイン	
赤オフセット	
緑ゲイン	
緑オフセット	
青ゲイン	
青オフセット	

高度な調整

ノイズリダクション	ビデオ/Sビデオ(SX80) コンポーネント/HDMI(SX80)	P91
	切	
	弱	
	強	

ダイナミックガンマ	切 弱 強	P91
-----------	-------------	-----

記憶色補正(SX80)	切 弱 中 強	P92
-------------	------------------	-----

肌色補正(SX800)	切 弱 中 強	P92
-------------	------------------	-----

6軸色調整(SX80)	切※	P93
	調整 色相/彩度	
戻る	リセット	

ランプモード	標準※ 静音	P93
--------	-----------	-----

リセット	はい/いいえ	P94
------	--------	-----

インフォメーション

モデル名	P104
入力信号	
ファームバージョン	
シリアルNo.	
IPアドレス(SX80)	
ゲートウェイアドレス(SX80)	
メール送信元アドレス(SX80)	
メール送信先アドレス(SX80)	
プロジェクト名(SX80)	
システム情報ID	

システム設定メニュー

オートセットアップ P95

オートフォーカス(SX80)	切 入※
----------------	---------

オートキーストーン	切 入※
-----------	---------

オートインプット	切 入※
----------	---------

自動スクリーン色補正(SX80)	切※ 入
------------------	---------

戻る

パワーマネジメントモード	切※ 待機 終了	P95
--------------	----------------	-----

ダイレクトパワーオン	切※ 入	P96
------------	---------	-----

電子音	切 入※	P96
-----	---------	-----

キーロック	切※ 本体 リモコン	P97
-------	------------------	-----

言語	英語 トルコ語 ドイツ語 ポーランド語 フランス語 ハンガリー語 イタリア語 チェコ語 スペイン語 デンマーク語 ポルトガル語 アラビア語 スウェーデン語 中国語(簡体) ロシア語 中国語(繁体) オランダ語 韓国語 フィンランド語 日本語 ノルウェー語	P97
----	---	-----

ガイド	切 入※	P98
-----	---------	-----

LEDイルミネーション	切 入※	P98
-------------	---------	-----

スライドショー間隔(SX80)	---:---	P99
-----------------	---------	-----

その他の設定

リモコン	Ch1※ Ch2	P99
------	-------------	-----

メニュー表示時間	標準※ 延長	P100
----------	-----------	------

パスワード設定	切※ 入	P100
---------	---------	------

パスワード登録	パスワード入力	P101
---------	---------	------

ランプカウンター	戻る リセット(はい/いいえ)	P101
----------	--------------------	------

ネットワーク設定初期化(SX80)	はい/いいえ	P103
-------------------	--------	------

工場出荷設定	はい/いいえ	P103
--------	--------	------

戻る

●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！(熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用
中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ

品番	
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター(全国共通番号)

050-555-90071

[受付時間] <平日>9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9348をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



Y T 1 5 3 5 0 0 0 2

YT1-5350-002
1208N0.1

© CANON INC. 2008

PRINTED IN JAPAN